

# MASTER'S COACHWORK CATERHAM SUPER SEVEN CYCLE FENDER SPECIAL

BDR

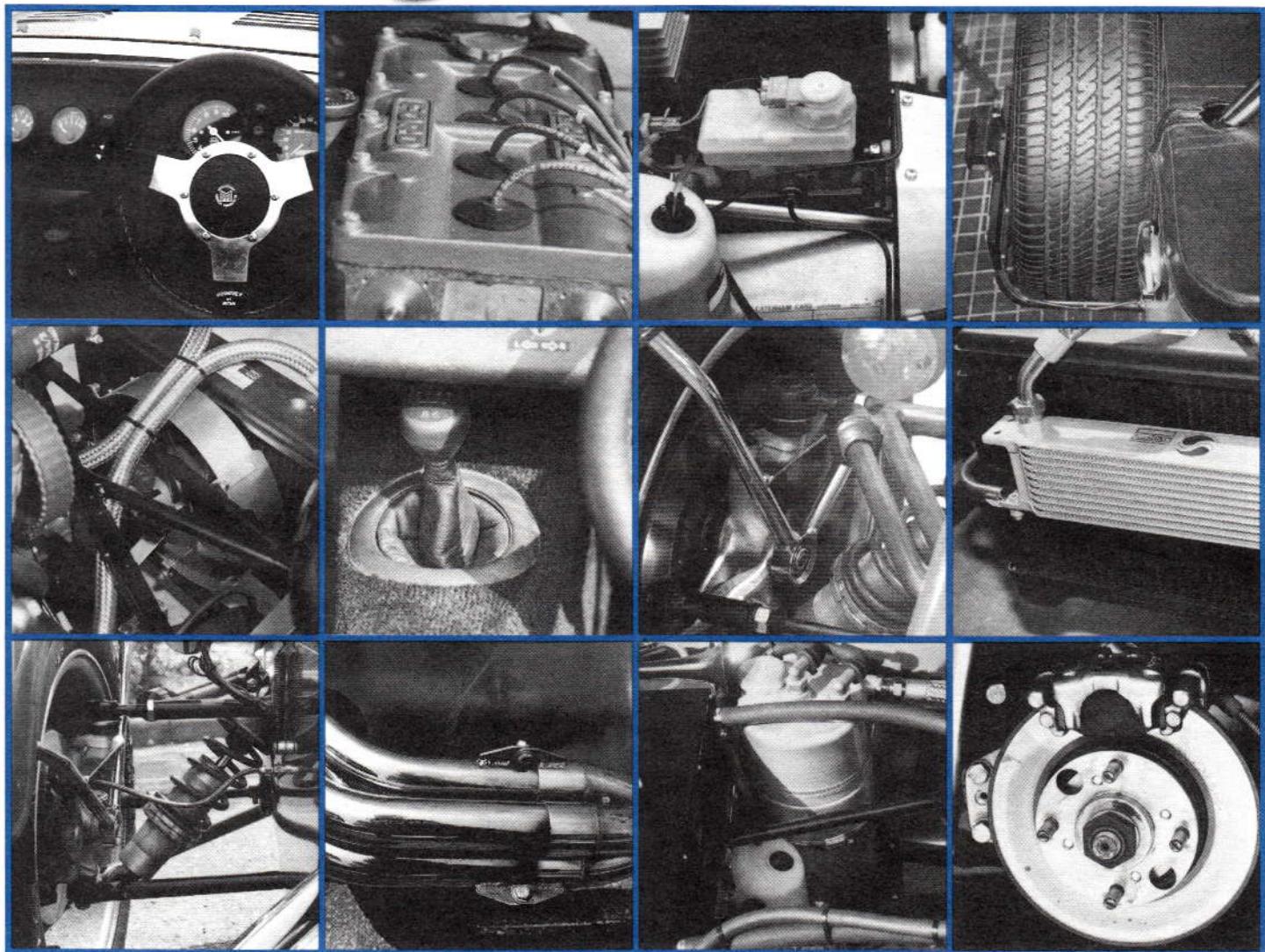
1/12 マスターズコーチワークシリーズNO.2  
ケータハムスーパーセブンBDR  
サイクルフェンダースペシャル

- アルミ製ボディパネル、ダイキャスト製サスアーム、布製のフロアカーペットなど、多彩な素材を採用して高い実感を追求。
- ビス止めを主体とした取り付けに加え、実車に即したバージ構成により、実車そのままの組立工程が楽しめます。
- サスペンションは可動式、前輪もステアリングと運動して向きを変えます。



1/12 SCALE  
  
TAMIYA

GOOD YEAR IS THE TRADEMARK OF THE GOOD YEAR TIRE & RUBBER COMPANY USED WITH PERMISSION



# CATERHAM SUPER SEVEN BDR CYCLE FENDER SPECIAL

1957年のロンドン・モーターショーにデビューした1台のスポーツカーが、基本構成を変えず今もなお作り続けられているということは大きな驚きといえるでしょう。FTの名門チームとしても知られるロータス。そのロータスの創始者、コーリン・チャップマンという一人の天才デザイナーの手によって生み出されたロータス・セブンこそがそのスポーツカーなのです。

57年のショーアップでロータスはセブンという2台のスポーツカーを発表させました。ロータス・セブンはまさにスポーツカー本来の姿を忠実に具現化したモデルだったのです。チャップマンの考えるスポーツカーの理想の姿、シンプル、軽量、重心の低さ。これらによって生まれる優れたハンドリング性能こそがロータスの各コンペティションに共通する特徴といえるでしょう。そのコンセプトを徹底的に追求したのがロータス・セブンです。軽量・シンプルに仕上げるために、走るために不必要なものはいっさい省かれ。一般的な乗用車に求められる耐候性や快適性はほとんど考慮されていません。鉄パイプのベースフレームを採用し、ボディはアルミペルで最小限の大きさにおおっただけ。タイヤをカバーするフェンダーも中止程度のものしかなく、サスペンションアームやコイルスプリングなどはボディの外にむき出しになっていきます。けれども、軽量な車体を生かした鋭い加速。低重心が生み出す地力をはううようなら安定したコーナーリング。圧倒的な迫力の排気音を響かせるロータス・セブンには、走る楽しみを満喫するために必要なものは全て揃っているのです。

さて、ロータス・セブンの生みの親、チャップマンがロータスの名を冠した初のマシンを製作したのは1948年のこと。オースティン7を改造したロータス・マーク1を手始めに、マーク2、マーク3と自らレースに出場するためのスペシャルマシンを製作。特にマーク3は1951年のレースで好成績を上げ、アマチュアレース界にロータスの名を広げることになるのです。この成功を機会にチャップマンは1952年、ブリティッシュ・アルミニウムの社員として從事するかたわら、ロータス・エンジニアリング社を設立。レース経験とマシン作りのノウハウを生かして、アマチュアレーサーのための競技用マシン、マーク6の販売を開始したのです。1953年7月のシルバーストーン・サーキットで開催されたMGミーティングにデビューしたマーク6は、チャップマン自身のドライブで2位を飾ったばかりか、この年19もの優勝を獲得。さらに翌年も14回の優勝という好成績を上げ、53年から55年にかけて100台以上が生産されました。

そして57年に、マーク6以上の人気を集めたのは当然だったといえるでしょう。アマチュアレーサーの競技用マシンとしてはもちろん、一般道でもリアル・スポーツとしての高性能な走りをたっぷり楽しめ、さらに価格も安く、車にかかる税金が免除されるキャット形態で販売されたことにより、いっそう人に入れやすいものとなっていました。60年まで生産されたシリーズ1、68年まで生産され、ノーズコーンと前後のフェンダーをFRPとするなどロード・コイン・シングル・スポーツとしての性格を強めたシリーズ2。70年まで生産され、リヤトレッドを広げ、フロントにディスクブレーキを採用するなど改良が加えられたシリーズ3、デューン・ベギーのようなスタイルを持ちもそれまでのセブンとは一線を画した存在のシリーズ4と様々なタイプが生まれ、また、コスワースなどの高性能エンジンを搭載したものはスーパー・セブンと呼ばれました。

スポーツカー愛好家たちの高い人気を築めたロータス・セブンでしたが、スポーツカーメーカーとして、またFTコンストラクターとしての事業拡大のために、ロータスは73年にセブンの生産を中止。しかし、セブンのすばらしさを認め、自らも熱心なファンであったグラハム・ニール率いるケーターハム・カーズがこの年、ロータスからセブンの製造・販売権を取得して、セブンの生産を続けることになったのです。ケーターハム・カーズでは社外のメーカーにパート製作を依頼し、それらのパートを組み立てて完成車として仕上げるのはもちろん、英国独自の販売形態であるギフト・フォームでの販売も行う、いっぽうアッセンブリー・メーカーという形態をとりました。このケーターハム・カーズがリリースするのがケーターハム・スーパー・セブンです。ケーターハムは当初、シリーズ4の生産を行いましたが、セブン愛好家たちはボビュラーなセブンであるシリーズ3の復活を望んでいたため、1974年からはその声に応えて、シリーズ3の販売に切り替わりました。もちろん、現在に至るまで細部にわたって全てがシリーズ3そのままではなく、数々の改良が加えられてきました。まず、シャーシは各部にわたって補強が施され、レッグ・スペースが広がり、また耐候性やブレーキ、サスペンションの改良、そしてスイッチ類の操作性の向上など、その改良は細部にわたるところにも。今もなお続いている。ケーターハム・スーパー・セブンが長年にわたって、常にスポーツカーファンに愛され続けてきた理由の一つが、その基本コンセプトを守りながら受けられている改良にあるといつてもいいでしょう。そして、ケーターハム・カーズがアッセンブリー・メーカーという形態を採用したことにより、もっともベーシックな

キャットからフル装備仕様まで、さらに、様々なエンジンを搭載したセブンを供給することができたのです。多くのリニューアルの中でも、1986年に登場したケーターハム・スーパー・セブンBDRは、その名の通り名作レーシングエンジンのストリート用ともいえる、コスワースBDRを搭載したモデルです。水冷直列4気筒DOHC16バルブのコスワースBDRエンジンは、排気量1690ccながら180馬力を発揮する高性能ユニット。サスペンションはフロントがダブルウィッシュボーンにスタビライザーを装備し、リアはド・デオン・アクスルを採用。さらに、1988年にはドフムだったリヤブレーキが、ディスクブレーキに変更され、高性能に見合った強力なブレーキを獲得したのです。

また、そのシンプルな作りからオーナー自らが手を加える楽しみも残されているだけに、エンジンチューニングをはじめ、サスペンションのスパップアップ、また、サイタルフエンダー、レーシンググスクーリーンなど、性能アップからドレスアップまで豊富なバージョンが販売されています。オーナーたちはそれらのバージョンを組み込んでオリジナル仕様に仕上げたマシンでドライブを楽しんでいるのです。

自らもレーザーとして活躍したチャップマンが理想としたスポーツカーの原点といえるロータス・セブン。世界中からこのロータス・セブンのレプリカモデルが発光されている中で、ケーターハム・スーパー・セブンはチャップマンの理想を受け継ぎながら、現代テクノロジーでさらなる改良を加えた正統派。ロータス・セブンは、ケーターハム・スーパー・セブンと名前を変えながらこれからも生産され続ける、スポーツカー愛好家のあこがれを集め続けることでしょう。

## 《ケーターハム・スーパー・セブンBDR主要諸元》

- 全長×全幅×全高.....3380×1580×1120mm
- ホイールベース.....2250mm
- トレッド(F/R).....1270/1320mm
- 車両重量.....600kg
- エンジン形式名.....フォード・コスワースBDR
- エンジン形式.....水冷直列4気筒DOHC4バルブ
- 総排気量.....1690cc
- 燃料供給.....ウェーバー45DCOE×2
- 最高出力.....180PS/7200r.p.m.
- 最大トルク.....18.5kg-m/6000r.p.m.
- ステアリング.....ラック・アンド・ピニオン
- サスペンション.....(F)ダブルウィッシュボーン  
.....(R)スタビライザー付き  
.....(R)ド・デオン・アクスル
- ブレーキ.....(F)ディスク/(R)ディスク
- ホイール+タイヤ.....(F)6.5J×15+195/50R15  
.....(R)6.5J×15+195/50R15



写真協力: Car Graphic

写真はクラフマンレーサー仕様のワインディングスクリーンを装着して走行テスト中のケーターハム・スーパー・セブンですが、PHOTOS SHOW FULL SIZE VEHICLES AND VARY FROM THE MODEL

The British-made Caterham produced Super Seven lightweight sports car, is not only distinguished for its driving pleasure, but is equally famous as a back-yard car assembly kit. It is well known that the original Seven was the creation of Colin Chapman, founder of the renowned Lotus group. Lotus history began in the late 1940's when Chapman built a racing car in his back yard, using assorted parts from other cars, and then successfully competed with it in local races. The success of his race car in numerous events, led him to design and build racing cars for fellow competitors. It is believed that the Lotus Seven, introduced in 1957, grew out of Chapman's enthusiastic interest in Austin Seven cars. The Lotus Seven was a direct development of his successful Lotus Mk.VI racer of 1953. The early layout of the Seven, called the Series-1, had simple body panels attached to a sturdy space frame, with motorcycle type fenders and little protection

from the elements. In order to avoid the heavy purchase tax on new cars, Chapman took advantage of a tax rule and offered a complete kit which could be assembled in a short period of time without any special tools. This meant that a car enthusiast could get a very high performance car at an amazingly low price, when compared with factory assembled cars. The Series-2 cars used FRP (Fiber Reinforced Plastic) front and rear fenders, and nose cone. The improved and popular Series-3 cars had a wider tread, a Ford Escort rear axle and front disc brakes. The Series-4 is often described as the most civilized Seven, and the Cosworth engined version is known as the "Super" Seven. Although the Lotus Seven proved a big success, Lotus was heavily involved with Formula One Racing, and this led to a ceasing of production of the Seven in 1973. This was heartbreaking news for sports car enthusiasts, and a small firm called Caterham Cars obtained the sales

and manufacturing license from Lotus, and continued producing the Series-4 cars. In 1974, Caterham switched production back to the basic Series-3 cars and have continued producing this version, continually upgrading it with modern automotive technology. Their top of the line model Super Seven BDR was introduced in 1986, using the powerful Cosworth BDR engine. This liquid cooled, 1690cc in-line 4-cylinder, DOHC 16 valve engine yields 180 horsepower, providing the 600kg car with an awesome power to weight ratio. In order to efficiently utilize this power and hug the roads, the front suspension is a double wishbone type with stabilizer, while the rear uses tough De Dion axles. Beginning in 1988, the car has disc brakes at all four corners. Colin Chapman's aspirations can be blended with a variety of custom parts such as cycle-type fenders, sports shocks, etc. for this legendary automobile, allowing the owner to individualise their Super Seven.

Der von der englischen Firma CATERHAM hergestellte Super-Seven Leichtbau-Sportwagen zeichnet sich nicht nur durch sein spartanisches Fahrvergnügen aus, mindestens ebenso berühmt ist er durch die Tatsache, daß er für Hinterhof-Bastler als Bausatz angeboten wird. Bekanntlich ist der Original-Seven eine Schöpfung von COLIN CHAPMAN, dem Gründer der renommierten LOTUS-Gruppe. Die LOTUS-Geschichte begann Ende der Vierziger Jahre, als CHAPMAN auf seinem Hinterhof aus verschiedenen Autoteilen ein Rennauto zusammenbastelte und damit regionale Rennen fuhr. Durch den Erfolg seines Rennwagens in vielen Amateur-Rennen wurde CHAPMAN zum Autohersteller und Lieferanten für seine Mitbewerber. Es ist anzunehmen, daß der 1957 vorgestellte LOTUS Seven aus CHAPMANS Leidenschaft für AUSTIN-Seven-Autos entstand, er war die Weiterentwicklung des erfolgreichen LOTUS Mk.VI von 1953. Die Erstausführung des Seven unter dem Namen Serie 1 besaß einfache Karosserie-Platten auf einem steifen Leiterrahmen, Kotflügel wie ein Motorrad und nur wenig Schutz gegen unfreundliches Wetter.

Um die hohe Luxus-Steuer auf Neuwagen zu umgehen, nutzte CHAPMAN eine Lücke im Steuergesetz und bot einen Komplett-Bausatz an, der ohne Spezialwerkzeuge in kurzer Zeit zu montieren war. Ein Sportwagenliebhaber konnte so - verglichen mit einem werksseitig montierten - zu einem erstaunlich niedrigen Preis an ein Fahrzeug mit hoher Leistung gelangen. Die Serie 2 erhielt eine Kühlerhaube sowie hinten und vorne Kotflügel aus GFK. Die weiter verbesserte und allgemein beliebte Serie 3 besaß eine breitere Spur, die Hinterachse vom FORD ESCORT und Scheibenbremsen vorne. Die Serie 4 wird gerne als der kultivierteste Seven bezeichnet, wogegen die Ausführung mit dem starken COSWORTH-Motor zum "Super"-Seven ernannt wurde. Obwohl der LOTUS Seven ein größerer Verkaufserfolg zu werden versprach, führte die starke Hinwendung zur Formel Eins 1973 zur Einstellung der Produktion. Den Sportwagenfans brach bei dieser Nachricht fast das Herz, aber die kleine Firma CATERHAM CARS konnte von LOTUS die Fertigungs- und Verkaufsrechte erhalten, sie führte die Produktion der Serie 4 fort. Im

Laufe des Jahres 1974 stellte CATERHAM die Fertigung auf die ursprünglichere Serie 3 um und produzierte dieses Meisterstück des Sportwagenbaus unter ständiger Nachrüstung mit moderner Automobiltechnik weiter. Ihr Spitzenmodell, der 1986 vorgestellte Super Seven BDR, besitzt den brutal starken COSWORTH BDR Motor. Der wassergekühlte DOHC 16-Ventil-Reihenvierzylinder entwickelt 180 PS und führt bei diesem ultra-leichten Auto zu einem enormen Leistungsgewicht. Um diese Leistung mit einer vernünftigen Straßenlage zu verbinden, besitzt der Seven eine Vorderradaufhängung mit Doppelquerlenkern und Stabilisator sowie eine starre DE DION Hinterachse. Seit dem Modell 1988 ist das Auto an allen vier Rädern mit Scheibenbremsen ausgestattet. COLIN CHAPMAN's Überlegungen können mit einer Vielzahl eigener Anbauteile erweitert werden, wie etwa Radschutzbrettern, Sportstoßdämpfern usw. für dieses legendäre Automobil, womit sich die Besitzer ihren SUPER SEVEN individuell ausrüsten können.

Le petit Roadster Super Seven est commercialisé sous forme de kit par la firme britannique Caterham. Il est réputé pour le plaisir de sa conduite sportive et son confort spartiate et on s'en souvient, c'était bien la voiture de N°6 dans la série TV "Le Prisonnier". La Seven originelle est une création de Colin Chapman, le célèbre fondateur du groupe Lotus. L'histoire de Lotus débute à la fin des années quarante quand Chapman construit sa première voiture de course dans sa cour à partir d'éléments provenant d'autres véhicules pour l'engager dans des compétitions locales. Les victoires qu'il remporta dans ces épreuves amateur amenèrent Chapman à concevoir des voitures pour ses amis pilotes. On pense que la Lotus Seven sortie en 1957 est le fruit de l'intérêt enthousiaste que Chapman portait à l'Austin Seven et d'une évolution directe du très réussi racer Lotus Mk.VI datant de 1953. La première version de la Seven, désignée Series-1 était habillée de simples panneaux de carrosserie fixés sur un châssis robuste, de garde-boues de motocyclette et offrait bien peu de protection en cas de mauvais temps. De façon à éviter la lourde taxe qui frappait les acheteurs de voitures neuves, Chapman tira avantage de cette législation en proposant un kit complet qui pouvait être assemblé dans un délai très court et sans outillage spécial. En clair, un amateur de voitures sportives pouvait disposer d'un véhicule à très hautes performances pour une somme ridicule comparé au prix des voitures assemblées en usine. La Seven Series-2 était dotée de garde-boues avant et arrière et d'une face avant en matière plastique. La Series-3 encore améliorée était équipée d'un essieu arrière de Ford Escort plus large et de freins à disques à l'avant. La Series-4 est souvent définie comme

la Seven la plus "civilisée", alors que les versions équipées du moteur Cosworth sont désignées "Super" Seven. Bien que ce Roadster ait connu un immense succès sans cesse renouvelé, Lotus s'investissant de plus en plus en Formule 1 dut arrêter de produire la Seven en 1973, brisant le cœur de tous ses fervents admirateurs. Fort heureusement pour eux, une petite société dénommée Caterham Cars obtint de Lotus les droits de fabrication et de commercialisation et la production de la Seven Series-4 put donc reprendre. En 1974, Caterham revint à la Series-3 plus "basique" dont la fabrication s'est poursuivie jusqu'à nos jours avec des améliorations constantes et l'adoption de solutions technologiques modernes. Le modèle haut de gamme, Super Seven BDR, présenté en 1986 est équipé d'un fougueux moteur Cosworth BDR. Ce 4

cylindres en ligne 16 soupapes de 1690cm<sup>3</sup> avec double arbre à cames en tête refroidi par liquide est capable de délivrer 180 chevaux. Si l'on considère les 600kg de la voiture, on obtient un formidable rapport puissance/poids. Afin de transmettre efficacement cette puissance et coller à la route, la suspension avant à double triangulation est dotée d'une barre anti-roulis et le train arrière est équipé de robustes axes type De Dion. A partir de l'année modèle 1988, la voiture a reçu des freins à disques sur les quatre roues. Les idées de Colin Chapman peuvent être associées à une série de pièces custom, comme par exemple des garde-boues moto, des amortisseurs compétition... qui permettent aux propriétaires de Super Seven de personnaliser cette voiture légendaire.



# PAINTING

## 《ケーターハム・スーパーセブンSPの塗装》

ライトウェイト・スポーツカーの原点といえるケーターハム・スーパーセブンは、FRP製のノーズコーンと前後のフェンダーは塗装が施され、ボンネットやボディといったアルミ部分は未塗装のままというのが基本です。キットのノーズコーンやフェンダーにはカーボンファイバー模様処理が施されていますので、そのままでも十分スペシャルモードあふれる仕上がりとなります。もちろん塗装も可能。ノーズコーンやフェンダーの代表的なカラーとしては、ブリティッシュグリーン、クロームイエロー、レッド、ロイヤルブルー、ブラックなどがありますが、オーナー気分でオリジナルカラーで塗装するのもいいでしょう。なお、エンジンなどの細部の塗装は説明図中に指示しました。細部にわたっての入念な塗装がモデルをいっそうリアルに引き立ってくれることでしょう。

## 《使用する塗料》

タミヤからはスプレー式のタミヤカラー、筆塗り用のエナメル塗料、アクリル塗料、マーカータイプのペイントマーカーが発売中。説明図中はタミヤカラーのナンバーで指示しました。

## ★ノーズコーンやフェンダーに使われる色

★For nose cowl and fenders / Für Nasenverkleidung und Kotflügel / Pour les ailes et le museau

TS-8 ● イタリアンレッド / Italian red / Italienisches Rot / Rouge Italien

TS-9 ● ブリティッシュグリーン / British green / Britisches Grün / Vert Anglais

TS-14 ● ブラック / Black / Schwarz / Noir

TS-15 ● ブルー / Blue / Bleu / Bleu

TS-16 ● イエロー / Yellow / Gelb / Jaune

## ★細部の塗装色

★For details / Für Detailbemalung / Pour les détails

X-1 ● ブラック / Black / Schwarz / Noir

X-2 ● ホワイト / White / Weiß / Blanc

X-7 ● レッド / Red / Rot / Rouge

X-8 ● レモンイエロー / Lemon yellow / Zitronengelb / Jaune Citron

X-10 ● ガンメタル / Gun metal / Metall-Grau / Gris acier

X-11 ● クロームシルバー / Chrome silver / Chrom-Silber / Aluminium chromé

X-12 ● ゴールドリーフ / Gold leaf / Gold glänzend / Doré

X-13 ● メタリックブルー / Metallic blue / Bleu-Metallic / Bleu métallisé

X-18 ● セミグロスブラック / Semi gloss black / Seldenglanz Schwarz / Noir satiné

XF-2 ● フラットホワイト / Flat white / Matt Weiß / Blanc mat

XF-7 ● フラットレッド / Flat red / Matt Rot / Rouge mat

XF-16 ● フラットアルミニウム / Flat aluminum / Matt Aluminium / Aluminium mat

XF-56 ● メタリックグレー / Metallic grey / Grau-Metallic / Gris métallisé

## 塗装のしかた

### 《塗装について》

塗料は各部の色を変えるために塗るのではありません。各部品を塗装することでその部品の形状や動きをひきたたせるのです。

### 《塗装する前に》

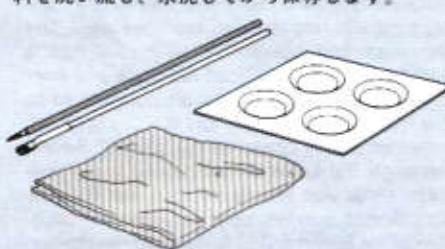
各部品の塗装する面のゴミやほこり、油などをやわらかい布でふき取って下さい。中性洗剤で一度洗っていくのもよいでしょう。

接着剤のはみ出しやキズは塗装ではかくせません。カッターナイフや1000番程度の目の細かな紙やすりで修正します。また、バーティングライン（部品や金具のあわせ目）もやすりをかけて修正してから塗装します。



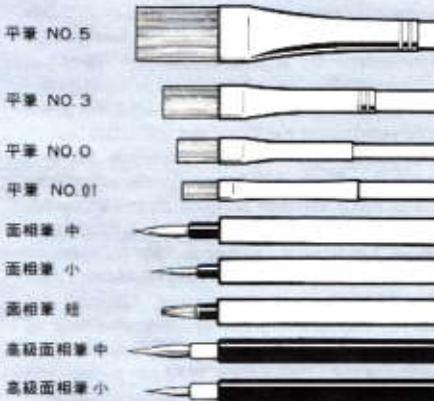
### 《塗装用具について》

タミヤモデリングブラシ、とき皿、ウエス（ボロ布）をご用意下さい。モデリングブラシは各種とりそろえてあります。筆塗りする場所や用途に合せてご用意下さい。筆塗りした筆はウエスでよく塗料をぬぐいとり、溶剤（エナメル用とアクリル用があるので注意してまちがえないようにします）でよく塗料を洗い流し、水洗してから保存します。



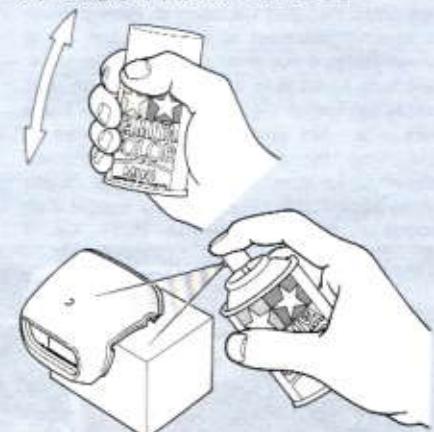
### ●タミヤモデリングブラシ(筆)

筆は塗る面積に応じて使いわけるのが基本です。広い面を塗る筆筆は全部で4種類、細部の塗装用の面相筆は5種類そろっています。どの筆も馬の毛が使われ、軸は木製で手によくなじむ使いやすい筆です。

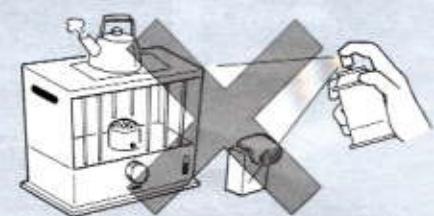


### 《タミヤスプレーの使い方》

新聞紙、ボール箱などを用意して下さい。雨の降っていない日中、風のない日陰で新聞紙を用意してほこりの立たないようにしてから塗装します。スプレーの缶を上下によくふって缶の中の塗料をよくかきめます。塗料のまじり具合を見るために試し吹きをして下さい。塗装するものをボール箱などに固定し20cmくらい放して吹き付けます。スプレーの缶をすばやく同じ方向に動かしてシュッシュッと吹き付けて下さい。塗装する物よりひと回り大きな物を吹き付けるような気持ちで塗装するのがコツです。吹き付けた物は日陰でほこりがたからないように注意して十分にかわかします。

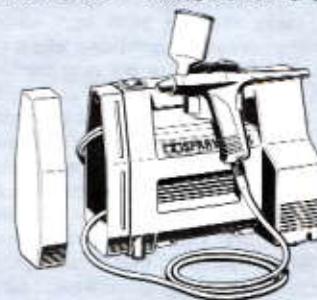


★スプレー塗料は缶に印刷された注意をよく読んで正しく使用して下さい。また火気のある場所での塗装は絶対にしないで下さい。



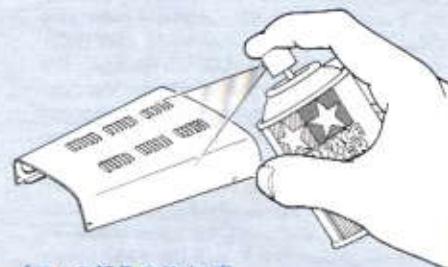
### 《タミヤスプレーワーク》

缶スプレーでは発売されていない色や自由に調合した色、筆塗りではむずかしいメタリックやクリヤーカラーの塗料にはタミヤスプレーワークをご利用下さい。スプレーワークはガントタイプのハンドビースとコンプレッサーのセットです。またご家庭用のコンセントを、電源にできるACアダプターが別売されています。



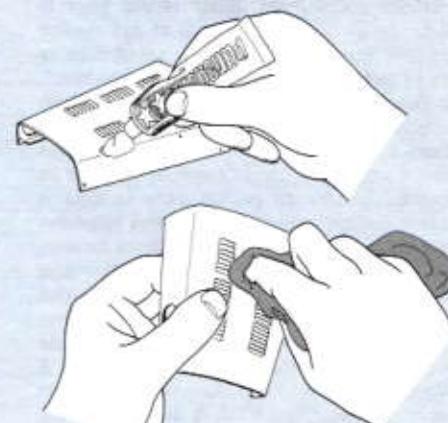
### 《アルミ部品の塗装》

アルミ部品の表面をアルコールなどでふいて油ぶんを取り除き、スーパーサーフェイサーで下地を作つてからボディカラーで塗装して下さい。※スーパーサーフェイサーは必ず吹きつけ下さい。吹きつけないと塗装がはがれたり、色合いが変わることがあります。



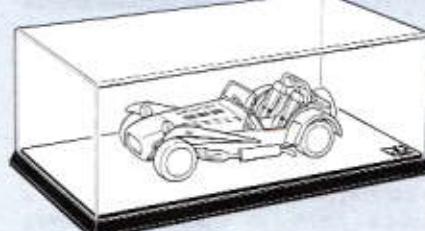
### 《アルミ部品の仕上げ》

ボンネットやボディパネル、リヤパネルといったアルミ部品は、保護とつや出しのためにアルマイト処理されています。さらに、タミヤ・コンパウンドで磨き込めば、金属ならではのいっそう深みのあるつやを出すことができます。また、コンパウンドで磨いたあとでは、表面保護のために必ずタミヤ・モデリングワックスを塗つて下さい。モデリングワックスはスプレー塗装の上にも使用でき、光沢塗装面の保護とつや出しに効果的。液状で作業がしやすく、塗つて軽くふき取るだけで、深みのあるツヤをええます。



### 《ディスプレイケースをご利用下さい》

腕をふるって仕上げたモデルは、やはり大切に保存したいもの。1/12スケールのカーモデルにぴったりのアクリル・ディスプレイケースAをご利用下さい。がっしりした3mm厚のアクリル製、ベースはツヤ消しのダークグレイ塗装を施した高品質でソリのないプレス材を使用しました。しゃれたディスプレイケースがモデルをいっそう引き立てます。サイズは、開口456×奥行256×高さ150mm。



## PAINTING THE CATERHAM SUPER SEVEN

The Caterham Super Seven is offered in the basic colors of British Green, Chrome Yellow, Red, Royal Blue and Black. The paint was applied to the fenders and nose cowling, with the aluminum panels, such as the bonnet and body left in natural aluminum. There are no fixed rules for painting and many custom paint schemes are seen. Fenders and nose cowling of this kit can be left unpainted. Detail painting is called out during construction and should be done at that time.

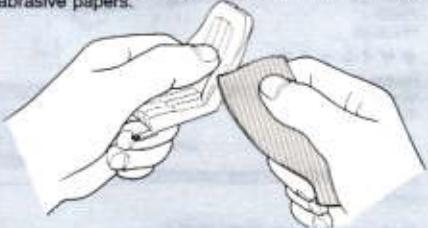
### PAINTING

Painting is an important point in finishing your model. Read the following hints to obtain the best results.

#### PRIOR TO PAINTING

★ Remove excess cement. Fill and clean up joints and seam lines.

★ Smooth surface using a modeling knife and fine abrasive papers.



★ Remove dust and oil from all parts prior to painting by washing with detergent. Rinse off thoroughly and allow to air dry.

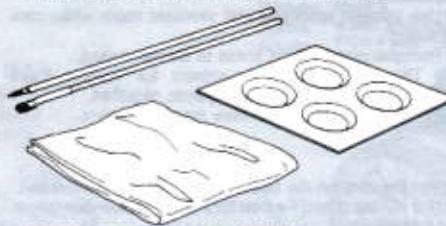
#### BRUSH PAINTING

Brush painting is the most common method of adding color to models, especially for the fine detail. In addition to the basic paints and brushes, the following items come in handy when painting: exclusive paint thinner, an empty paint jar or small paint tray, and rags. After painting, wipe paint from brush with rags and clean brush with thinner.

★ Thoroughly stir paint using a metal or glass rod before application. Avoid shaking the bottle, as it will

cause bubbles.

★ Allow adequate ventilation while painting.



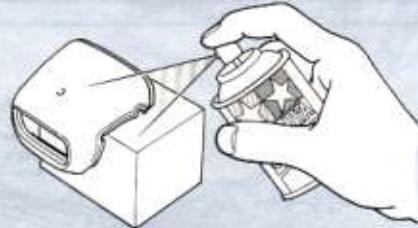
#### SPRAY & AIRBRUSH PAINTING

★ For finishing large areas, the use of spray paints or an airbrush will provide an even finish. It is recommended to work on a clear day with little humidity. Spray paint outdoors in a shady windless area, if possible. Use a cardboard box, newspapers, etc. to keep from painting other areas.

★ Objects to be painted should be secured on a base, so that you have access to all areas. For example, make a loop of a cloth tape with the adhesive facing outside, and secure a model car body onto an empty can. Use adhesive side of cloth tape or spring clips for holding small parts.

When using a spray can, shake it well before painting. Test spray to check if paint is properly mixed.

★ Spray can or airbrush painting should be done in one direction only, and at a distance of about 20cm from the object. Always give a light coat to the entire surface and allow to dry, then repeat this procedure



two or three times for a perfect finish.

★ When using spray or airbrush, carefully read and follow the instructions provided.

★ Avoid painting near an open fire.

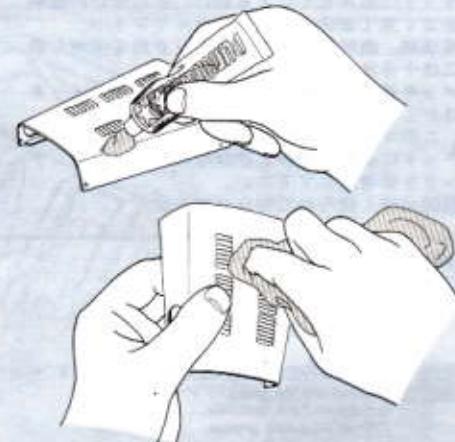
★ Never apply lacquer paints over enamel/acrylic paints. It could harm the painted surface.

#### PAINTING ALUMINUM PARTS

Remove all dust and oil from aluminum parts using alcohol based cleaner. Apply a surface primer prior to painting. Neglecting this can cause paint to easily chip away and change color shading. Surface Primer (87026) is available from Tamiya.

#### POLISHING BARE ALUMINUM

In order to add the sheen to bare aluminum panels, it is recommended to polish thoroughly using fine finishing compound. Apply a coat of wax after polishing to protect and add gloss to surface. Use of Tamiya's separately sold quality Compound, and Modeling Wax are suggested.



## LACKIERUNG DES CATERHAM SUPER SEVEN

Der CATERHAM Super Seven wird in folgenden Grundfarben geliefert: Englisch-Grün, Chrom-Gelb, Rot, Königsblau und Schwarz. Die Farbe wird auf die Kotflügel, die Nasenverkleidung und die Aluminium-Abdeckungen wie Kühlerhaube und Karosserie aufgetragen, ohne diese zu berühren. Es gibt keine starre Lackiervorschrift, es existieren eine Menge individueller Sonderlackierungen, die das ganze Auto verzieren. Die Kotflügel und die Nasenverkleidung können unlackiert bleiben. Die Detailbemalung erscheint beim jeweiligen Bauabschnitt und sollte dort vorgenommen werden.

### BEMALUNG

Die Bemalung ist für die Fertigstellung Ihres Modells von wesentlicher Bedeutung. Lesen Sie die folgenden Hinweise, um das beste Ergebnis zu erzielen.

### VORBEREITUNG DER LACKIERUNG

★ Entfernen Sie vor dem Lackieren Staub und Fettflecke von den Teilen. Gegebenenfalls mit Spülmittel reinigen, sorgfältig abspülen und an der Luft trocknen lassen.

★ Überschüssigen Kleber entfernen, Fugen und Kratzer ausspachteln und ausbessern. Oberfläche mit dem Modellbau-Messer und feinem Schleifpapier glätten.

### BEMALUNG MIT PINSEL

Die Bemalung mit einem Pinsel ist die üblichste Me-

thode der Bemalung und besonders der kleinen Einzelheiten. Zusätzlich zu den Farben und Pinseln sind folgende Gegenstände für die Bemalung nützlich: speziell für Farben entwickelter Verdünner, ein leerer Farbtopf oder Farbpalette und ein Wischtuch. Nach dem Bemalen mit einem Tuch Farbe vom Pinsel wischen und Pinsel mit Verdünner reinigen.

★ Vor dem Auftragen die Farbe mit einem Metall- oder Glassstäbchen gründlich umrühren. Vermeiden Sie, das Fläschchen zu schütteln, da Luftblasen entstehen können.

★ Sorgen Sie bei der Bemalung für ausreichende Belüftung.

### SPRÜH- & AIRBRUSH-BEMALUNG

★ Bei der Bemalung von großen Flächen erreicht man mit Sprüh- oder Airbrush-Farben eine glatte Oberfläche. Es wird empfohlen, an einem klaren Tag mit geringer Luftfeuchtigkeit zu arbeiten. Sprüh-Farben, wenn möglich, draußen an einem schattigen und windstillen Platz verarbeiten. Karton, Zeitungen usw. verwenden, um nicht versehentlich andere Flächen mit einzufärben.

★ Das zu bearbeitende Objekt auf einen Sockel stellen, sodaß Sie von allen Seiten herankommen. Machen Sie z.B. aus einem Textilkeileband eine Schlaufe mit der Klebefläche nach außen und befestigen die Karosserie des Modell-Autos auf einer leeren Dose. Verwenden Sie die Klebeflächen des Textilkeilebands oder Federklammern um Kleinteile zu halten.

## DECORATION DE LA CATERHAM SUPER SEVEN

La Caterham Super Seven est proposée en cinq teintes de base: British Green (vert anglais), Chrome Yellow (jaune chrome), Rouge, Royal Blue (bleu royal) et Noir. La peinture est appliquée sur les ailes et le museau tandis que les panneaux aluminium (capot, carrosserie) restent nus. Cependant, il n'y a aucune règle fixe car la voiture est livrée en kit et on peut admirer de nombreuses décos personnalisées. Les ailes et le museau de ce kit peuvent être rester nus. La peinture des détails doit s'effectuer lors de la construction du modèle.

### PEINTURE

De sa bonne exécution dépend la réussite de votre maquette. Lire attentivement les conseils suivants pour obtenir les meilleurs résultats.

### AVANT DE PEINDRE

★ Enlever toute trace de poussière ou de graisse des pièces avant de peindre. Si nécessaire, laver avec du détergent à vaisselle, rincer abondamment et laisser sécher.

★ Enlever les excès de colle, mastiquer et poncer les lignes de jointures. Faire disparaître les lignes de moulage avec un couteau de modéliste et du papier abrasif fin.

### PEINTURE AU PINCEAU

C'est la méthode la plus employée, en particulier pour les détails. En plus des peintures et pinceaux classiques, les accessoires suivants sont d'une grande utilité: diluant, pots de peinture vides ou palette et des chiffons. Après exécution, nettoyer le pinceau avec un chiffon et le rincer au diluant.

★ Bien mélanger la peinture à l'aide d'une tige en verre ou métallique avant de l'appliquer. Eviter de remuer le pot car des bulles se formeront.

★ Aérer la pièce pendant les travaux de peinture.

### PEINTURE A LA BOMBE ET A L'AEROGRAPE

★ Pour peindre de grandes surfaces, les bombes aérosols ou l'aérographe sont indispensables pour assurer un fini parfait. Il est préférable de travailler à l'extérieur par vent nul et à l'ombre. Installer les pièces à peindre sur un carton, du journal... pour protéger les alentours.

★ Les pièces doivent être fixées sur un support afin de pouvoir accéder à toute leur surface. Par exemple, faites une boucle en ruban adhésif pour fixer une carrosserie de voiture sur une bombe vide. Utiliser du ruban adhésif ou des clips pour maintenir en place des pièces plus petites.

★ Agiter l'aérosol avant de vaporiser la peinture. Effectuer un essai pour vérifier si cette dernière est bien mélangée.

★ La mise en peinture doit s'effectuer en une seule direction et à une distance de 20cm de l'objet. Appliquer toujours une légère couche sur toute la surface puis laisser sécher. Répéter ensuite cette procédure deux ou trois fois pour obtenir un fini parfait.

★ Lire soigneusement les instructions fournies avec l'aérosol ou l'aérographe.

★ Ne pas opérer près d'une flamme.

★ Ne pas appliquer de peintures laquées au-dessus de peintures acryliques en émail, ces dernières pouvant être endommagées.

### PEINTURE DES PIECES EN ALUMINIUM

Enlever toute trace de poussière ou de graisse des pièces en aluminium avec un nettoyant à base d'alcool. Appliquer une couche d'apprêt avant de peindre. Si cette procédure n'est pas suivie, la peinture risque de s'écailler et de changer de teinte! Apprêt recommandé: Tamiya Surface Primer en bombe (réf. 87026).

**FROTTEMENT DES PANNEAUX ALUMINIUM NUS**  
Afin d'accroître le brillant des panneaux aluminium nus, il est recommandé de les frotter soigneusement à l'aide d'une pâte à polir fine. Appliquer ensuite une couche de polish pour les protéger et encore accroître la brillance. L'utilisation de la pâte à polir et du polish spécial modélisme Tamiya est recommandé.



作る前にかならず  
お読み下さい。

**READ BEFORE ASSEMBLY.**  
**ERST LESEN — DANN BAUEN.**  
**A LIRE AVANT ASSEMBLAGE.**

★お買い求めの際、または組み立ての前には必ず  
キットの内容をお確かめ下さい。万一不良部品、不  
足部品などありました場合には、お買い求めの販  
売店にご相談下さい。なお組み立てを始められた  
後は、製品の返品交換などには応じかねます。

★このセットには接着剤は含まれていません。接着  
面にはプラスチック用接着剠、タミヤセメントを  
別にお買い求め下さい。

★キットの組み立てに入る前に、あらかじめ説明  
書をよく見て全体の流れをつかんで下さい。

★接着剤、塗料は必ずプラスチック用を使用し換  
気には十分注意して下さい。

★メッキ部品を接着する時は必ず接着面のメッキ  
をはがして下さい。

● このマークは塗装指示のマークです。このセ  
ットに必要な塗料と塗装色はP 4のペインテ  
ィングを参考にして下さい。

■ 図中青く塗られた部分は接着面です。

- ★Study the instructions thoroughly before assembly.
- ★Use plastic cement and paints only (available separately).
- ★Use cement sparingly and ventilate room while constructing.
- ★Remove plating from areas to be cemented.
- This mark denotes numbers for Tamiya Paint colors. ★Refer to P4 for paints required.
- Portions indicated in blue require cement.

★下図の工具を用意して下さい。

- ★Tools required.
- ★Bénéficié Werkzeug
- ★Outilage nécessaire.

接着剤(プラスチック用)

Cement  
Kleber  
Colle

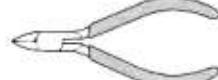
ニッパー  
Side Cutter  
Zwischenzange  
Pince coupante

ナイフ  
Modeling knife  
Modelliermesser  
Couteau de modéliste

ピンセット  
Tweezers  
Pinzette  
Précelles

デザインナイフ  
Design knife  
Modelliermesser  
Couteau à dessiner

ヤスリ  
File  
Feile  
Lime



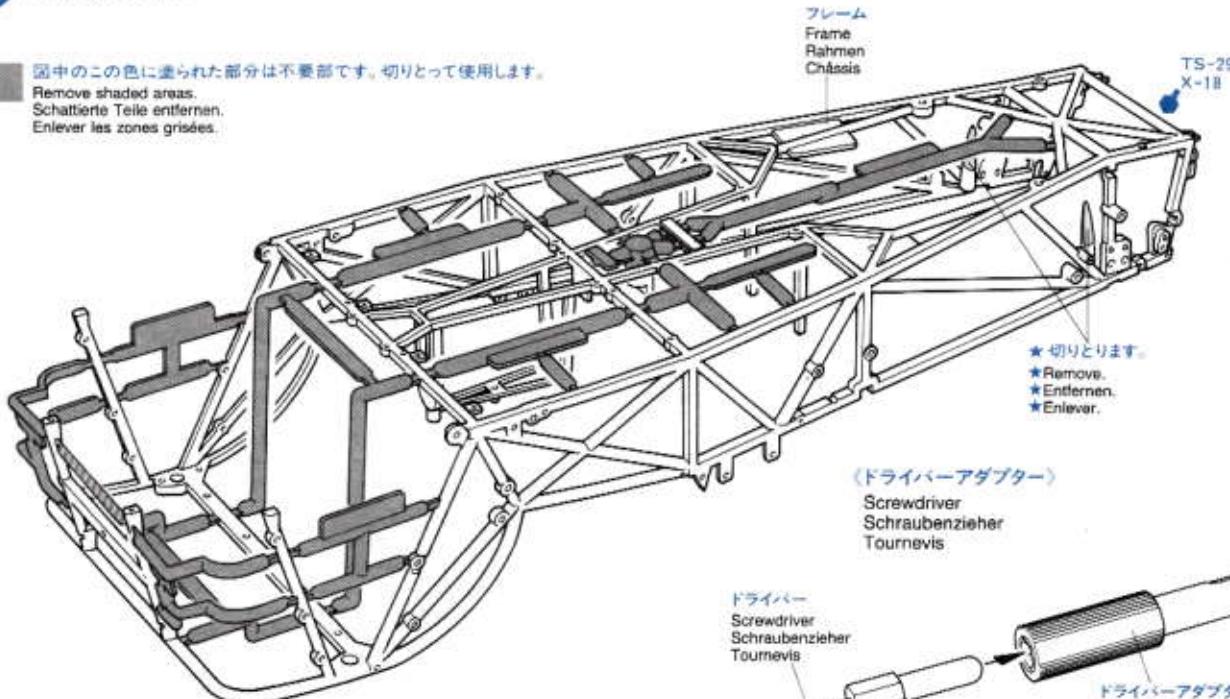
他に、はさみなども用意して下さい。

Scissors are also required.  
Scheren sind ebenso notwendig.  
Des ciseaux sont également nécessaires.

## 1 フレームランナーの切りとり Frame preparation

図中のこの色に塗られた部分は不要部です。切りとて使用します。

Remove shaded areas.  
Schattierte Teile entfernen.  
Enlever les zones grises.

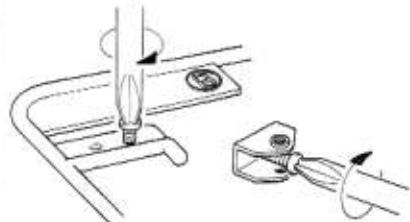


### 《ドライバーアダプター》

Screwdriver  
Schraubenzieher  
Tournevis



## 2 ラックケースのくみたて Steering case



★1.2mmネジは大変小さくねじ込みにくいのでネジのし  
め込みは練習穴でためしてからおこなって下さい。  
また金具によってはビスが入りにくいうものもあります。  
ビスの穴を確認し少し強くねじ込んで下さい。

★This kit uses very small screws. Practice, using the hole  
on sprue, as shown.

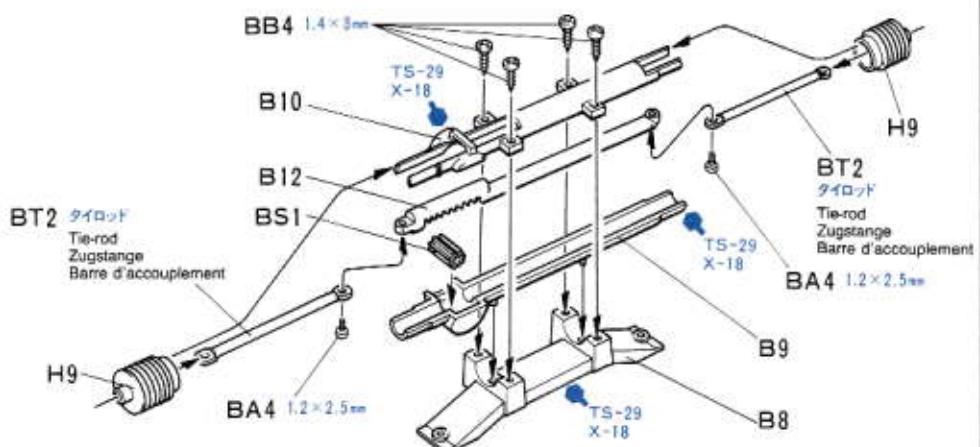
★Dieser Bausatz enthält viele kleine Schrauben. Eindrehen kann am Abfallstiel wie abgebildet geübt werden.

★Le kit inclut de très petites vis. Pour essai, utiliser le trou situé sur la grappe, comme indiqué.

BA4 1.2×2.5mm 丸ビス  
×2  
Screw  
Schraube  
Vis

BB4 1.4×3mm タッピングビス  
×4  
Tapping screw  
Schneidschraube  
Vis taraudeuse

BS1  
ステアリングピニオン  
Steering pinion  
Lenkritzel  
Pignon de direction

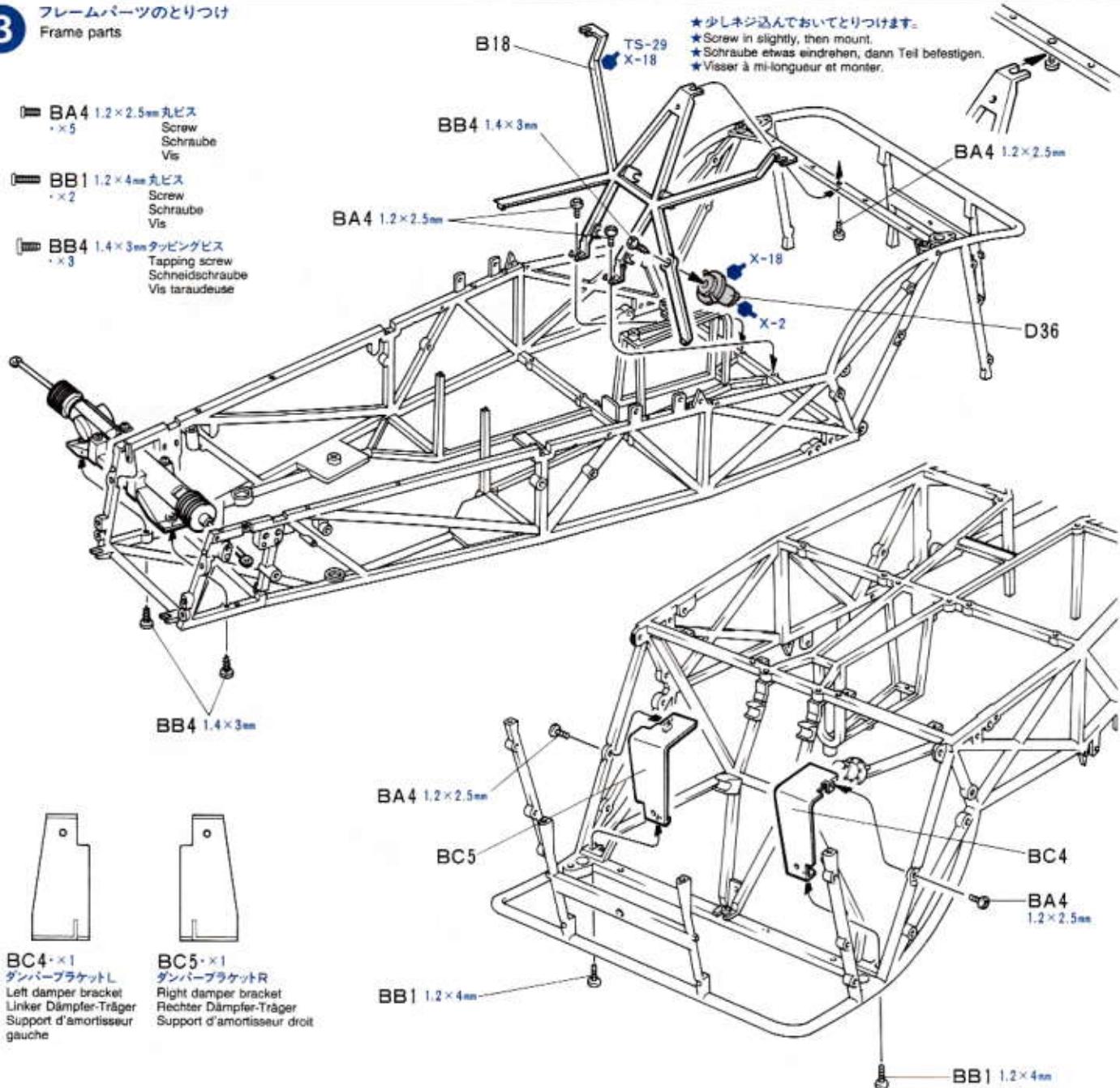


## 3

フレームパーツのとりつけ  
Frame parts

- BA4 1.2×2.5mm 丸ビス  
×5  
Screw  
Schraube  
Vis
- BB1 1.2×4mm 丸ビス  
×2  
Screw  
Schraube  
Vis
- BB4 1.4×3mm タッピングビス  
×3  
Tapping screw  
Schneidschraube  
Vis taraudeuse

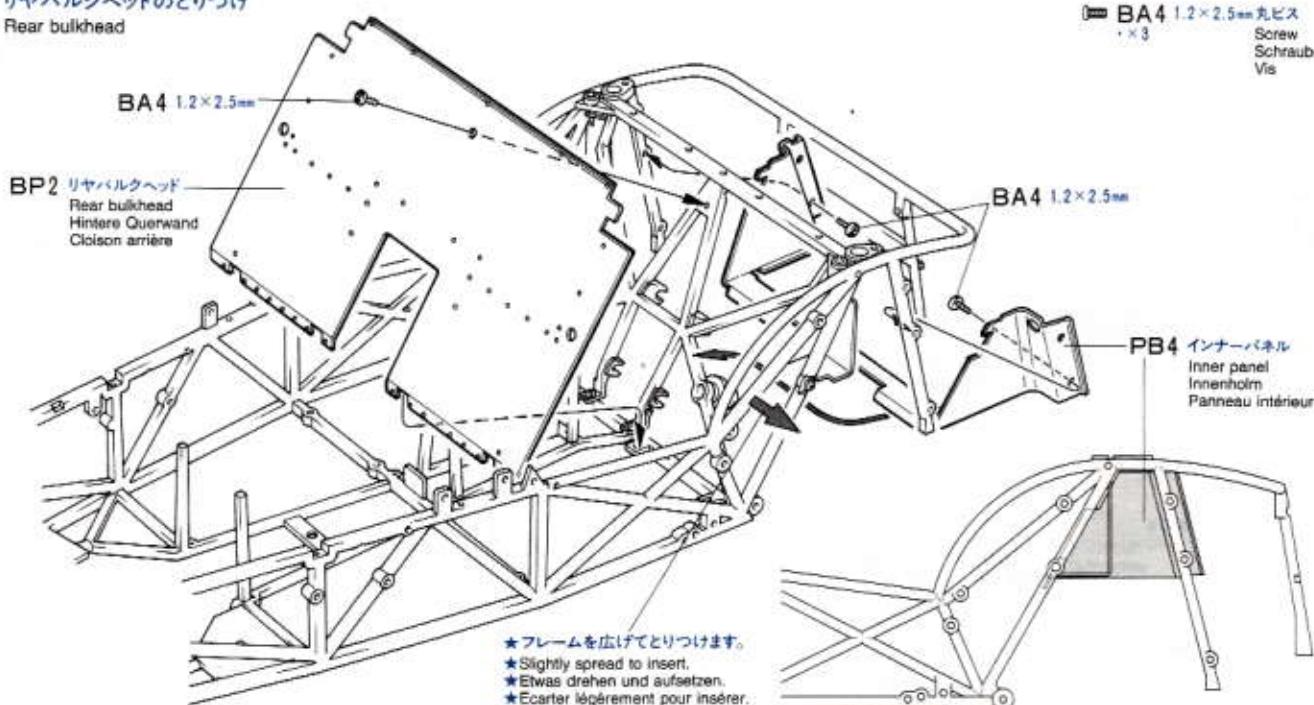
★少しきし込んでおいてとつけます。  
★Screw in slightly, then mount.  
★Schraube etwas eindrehen, dann Teil befestigen.  
★Visser à mi-longueur et monter.



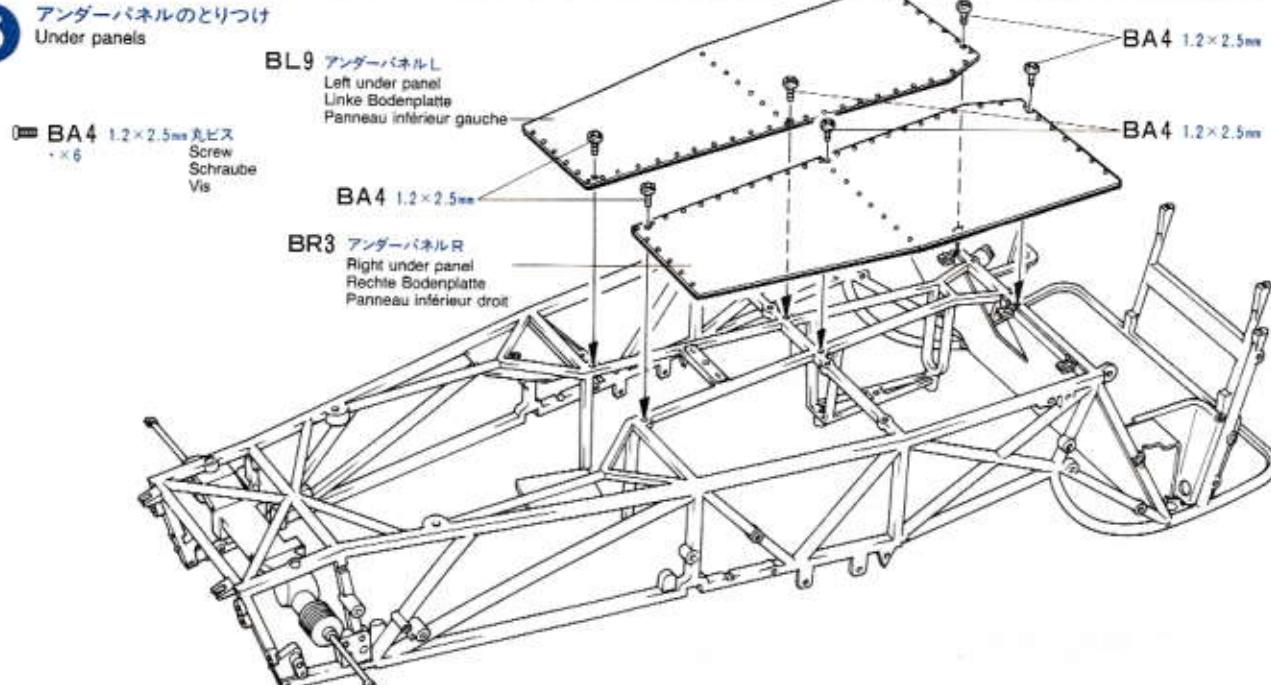
## 4

リヤバルクヘッドのとりつけ  
Rear bulkhead

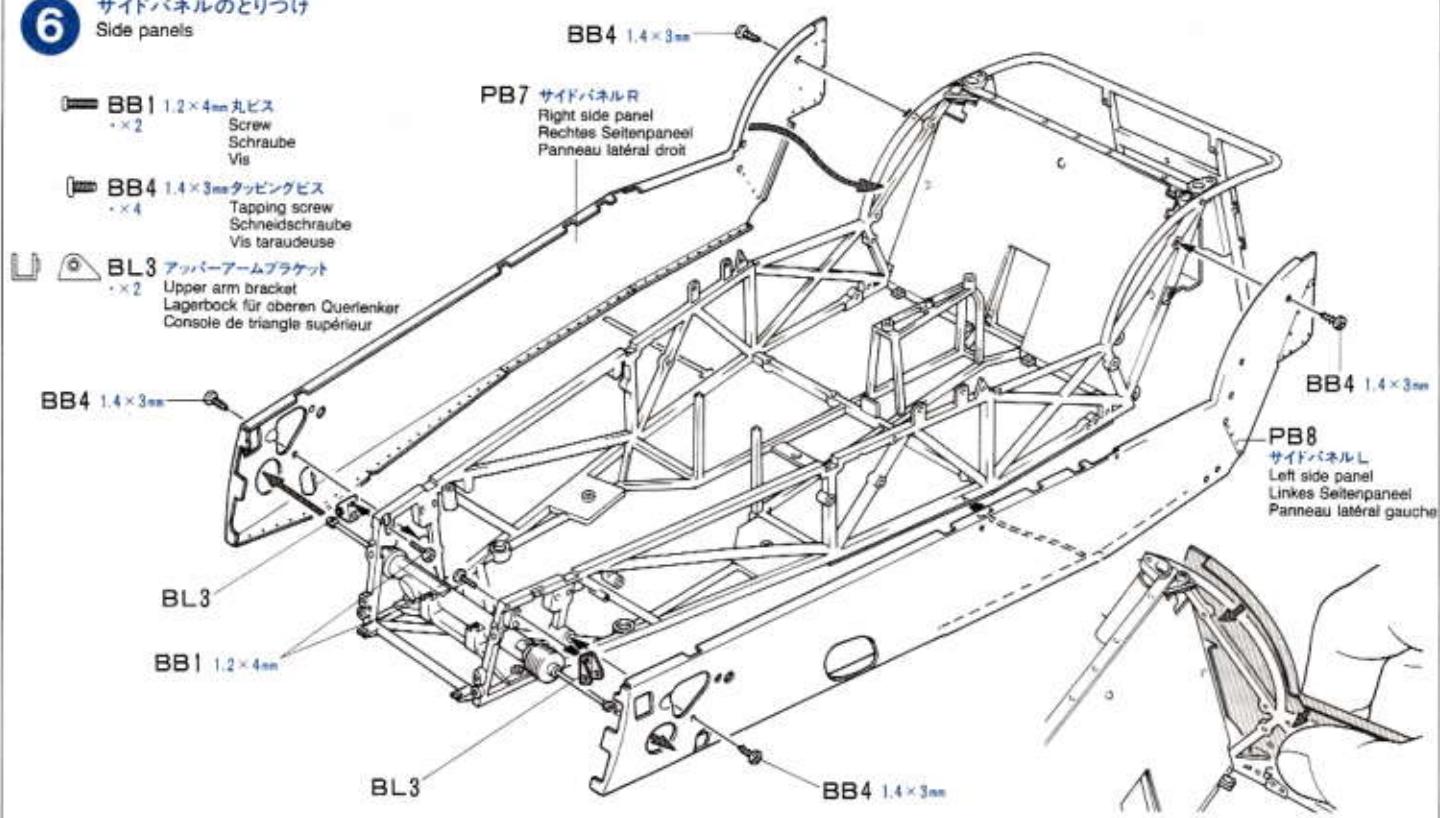
- BA4 1.2×2.5mm 丸ビス  
×3  
Screw  
Schraube  
Vis



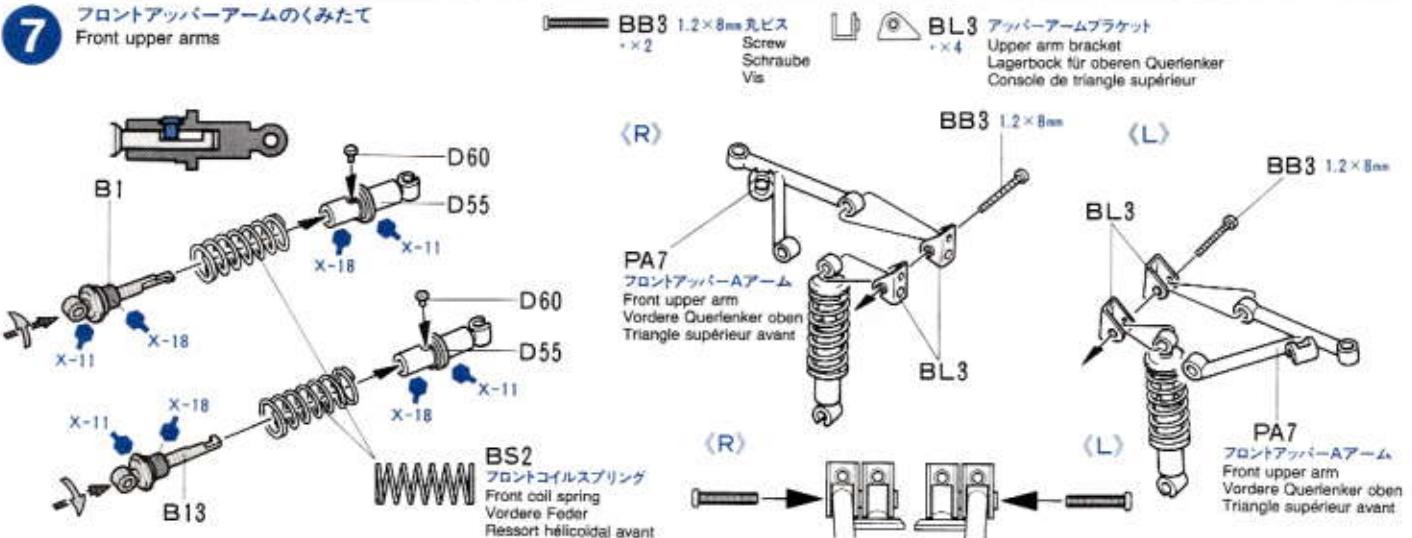
## 5 アンダーパネルのとりつけ Under panels



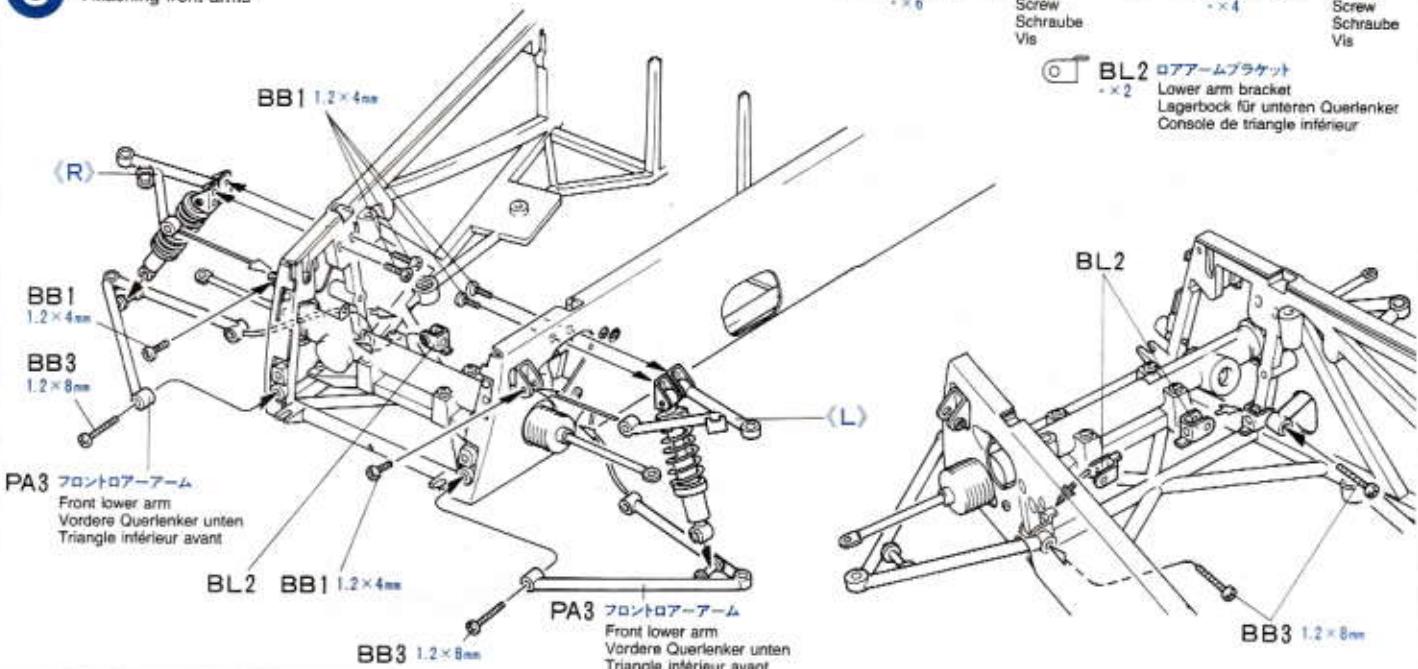
## 6 サイドパネルのとりつけ Side panels



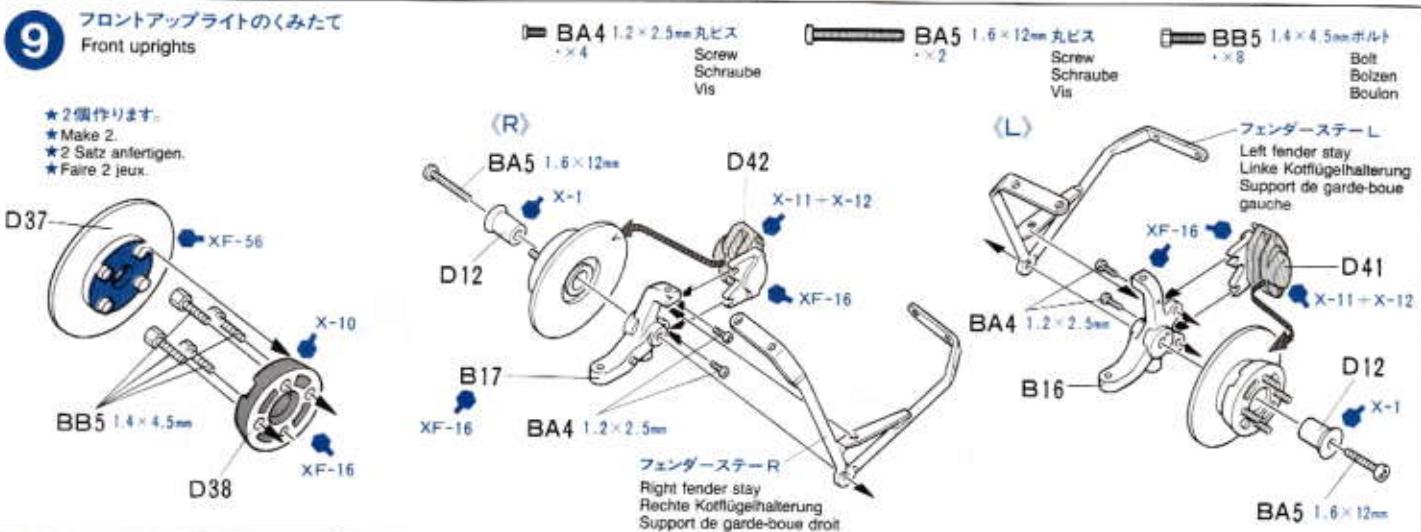
## 7 フロントアッパー・アームのくみたて Front upper arms



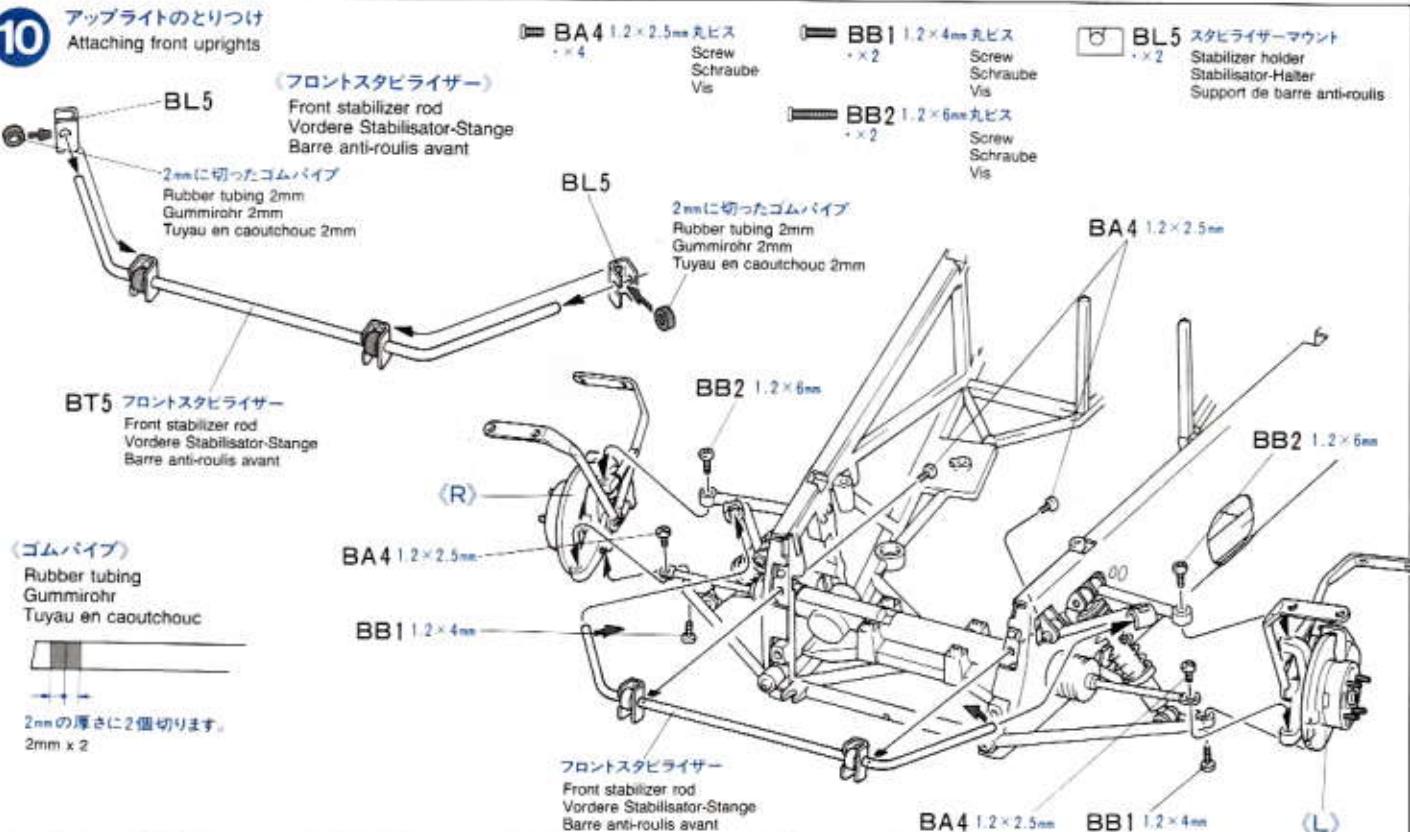
## 8

フロントアームのとりつけ  
Attaching front arms

## 9

フロントアップライトのくみたて  
Front uprights

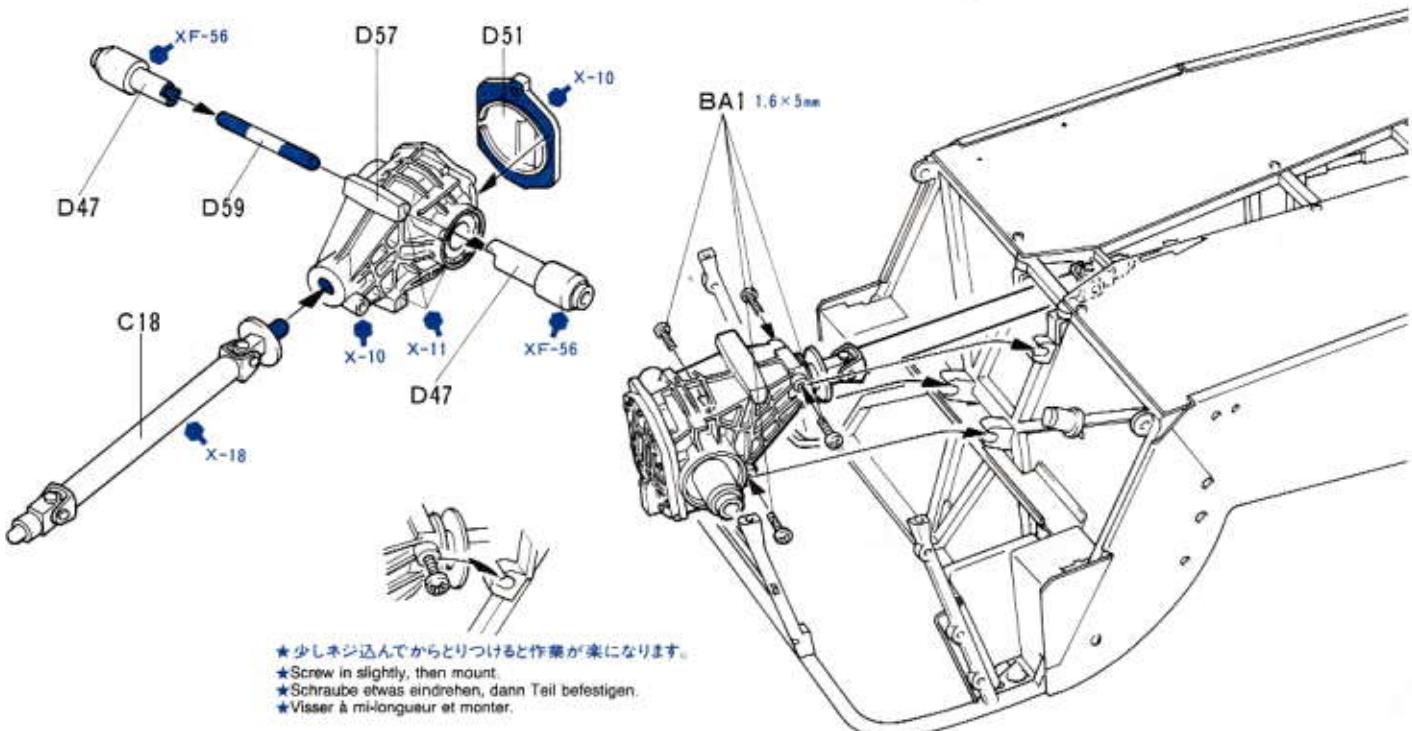
## 10

アップライトのとりつけ  
Attaching front uprights

11

デフハウジングのとりつけ  
Diff housing

BA1 1.6×5mm 丸ビス  
Screw  
Schraube  
Vis



12

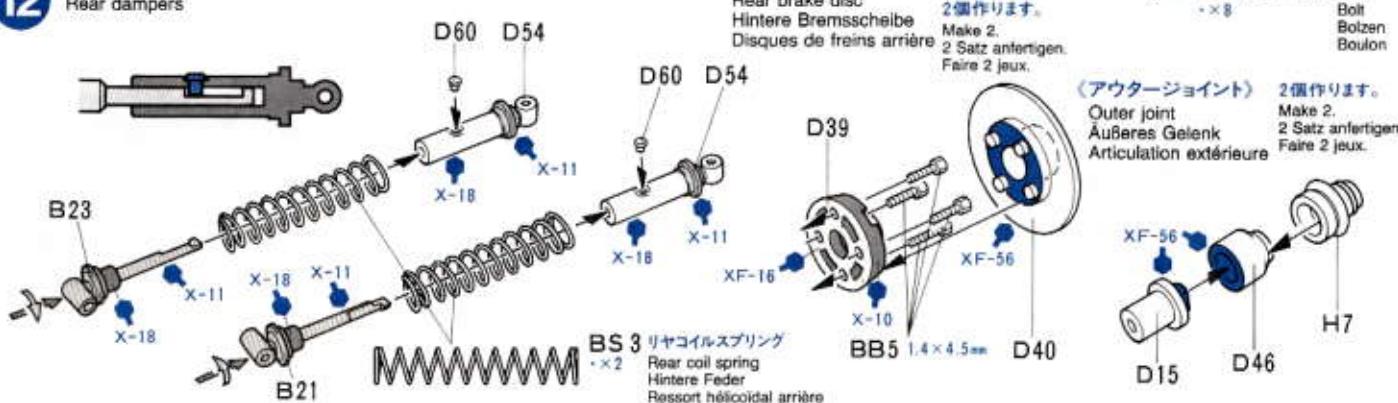
リヤダンパーのくみたて  
Rear dampers

《リヤディスク》

Rear brake disc  
Hintere Bremsscheibe  
Disques de freins arrière  
2個作ります。  
Make 2.  
2 Satz anfertigen.  
Faire 2 jeux.

BB5 1.4×4.5mmボルト  
Bolt  
Bolzen  
Boulon

《アウタージョイント》  
Outer joint  
Äußeres Gelenk  
Articulation extérieure  
2個作ります。  
Make 2.  
2 Satz anfertigen.  
Faire 2 jeux.



13

リヤサスアームのくみたて  
Rear arms

BA2 1.6×10mm 丸ビス  
Screw  
Schraube  
Vis

BB1 1.2×4mm 丸ビス  
Screw  
Schraube  
Vis

BA2 1.6×10mm  
リヤディスク  
Rear brake disc  
Hintere Bremsscheibe  
Disques de freins arrière

BB2 1.2×6mm 丸ビス  
Screw  
Schraube  
Vis

BB3 1.2×8mm 丸ビス  
Screw  
Schraube  
Vis

BB1 1.2×4mm

PA1 ラジアスロッド  
Radius rod  
Längslenker  
Barre de renvoi

PA1 ラジアスロッド  
Radius rod  
Längslenker  
Barre de renvoi

BB1 1.2×4mm

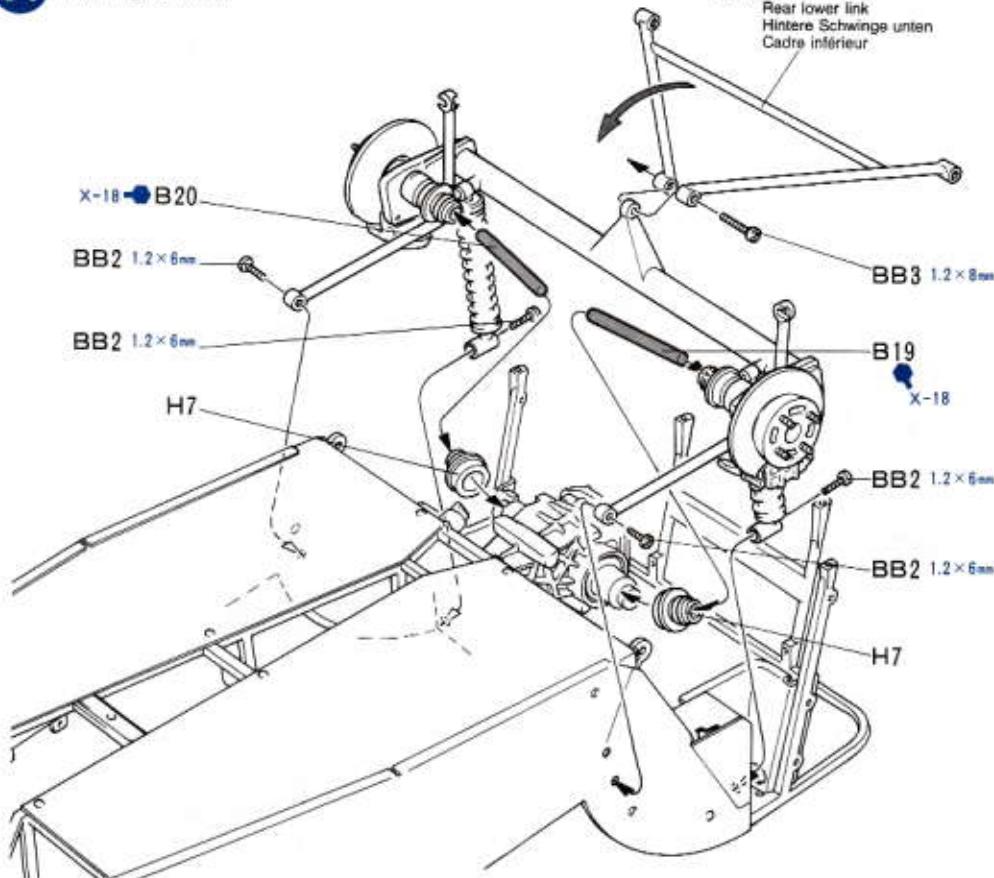
D43 B5  
PA2 ドディオンチューブ  
De Dion tube  
De Dion Achse  
Barre De Dion

アウタージョイント  
Outer joint  
Äußeres Gelenk  
Articulation extérieure

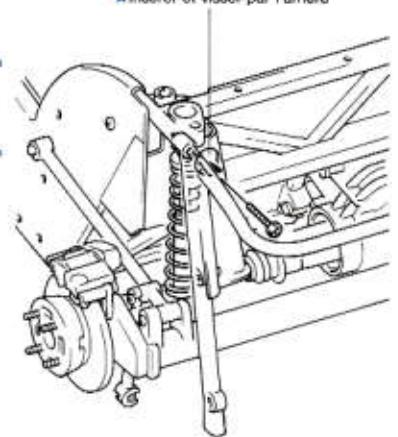
リヤディスク  
Rear brake disc  
Hintere Bremsscheibe  
Frein à disque arrière

BA2 1.6×10mm

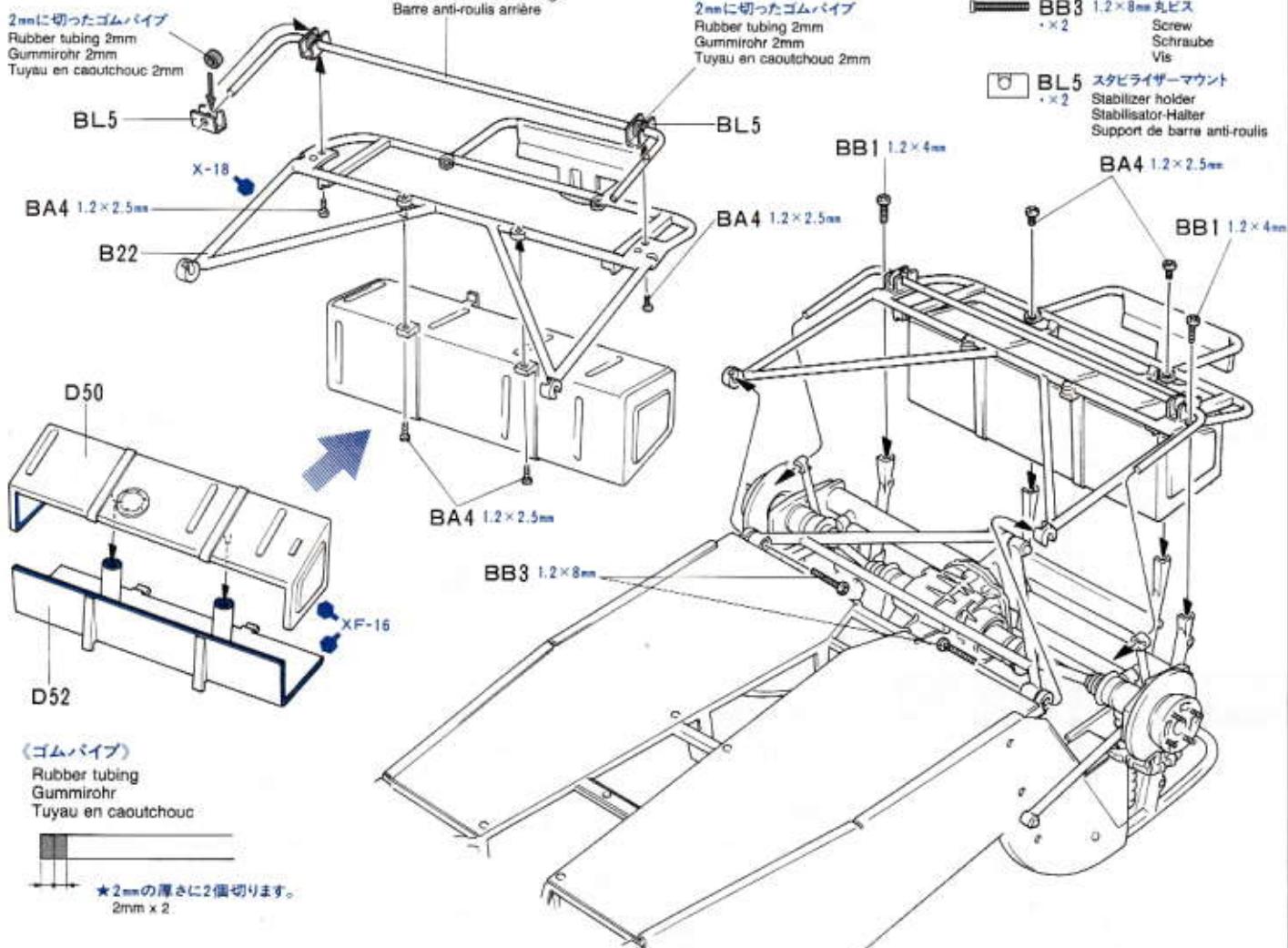
14

リヤサスペンションのとりつけ  
Attaching rear armsPA8 リヤロアーリング  
Rear lower link  
Hintere Schwinge unten  
Cadre inférieurBB2 1.2×6mm丸ビス  
Screw  
Schraube  
Vis  
×4BB3 1.2×8mm丸ビス  
Screw  
Schraube  
Vis  
×1《ダンパー上部のとりつけ》  
Securing upper damper end  
Befestigung des oberen Dämpfer-Auges  
Fixations supérieures des amortisseurs

- ★ 後側の穴からしめ込みます。
- ★ Screw-in from the rear.
- ★ Von hinten einschrauben.
- ★ Insérer et visser par l'arrière

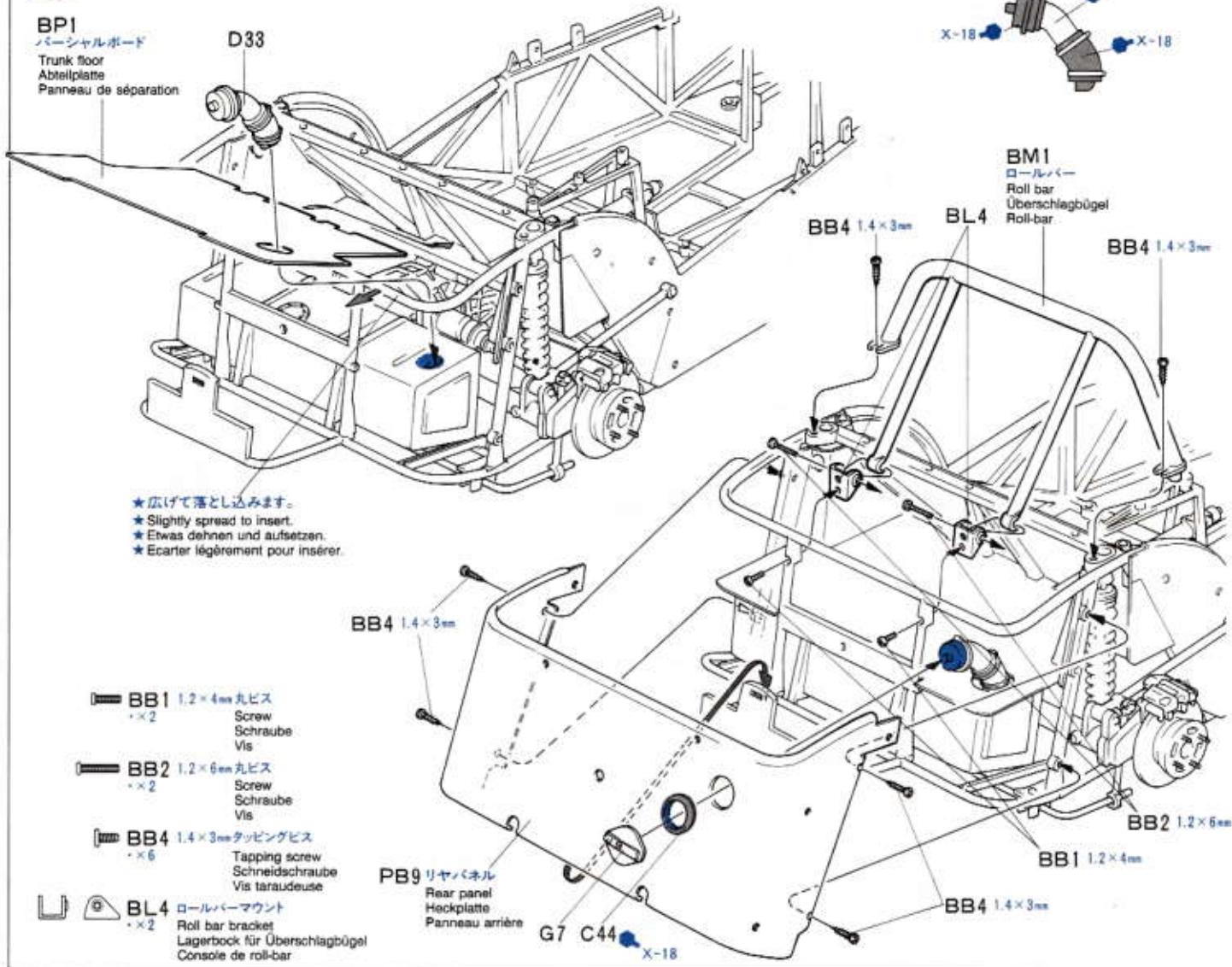


15

リヤサブフレームのとりつけ  
Rear sub-frameBT4 リヤスタビライザー  
Rear stabilizer rod  
Hintere Stabilisator-Stange  
Barre anti-roulis arrièreBA4 1.2×2.5mm丸ビス  
Screw  
Schraube  
Vis  
×6BB1 1.2×4mm丸ビス  
Screw  
Schraube  
Vis  
×2《ゴムパイプ》  
Rubber tubingGummirohr  
Tuyau en caoutchouc★ 2mmの厚さに2個切れます。  
2mm × 2

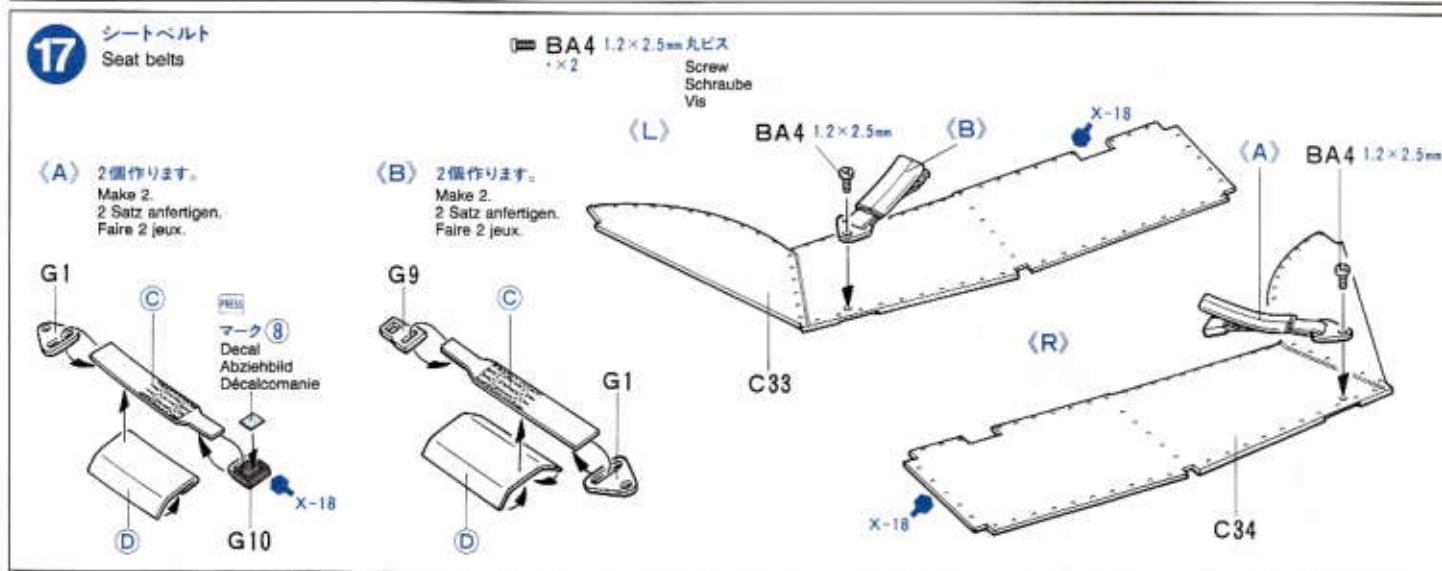
16

リヤパネルのとりつけ  
Attaching rear panel



17

シートベルト  
Seat belts



## APPLYING DECALS

〈スライドマークのはり方〉

- ①はりたいマークをハサミで切りぬきます。
- ②マークをぬるま湯に10秒ほどひたしてからタオル等の上におきます。
- ③台紙のはしを手でもち、貼る所にマークをスライドさせてモデルに移して下さい。
- ④指に少し水をつけてマークをぬらしながら、正しい位置にぎっしります。
- ⑤やわらかい布でマーク内側の気泡をおし出しながら、おしつけるようにして水分をとります。

**DECAL APPLICATION**

- ① Cut off decal from sheet.
- ② Dip the decal in tepid water for about 10 sec. and place on a clean cloth.
- ③ Hold the backing sheet edge and slide decal onto the model.
- ④ Move decal into position by wetting decal with finger.
- ⑤ Press decal gently down with a soft cloth until excess water and air bubbles are gone.

**ANBRINGUNG DES ABZIEHBILDES**

- ① Abziehbild vom Blatt ausschneiden.
- ② Das Abziehbild ungefähr 10 Sek. in lauwarmes Wasser tauchen, dann auf sauberen Stoff legen.
- ③ Die Kante der Unterlage halten und das Abziehbild auf das Modell schieben.

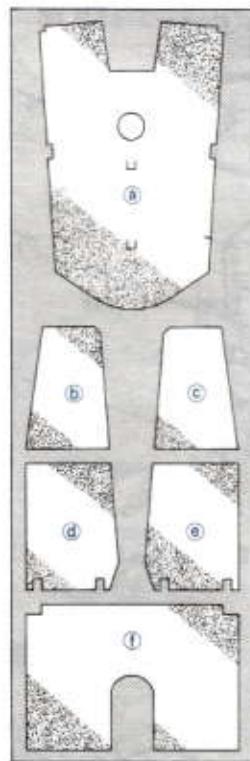
- ⑥ Das Abziehbild an die richtige Stelle schieben und dabei mit dem Finger das Abziehbild naßmachen.
- ⑦ Das Abziehbild mit weichem Stoff ganz andrücken, bis kein überflüssiges Wasser und keine Luftblasen mehr vorhanden sind.

**APPLICATION DES DECALCOMANIES**

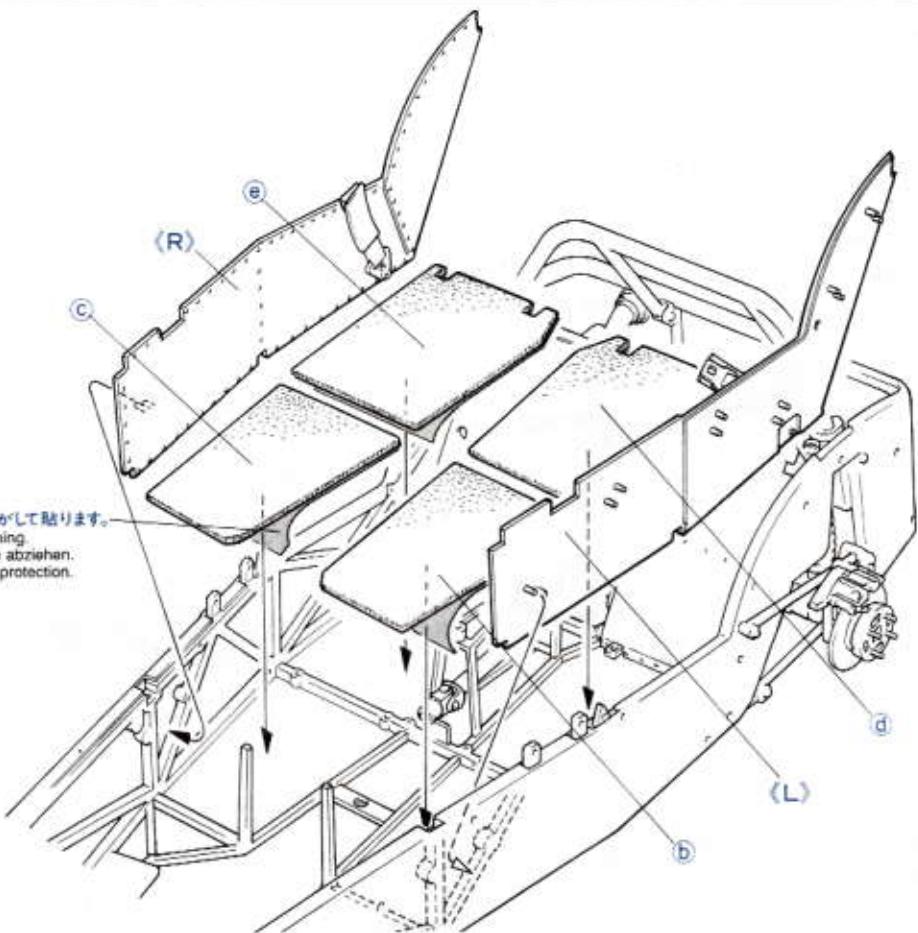
- ① Découpez la décalcomanie de sa feuille.
- ② Plongez la décalcomanie dans de l'eau tiède pendant 10 secondes environ et poser sur un lingé propre.
- ③ Retenez la feuille de protection par le côté et glissez la décalcomanie sur le modèle réduit.
- ④ Placez la décalcomanie à l'endroit voulu en la mouillant avec un de vos doigts.
- ⑤ Pressez doucement la décalcomanie avec un tissu doux jusqu'à ce que l'eau en excès et les bulles aient disparu.

18

フロアカーペットのとりつけ  
Floor carpeting



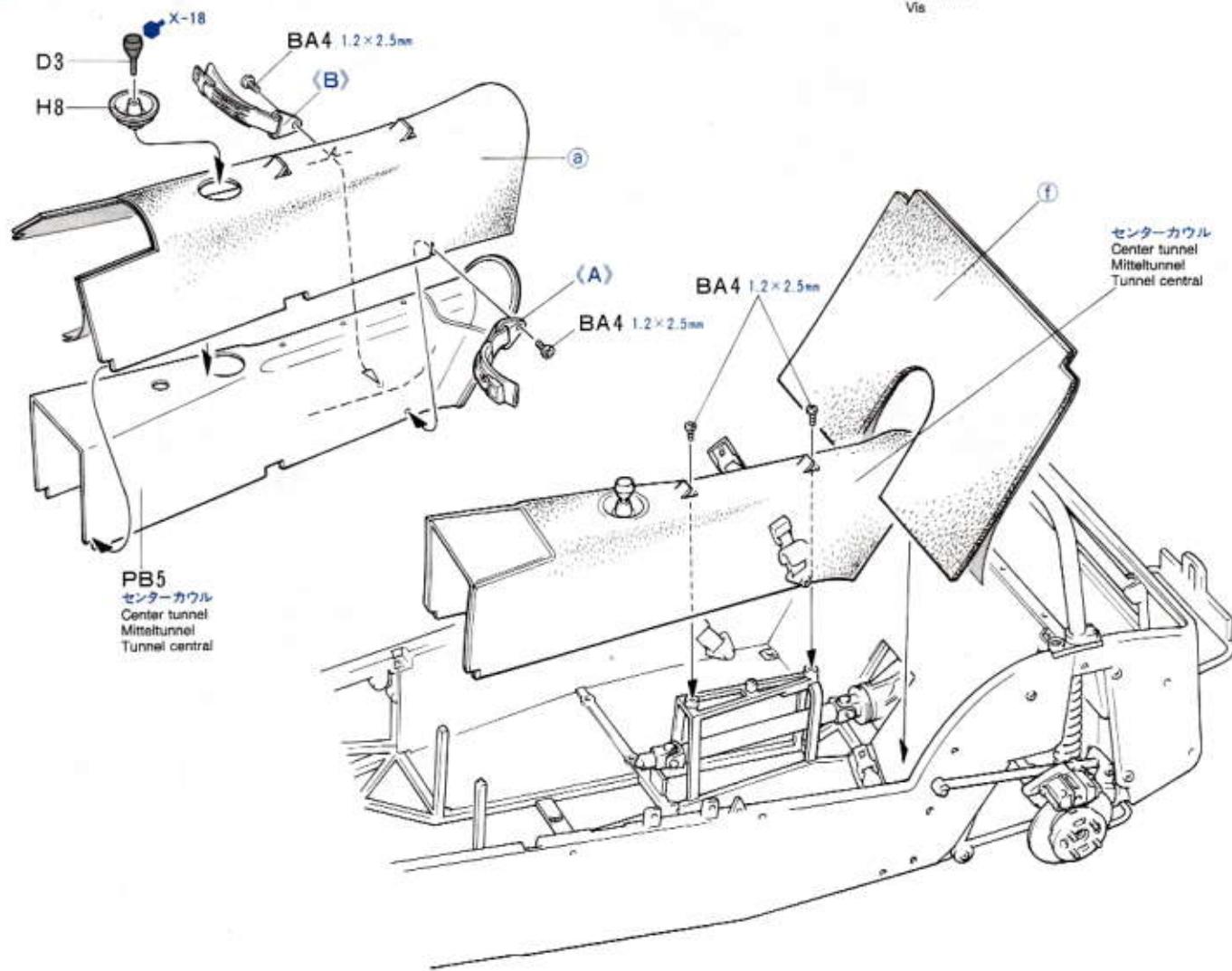
★裏紙をはがして貼ります。  
★Remove lining.  
★Schutzfolie abziehen.  
★Enlever la protection.



19

センターカウルのとりつけ  
Center tunnel

BA4 1.2×2.5mm ビス  
Screw  
Schraube  
Vis

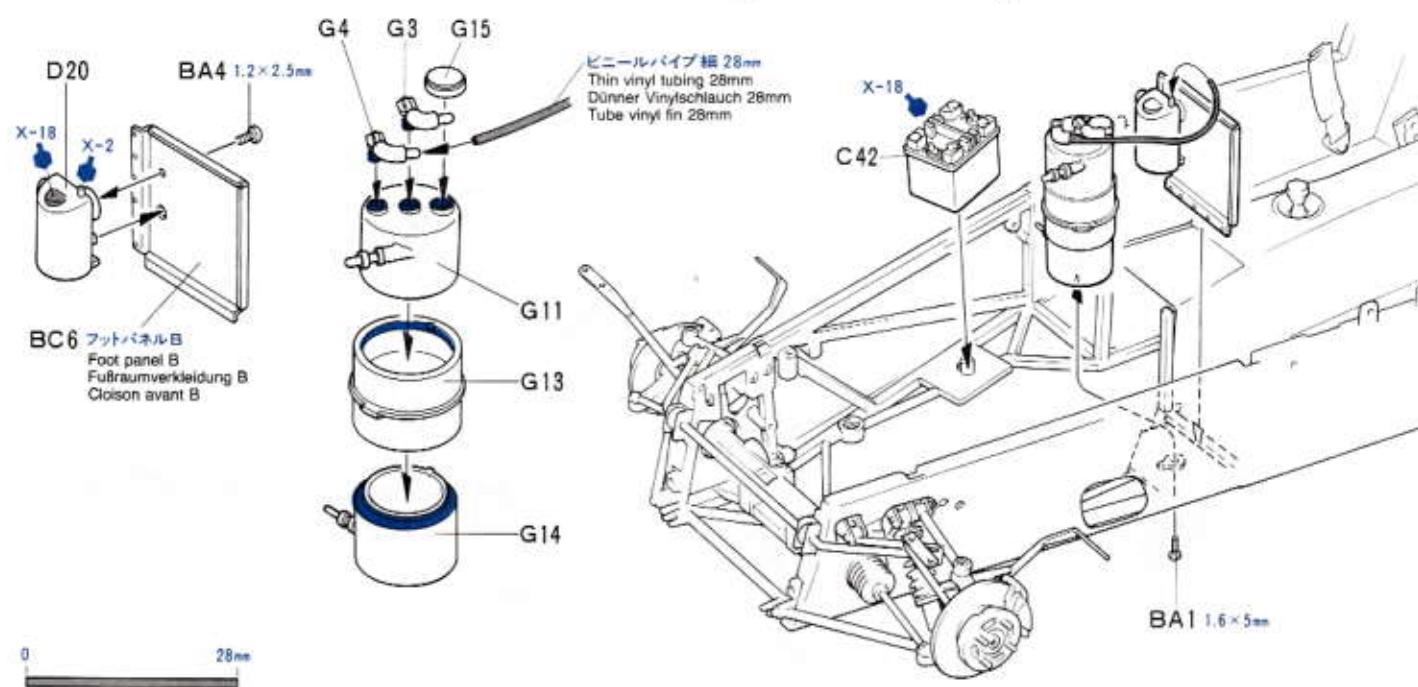


20

オイルタンクのとりつけ  
Attaching oil tank

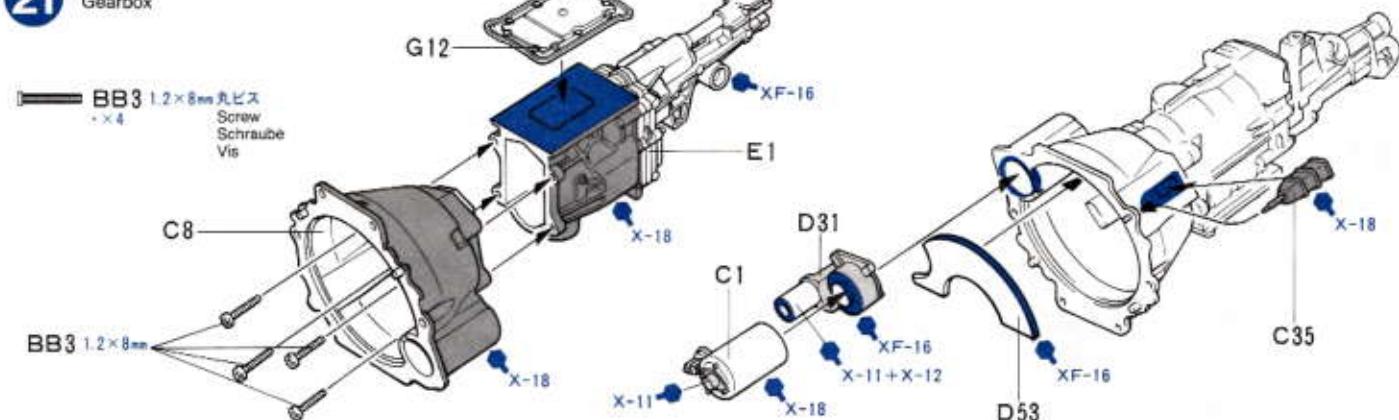
BA4 1.2×2.5mm 丸ビス  
Screw Schraube Vis  
×1

BA1 1.6×5mm 丸ビス  
Screw Schraube Vis  
×1



21

ミッションケースのくみたて  
Gearbox

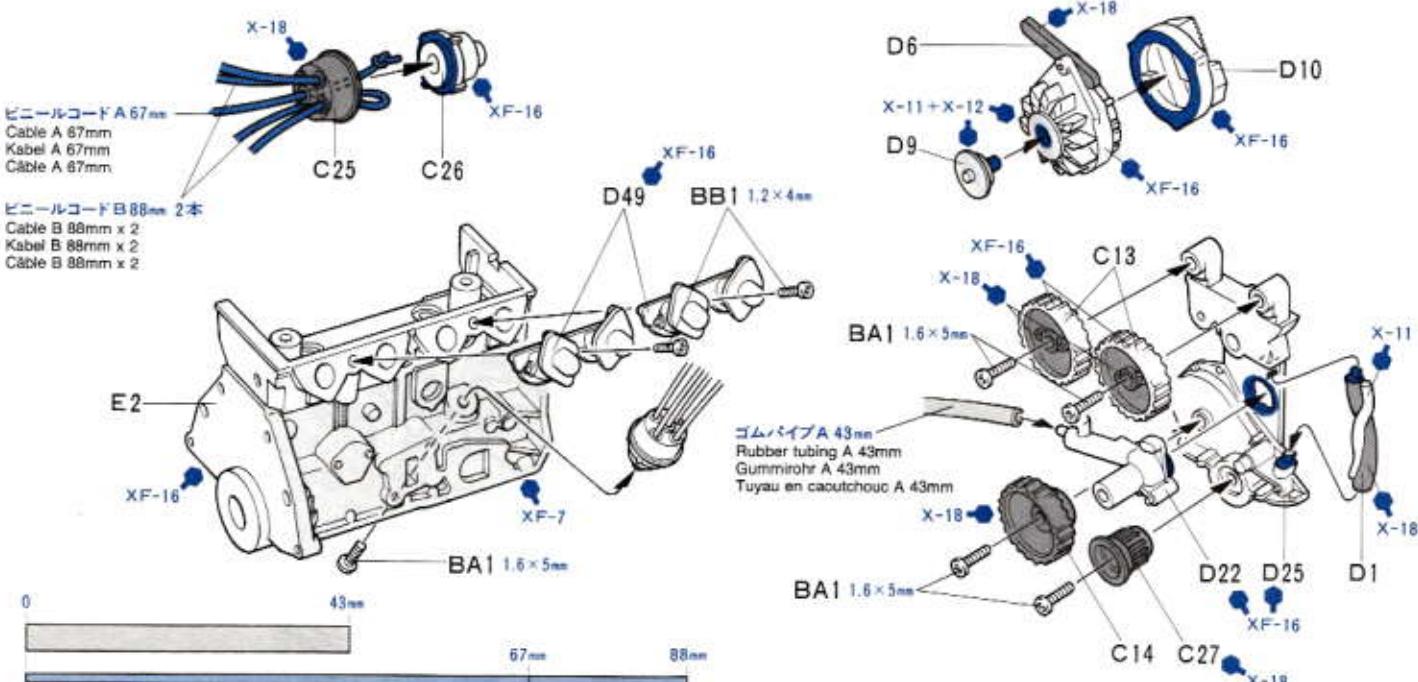


22

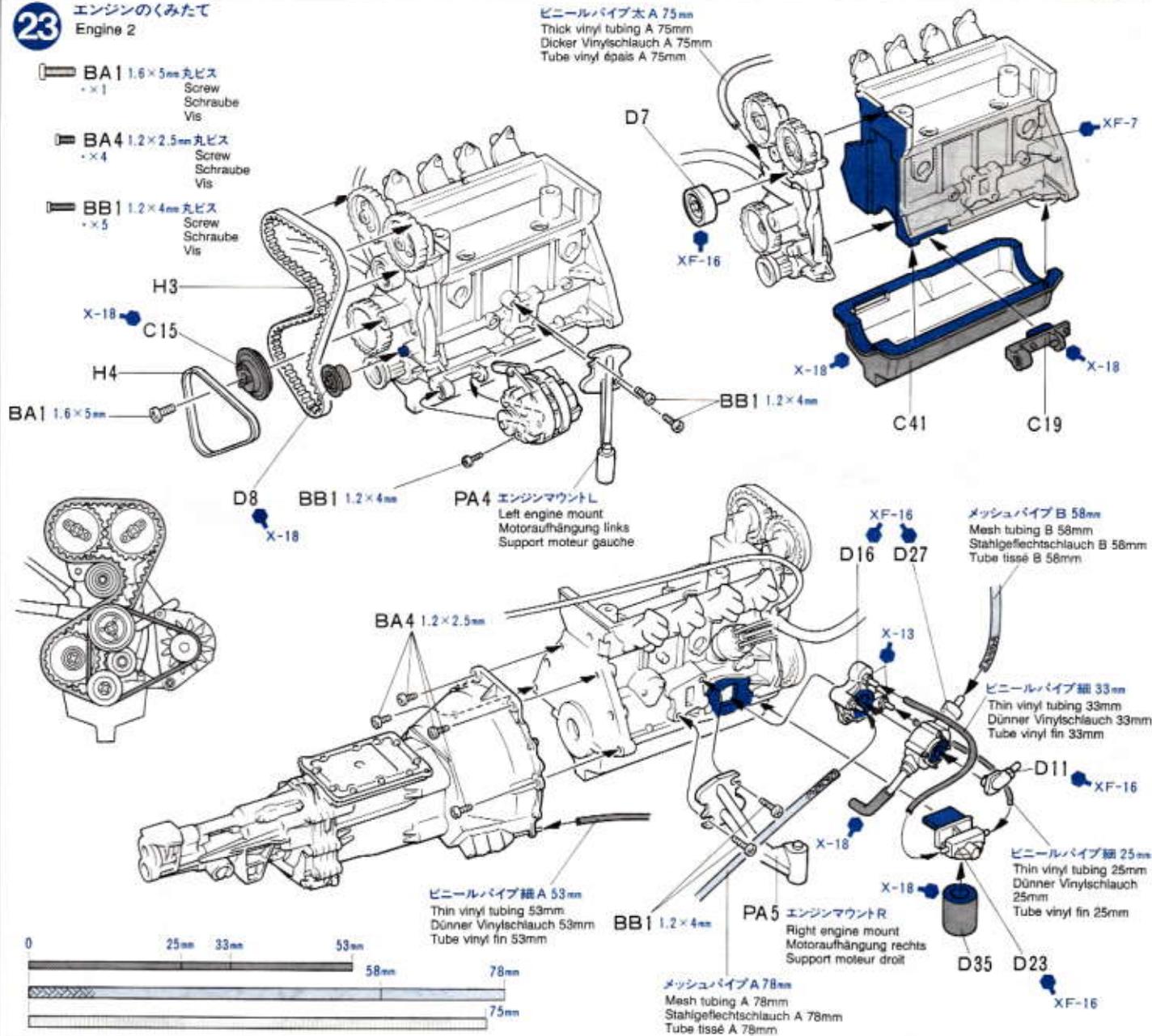
エンジンパーツのくみたて  
Engine 1

BB1 1.2×4mm 丸ビス  
Screw Schraube Vis  
×2

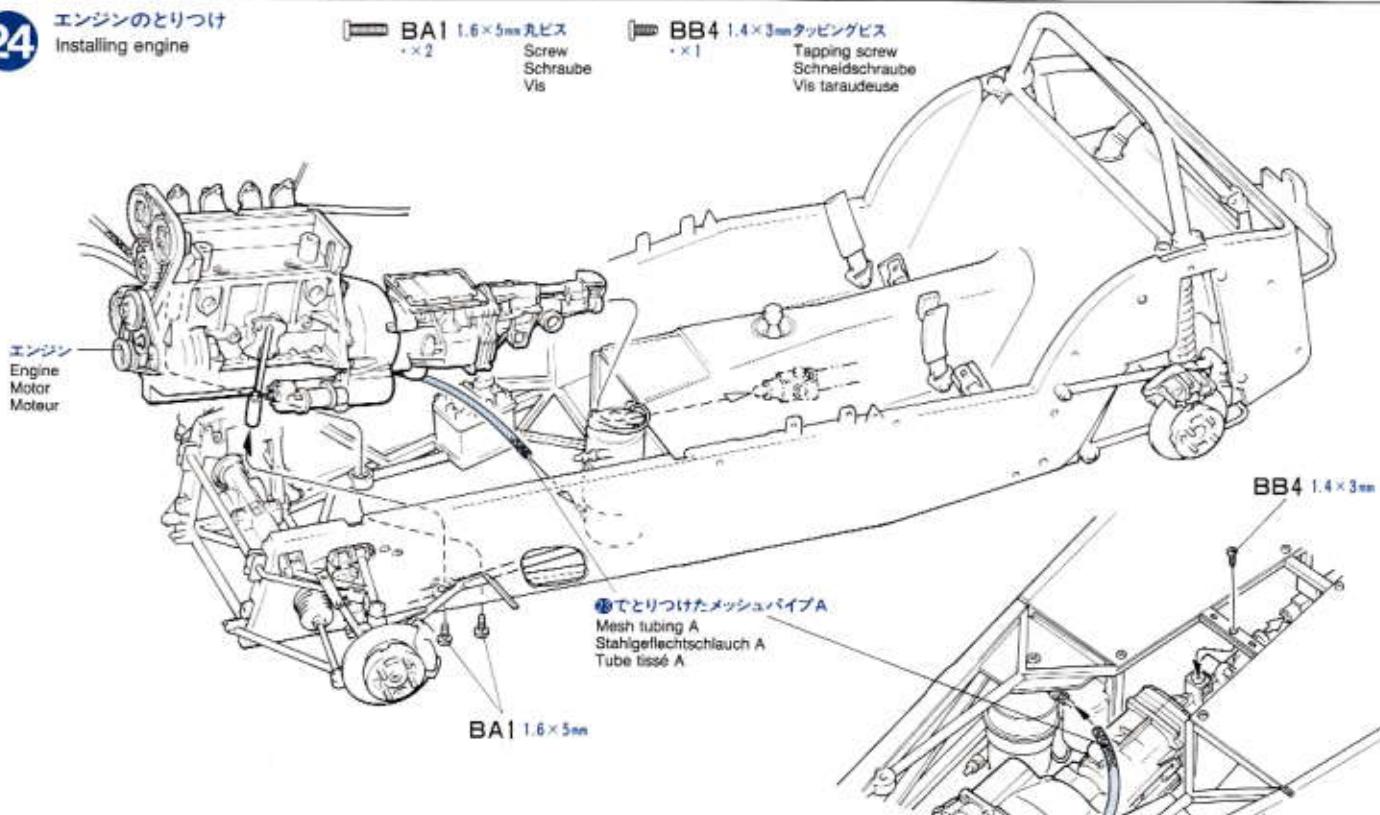
BA1 1.6×5mm 丸ビス  
Screw Schraube Vis  
×5



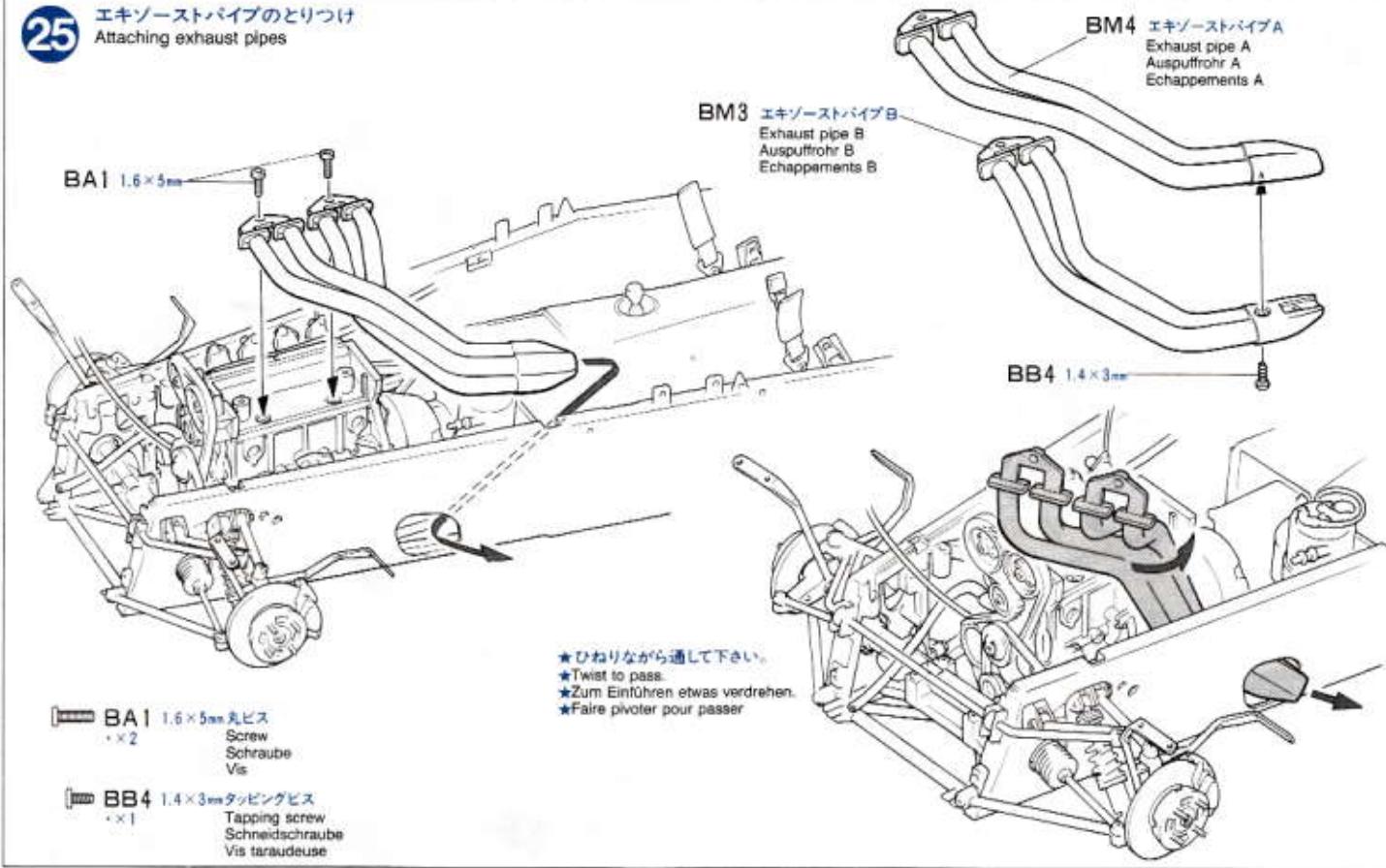
23

エンジンのくみたて  
Engine 2

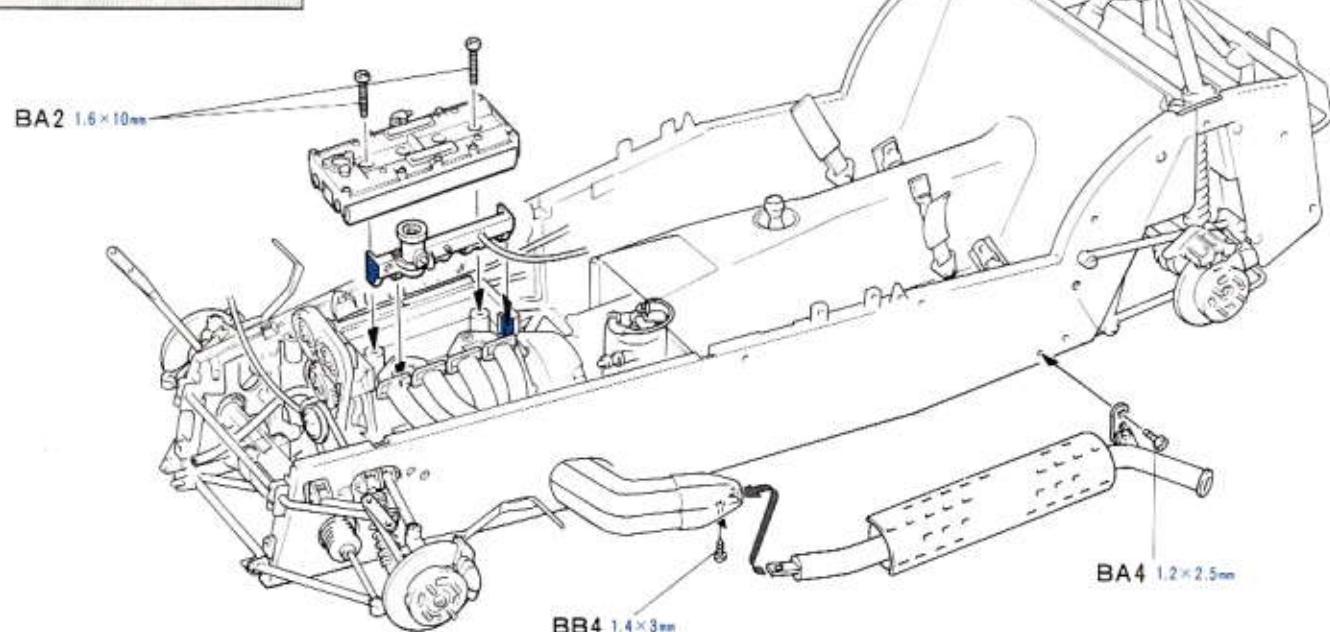
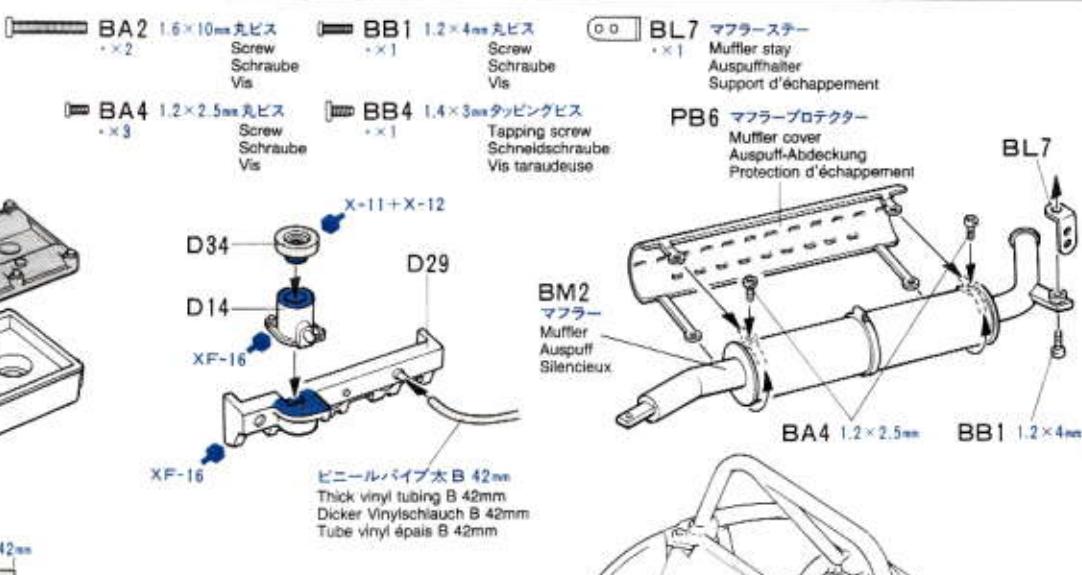
24

エンジンのとりつけ  
Installing engine**BA1 1.6×5mm 丸ビス**  
-x2**BB4 1.4×3mm タッピングビス**  
-x1

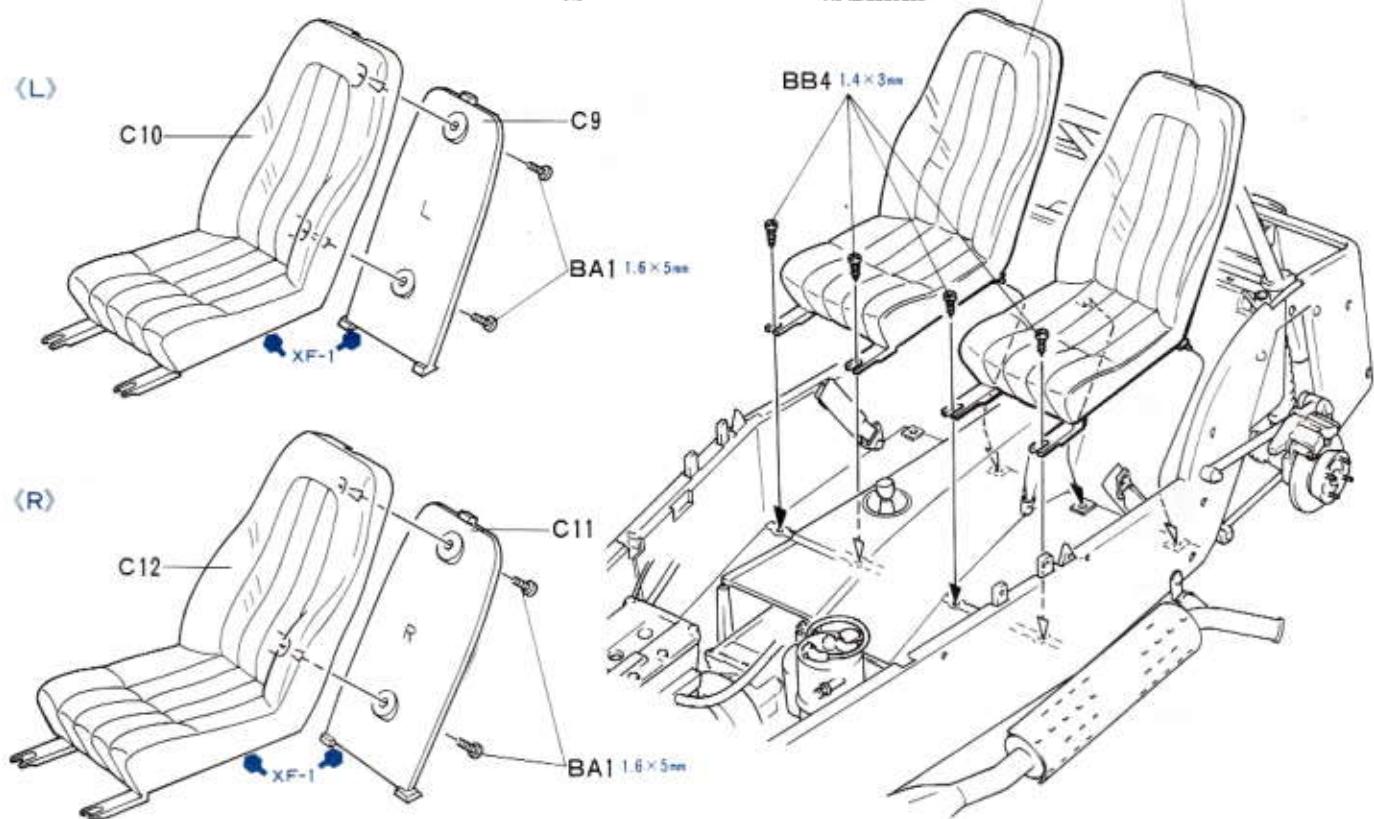
25

エキゾーストパイプのとりつけ  
Attaching exhaust pipes

26

マフラーのとりつけ  
Attaching muffler

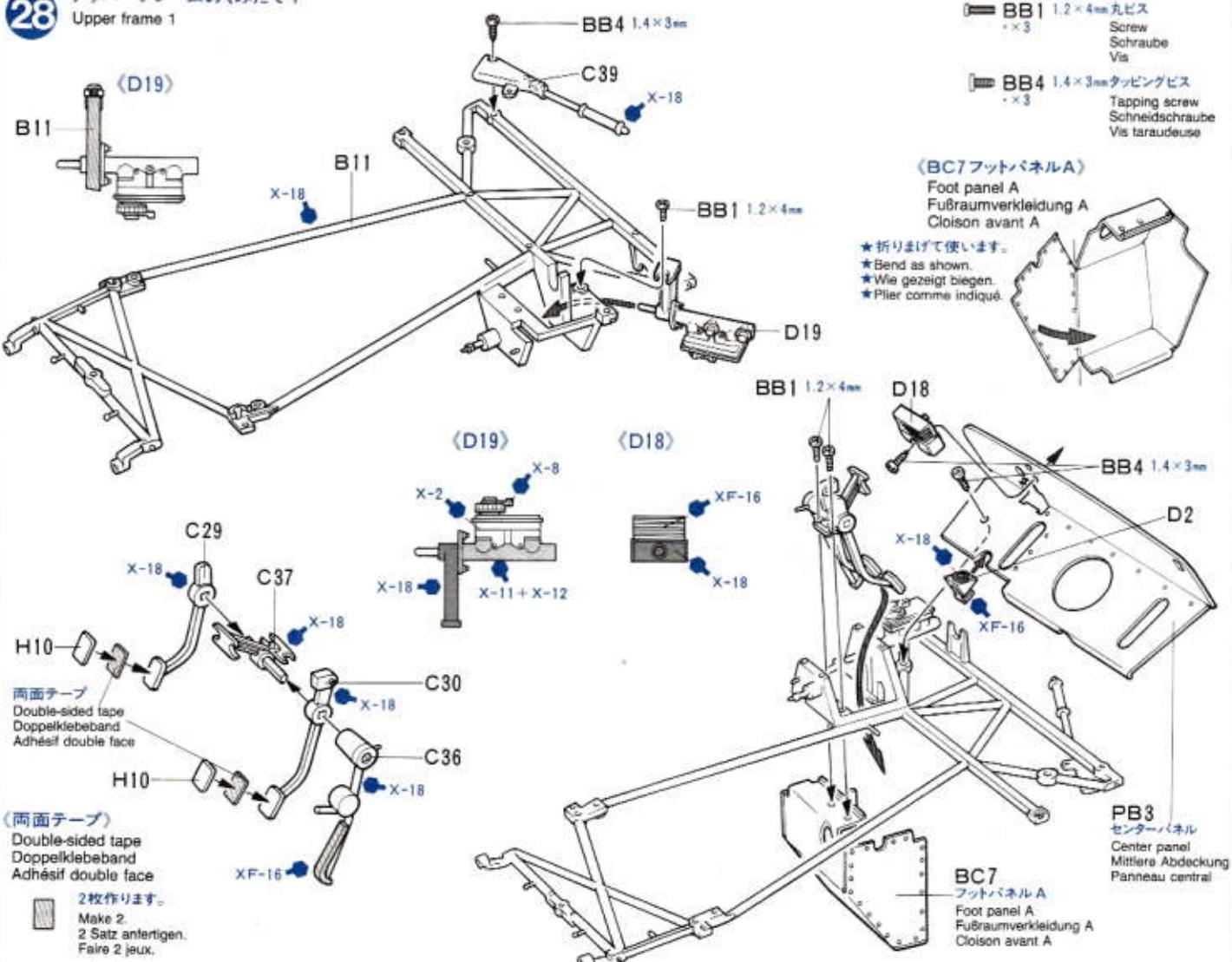
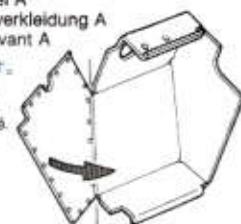
27

シートのとりつけ  
Installing seatsBA1 1.6×5mm 丸ビス  
Screw  
Schraube  
Vis  
×4BB4 1.4×3mm タッピングビス  
Tapping screw  
Schneidschraube  
Vis taraudeuse  
×4

28

アッパーフレームのくみたて 1  
Upper frame 1

Upper frame 1

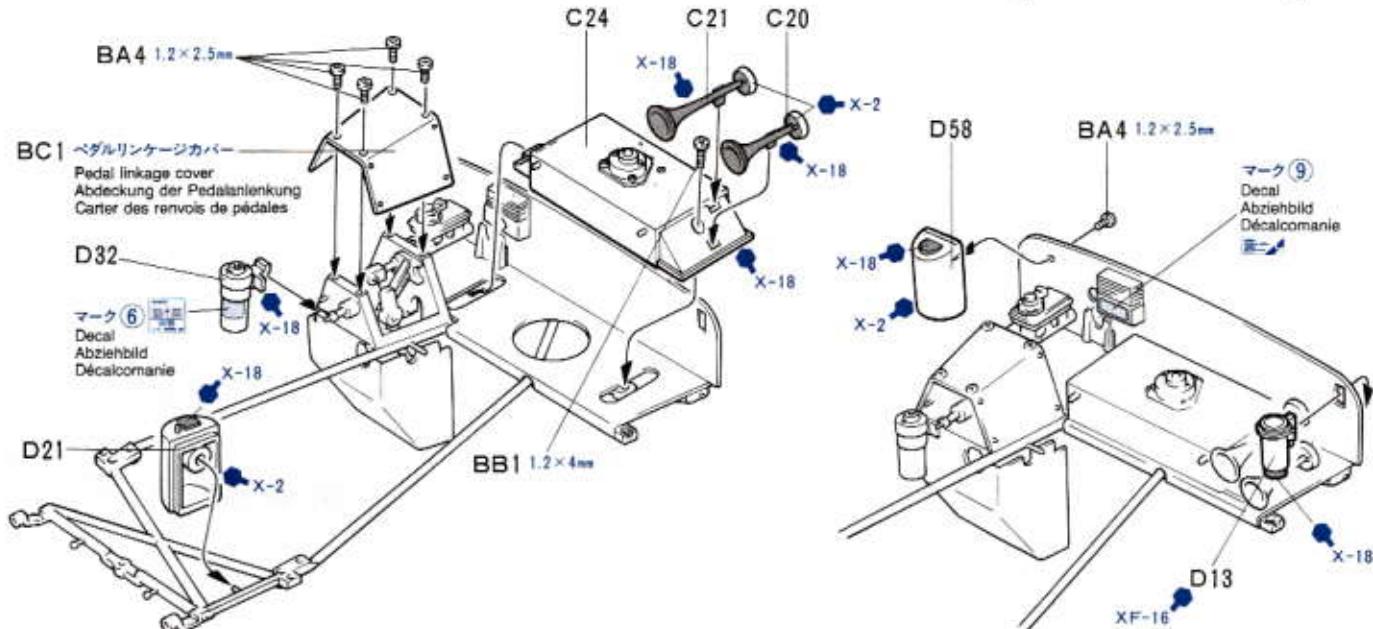
BB1 1.2×4mm 丸ビス  
Screw  
Schraube  
Vis  
×3BB4 1.4×3mm タッピングビス  
Tapping screw  
Schneidschraube  
Vis taraudeuse  
×3《BC7 フットパネルA》  
Foot panel AFußraumverkleidung A  
Cloison avant A★ 折りまげて使います。  
★ Bend as shown.  
★ Wie gezeigt biegen.  
★ Plier comme indiqué.

29

アッパーフレームのくみたて 2  
Upper frame 2

■ BA4 1.2×2.5mm 丸ビス  
×5  
Screw  
Schraube  
Vis

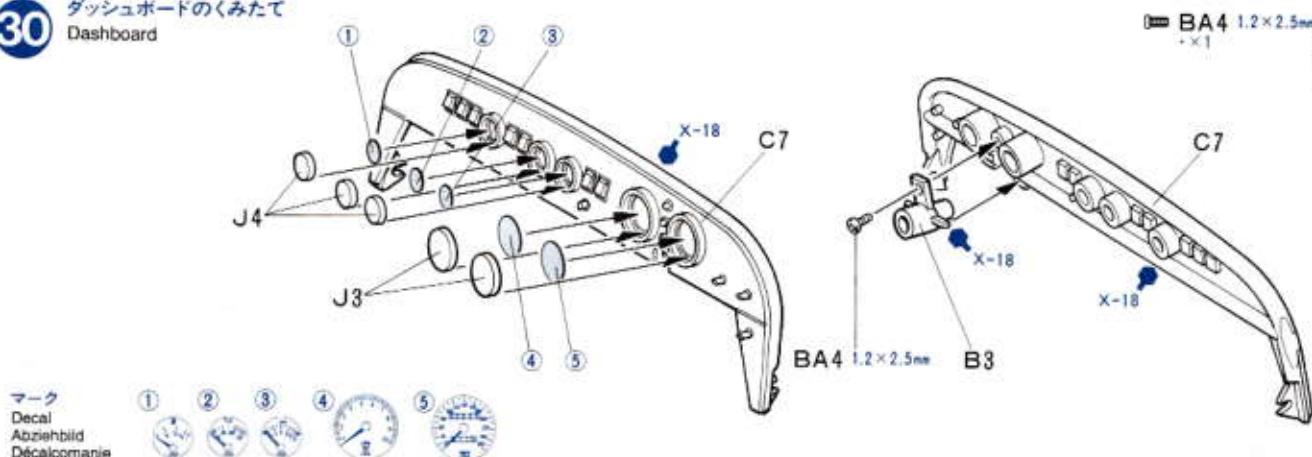
■ BB1 1.2×4mm 丸ビス  
×1  
Screw  
Schraube  
Vis



30

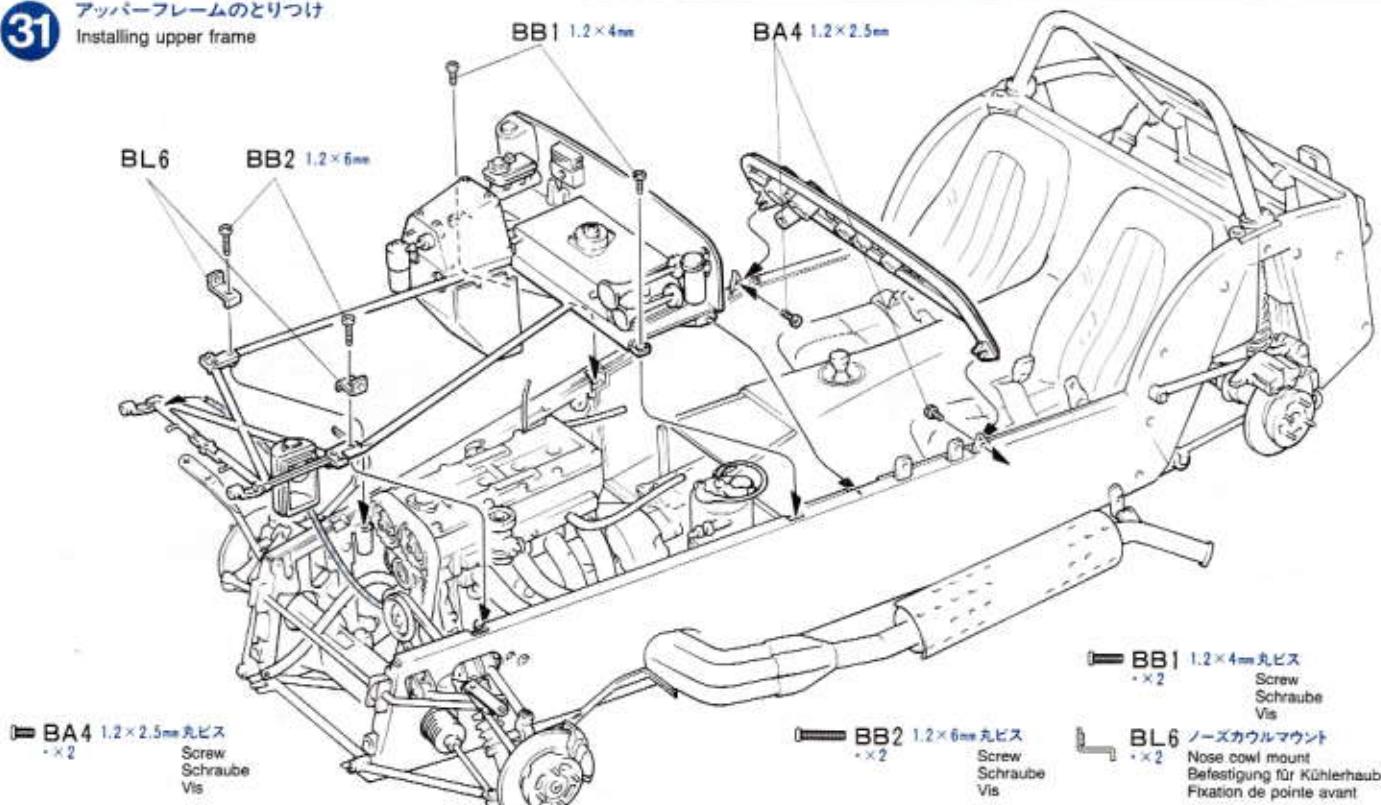
ダッシュボードのくみたて  
Dashboard

■ BA4 1.2×2.5mm 丸ビス  
×1  
Screw  
Schraube  
Vis



31

アッパーフレームのとりつけ  
Installing upper frame



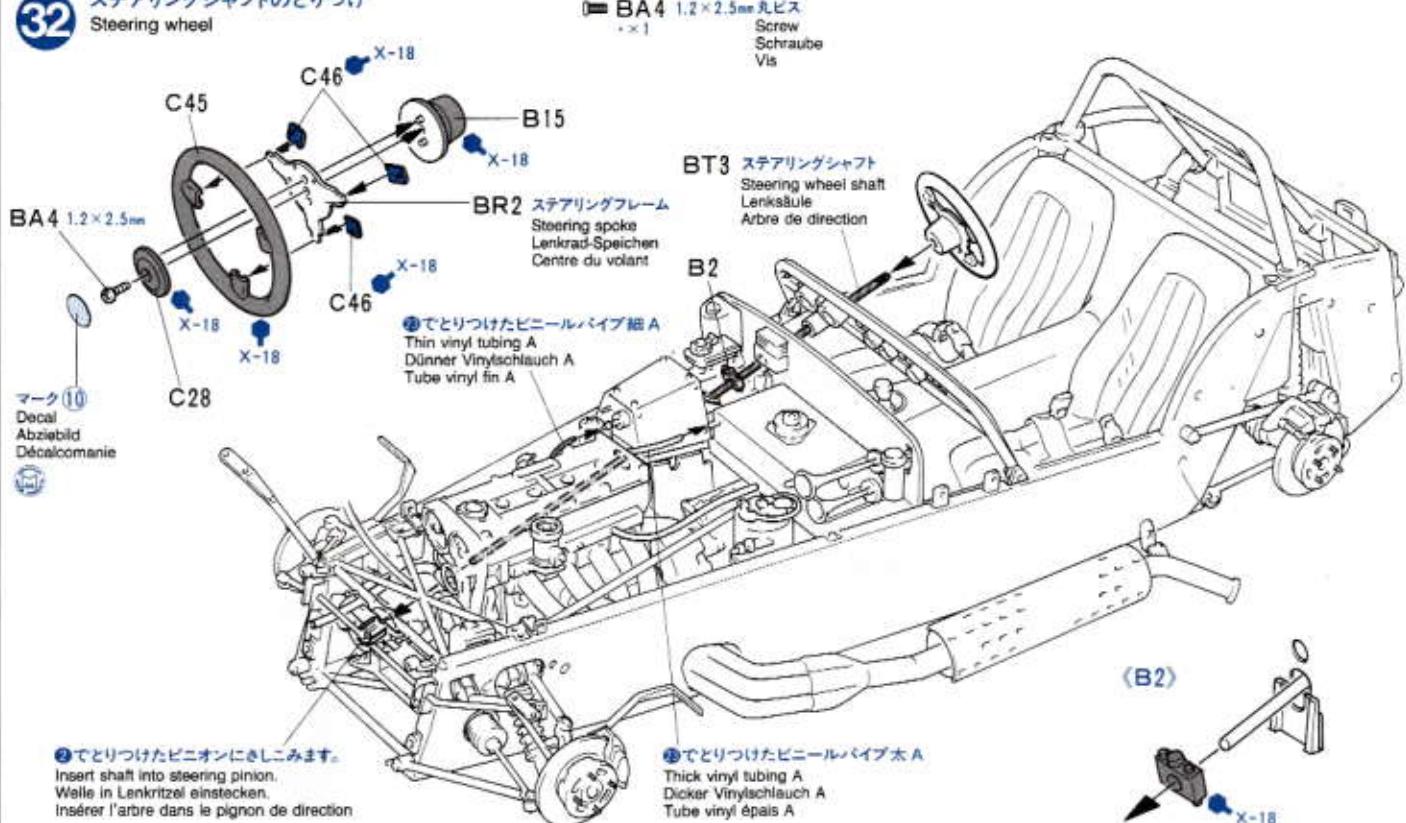
■ BA4 1.2×2.5mm 丸ビス  
×2  
Screw  
Schraube  
Vis

■ BB1 1.2×4mm 丸ビス  
×2  
Screw  
Schraube  
Vis

■ BB2 1.2×6mm 丸ビス  
×2  
Screw  
Schraube  
Vis

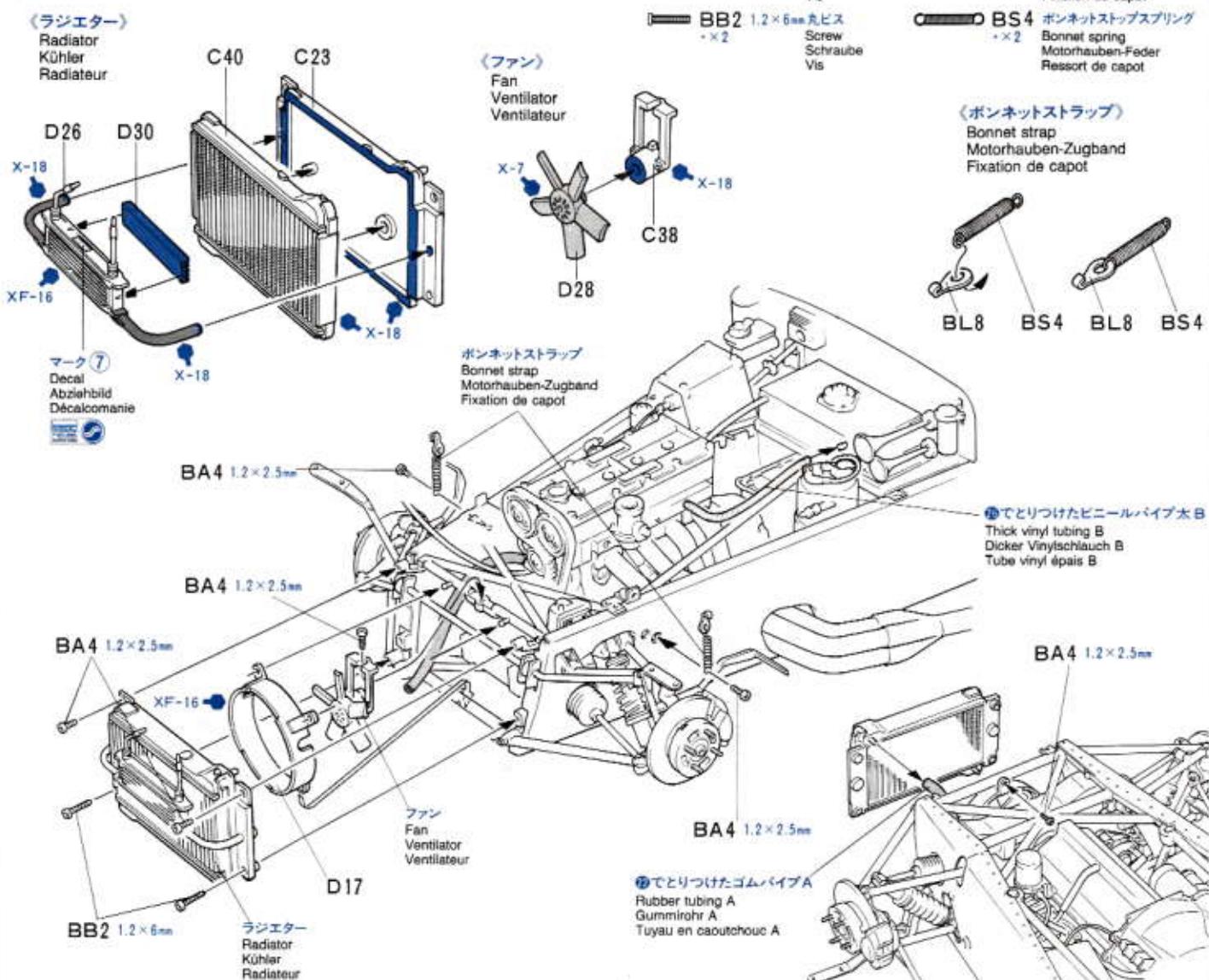
■ BL6 ノーズカウルマウント  
×2  
Nose cowl mount  
Befestigung für Kühlerhaube  
Fixation de pointe avant

32

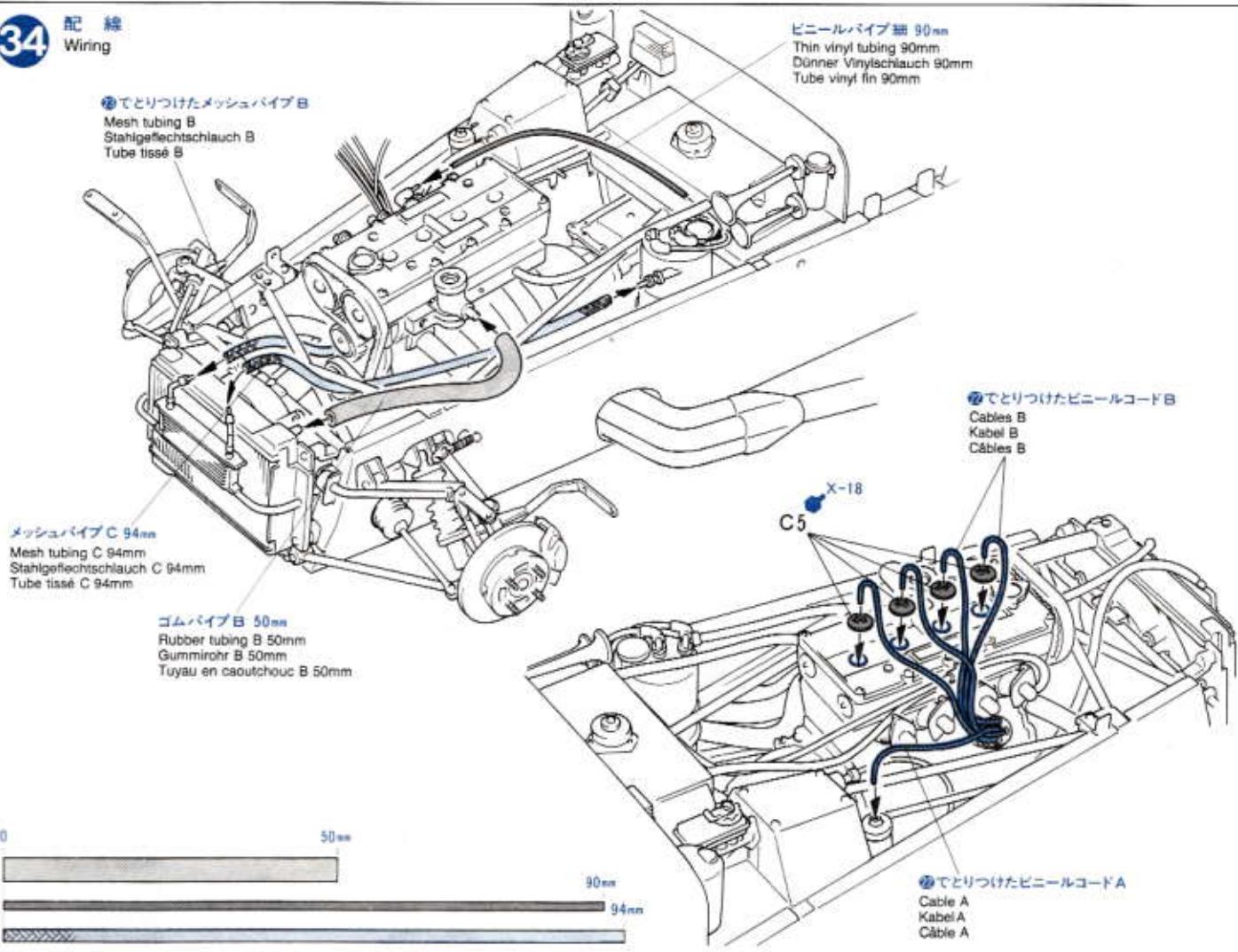
ステアリングシャフトのとりつけ  
Steering wheel

●でとリつけたビニールパイプ細A  
Insert shaft into steering pinion.  
Welle in Lenkritzel einstecken.  
Insérer l'arbre dans le pignon de direction.

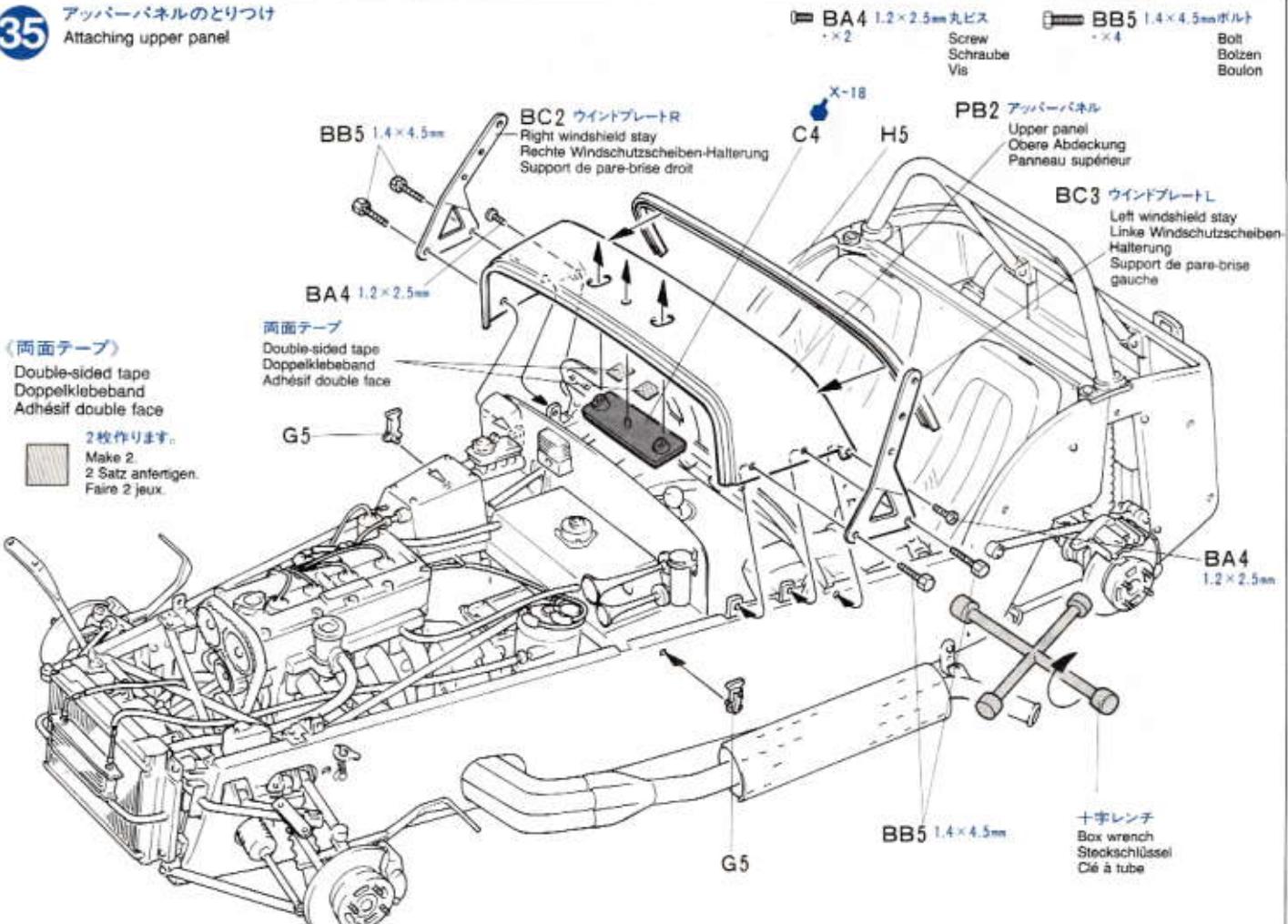
33

ラジエターのとりつけ  
Attaching radiator

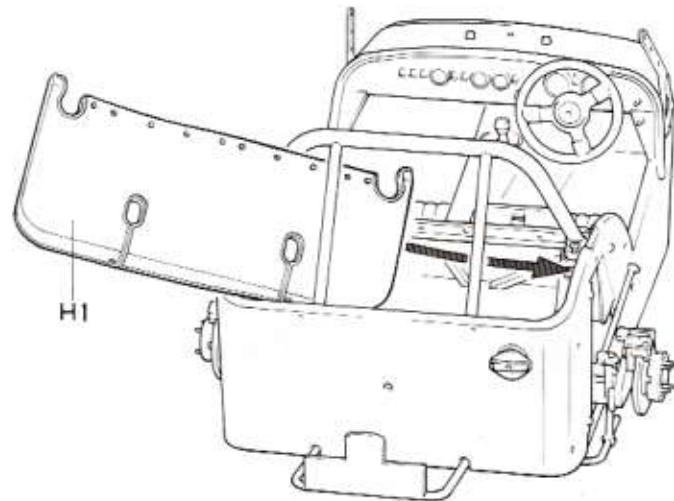
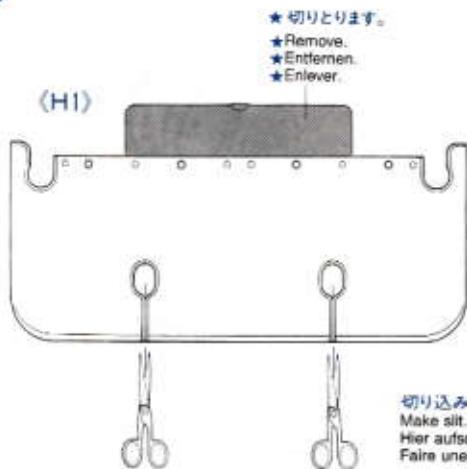
34

配線  
Wiring

35

アッパー・パネルのとりつけ  
Attaching upper panel

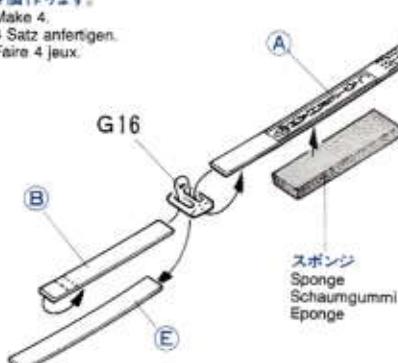
36

トノカバーのとりつけ  
Tonneau cover

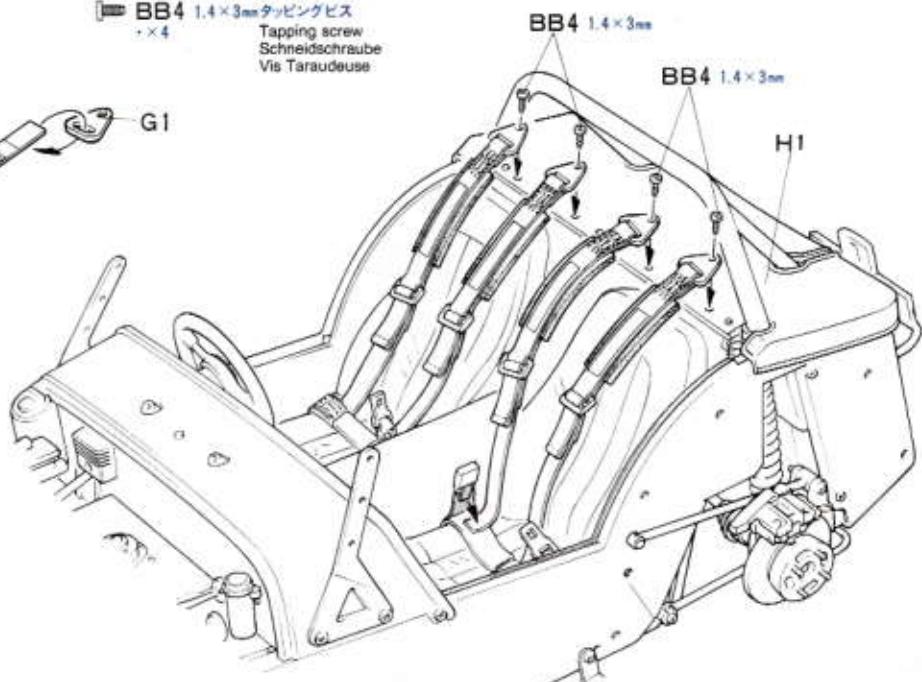
37

シートベルトCのとりつけ  
Installing seat belts

4個作ります。  
Make 4.  
4 Satz anfertigen.  
Faire 4 jeux.



BB4 1.4×3mmタッピングビス  
Tapping screw  
Schneidschraube  
Vis Taraudeuse



《スponジ》  
Sponge  
Schaumgummi  
Eponge

4個切ります。  
Make 4.  
4 Satz anfertigen.  
Faire 4 jeux.

38

キャブレターのとりつけ  
Carburetor installation  
Vergaser-Einbau  
Fixation des carburateurs

## 《キャブレター》

Carburetor  
Vergaser  
Carburateur

BR1 BT1

D5 XF-16

D48

2コ作ります。  
Make 2.  
2 Satz anfertigen.  
Faire 2 jeux.

《両面テープ》  
Double-sided tape  
Doppelklebeband  
Adhésif double face

4枚作ります。  
Make 4.  
4 Satz anfertigen.  
Faire 4 jeux.



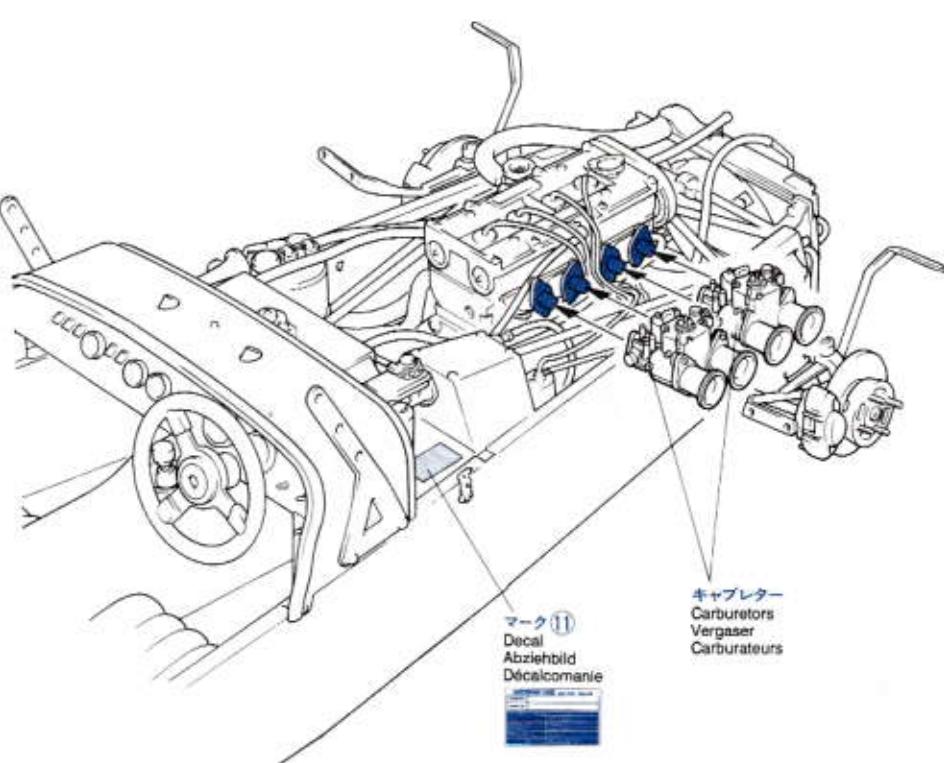
BT1×4 フランジ金具

Flange  
Flansch  
Oeillet



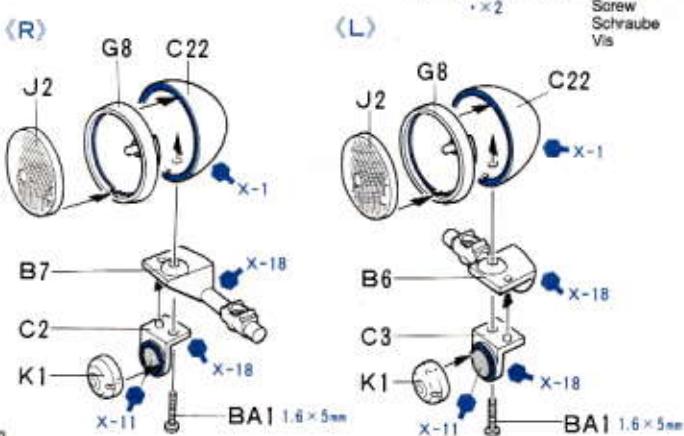
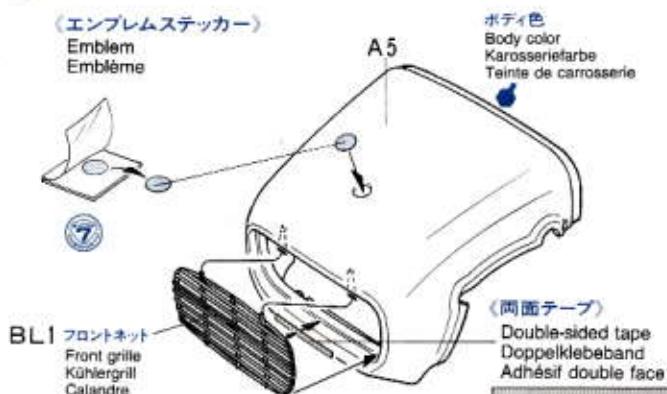
BR1×4 エアファンネル

Air funnel  
Luftrichter  
Pipe d'admission



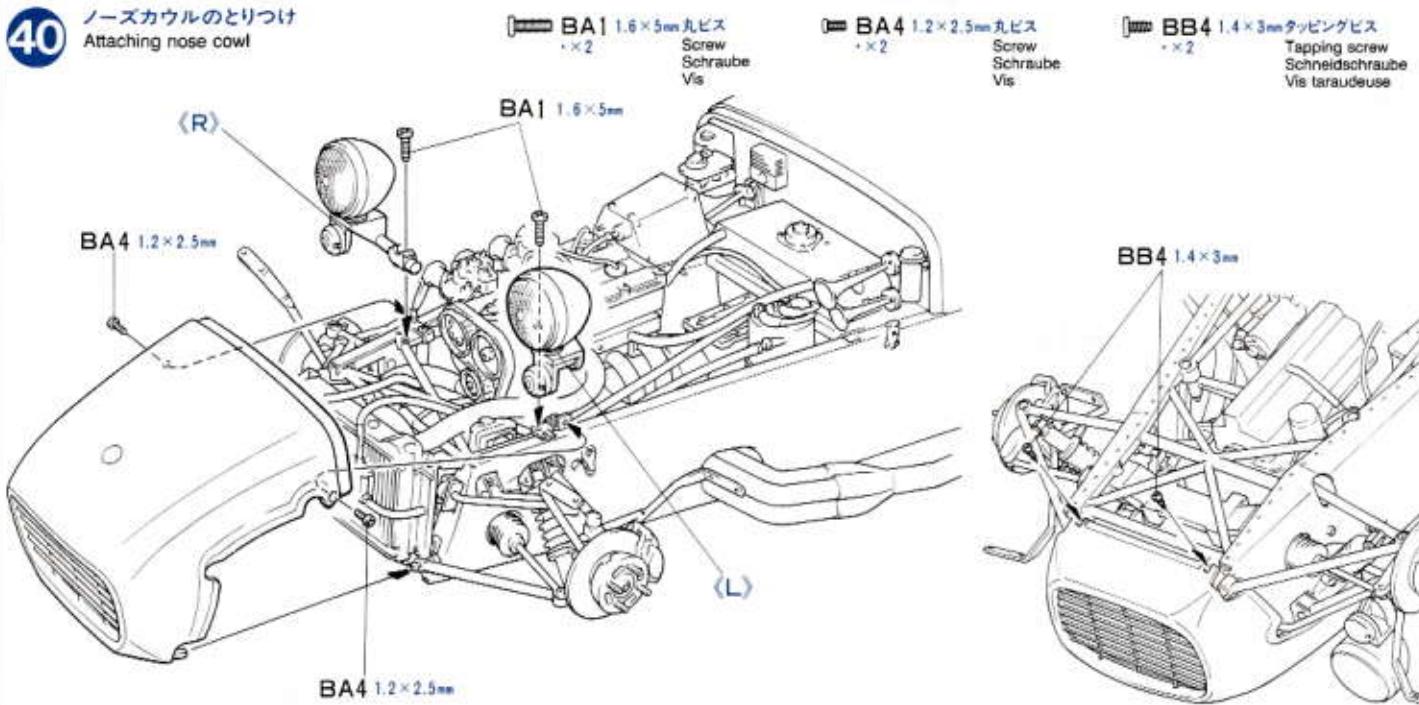
39

ノーズカウルのくみたて  
Nose cowl



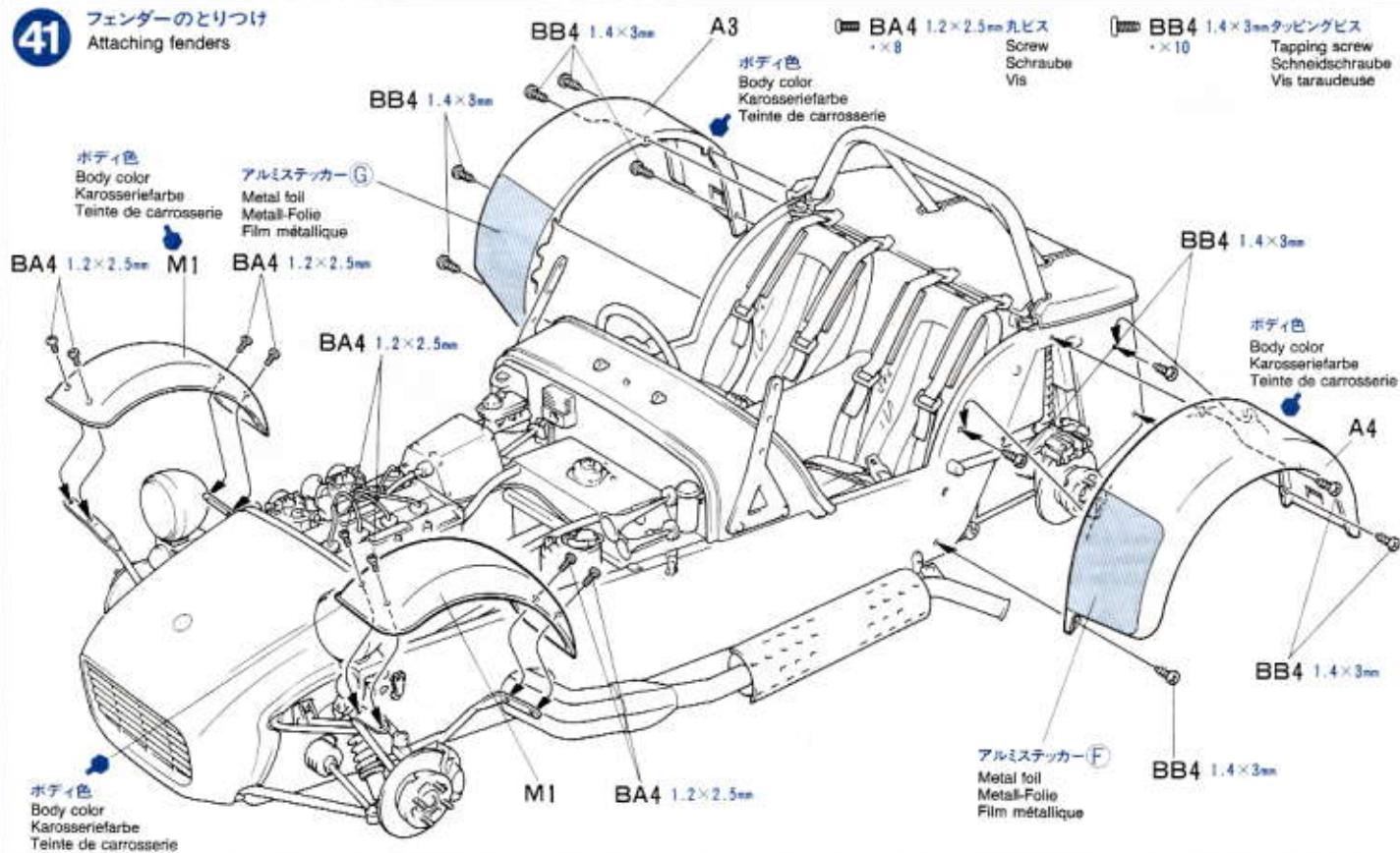
40

ノーズカウルのとりつけ  
Attaching nose cowl



41

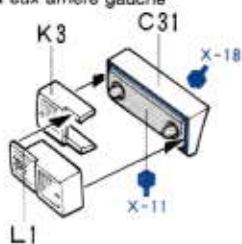
フェンダーのとりつけ  
Attaching fenders



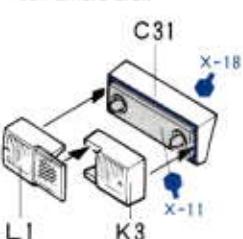
42

タイヤのくみたて  
Wheels

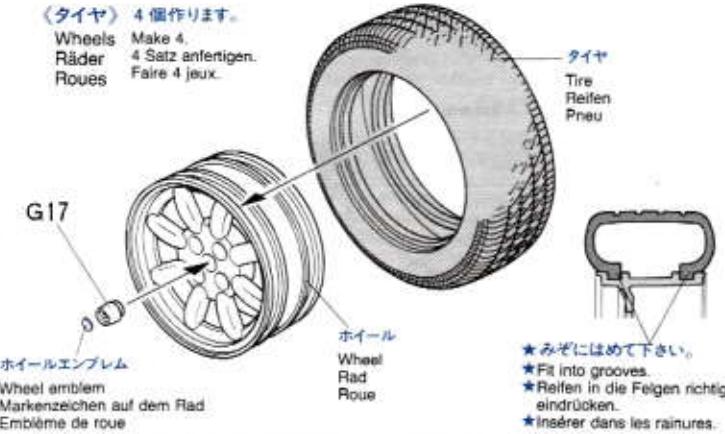
## 《テールライトL》

Left tail light  
Linkes Rücklicht  
Feux arrière gauche

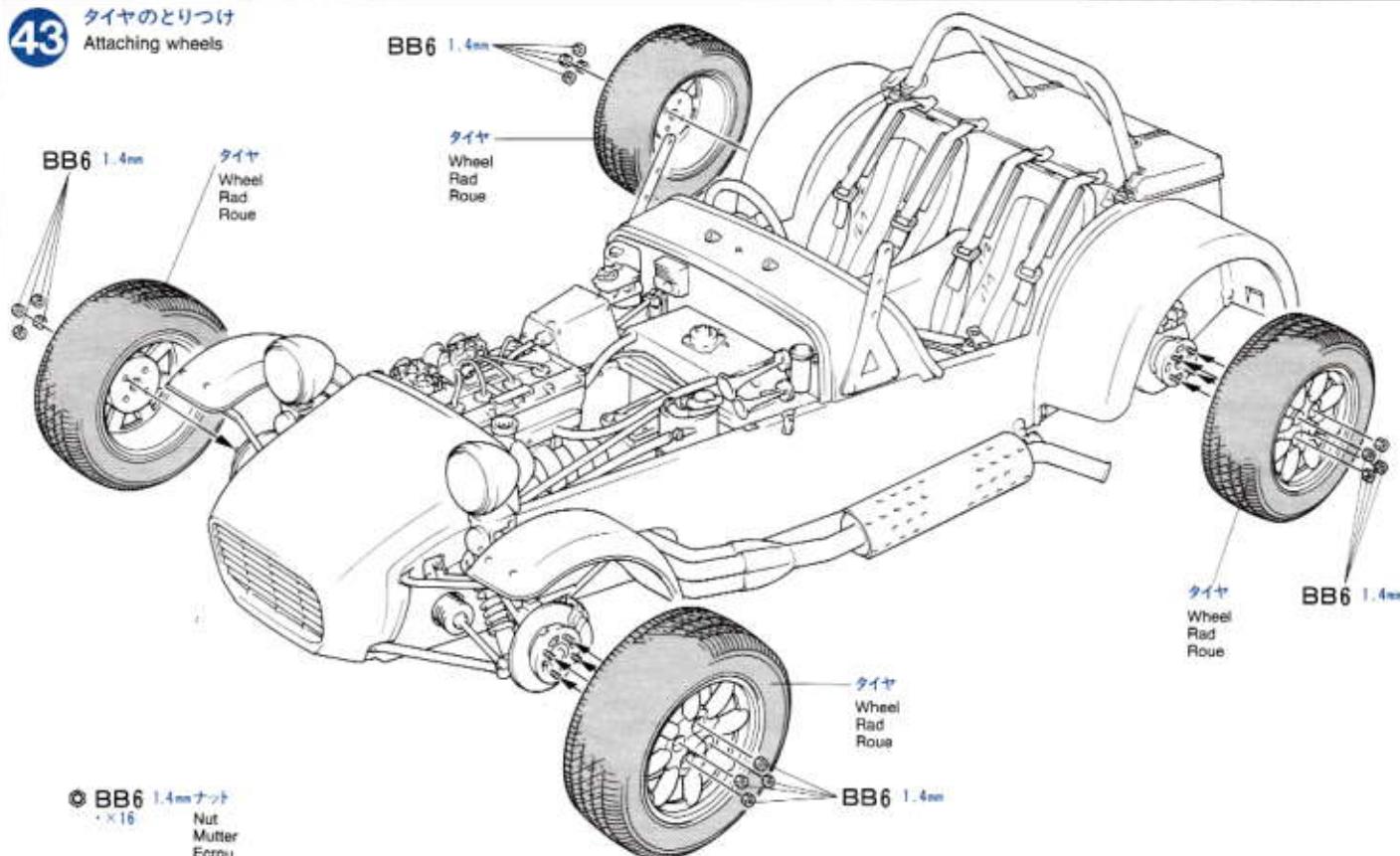
## 《テールライトR》

Right tail light  
Rechtes Rücklicht  
Feux arrière droit

## 《タイヤ》4個作ります。

Wheels Make 4.  
Räder Räder  
Roues Roues

43

タイヤのとりつけ  
Attaching wheels

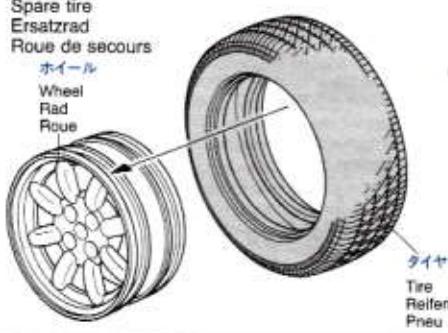
44

スペアタイヤのとりつけ  
Spare tireBA3 1.6×16mm丸ビス  
Screw  
Schraube  
VisBA4 1.2×2.5mm丸ビス  
Screw  
Schraube  
Visホイールエンブレム  
Wheel emblem  
Markenzeichen auf  
dem Rad  
Emblème de roue

G17 BA3 1.6×16mm

BA4 1.2×2.5mm

## (スペアタイヤ)

Spare tire  
Ersatzrad  
Roue de secoursホイール  
Wheel  
Rad  
Roue

(L) X-18

J1

G2

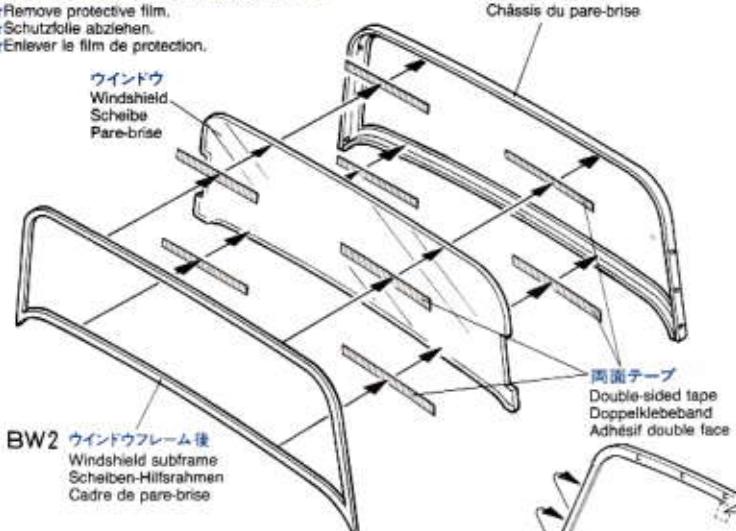
(R) J1

(J1) X-18 X-11

45

ウインドウのとりつけ  
Attaching windshield

- ★ ウィンドウは保護フィルムをはがして下さい。  
★ Remove protective film.
- ★ Schutzfolie abziehen.
- ★ Enlever le film de protection.

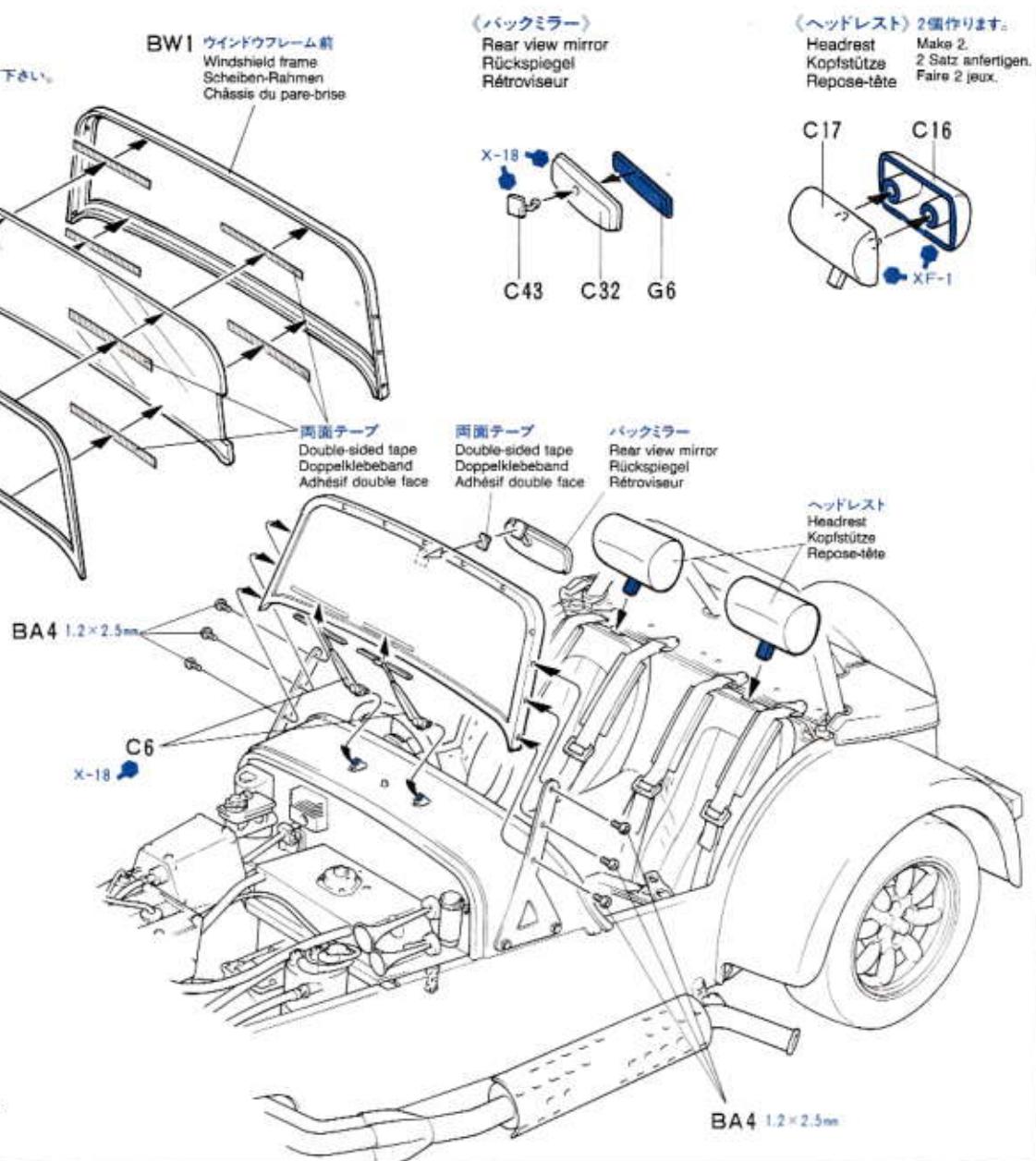


## 《両面テープ》

Double-sided tape  
Doppelklebeband  
Adhésif double face

8枚切りとります。  
Make 8.  
8 Satz anfertigen.  
Faire 8 jeux.

1枚切りとります。  
Make 1.  
1 Satz anfertigen.  
Faire 1 jeu.

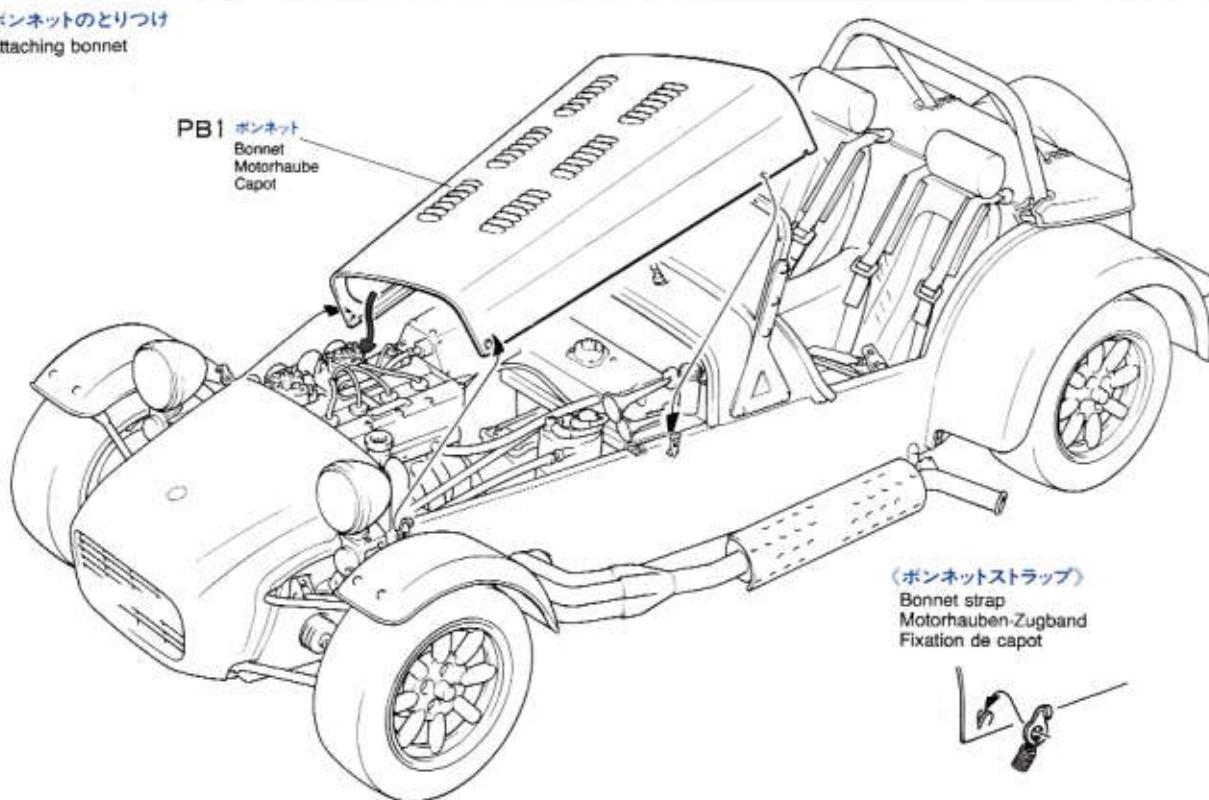
BA4 1.2×2.5mm 丸ビス  
Screw  
Schraube  
Vis

46

ボンネットのとりつけ  
Attaching bonnet

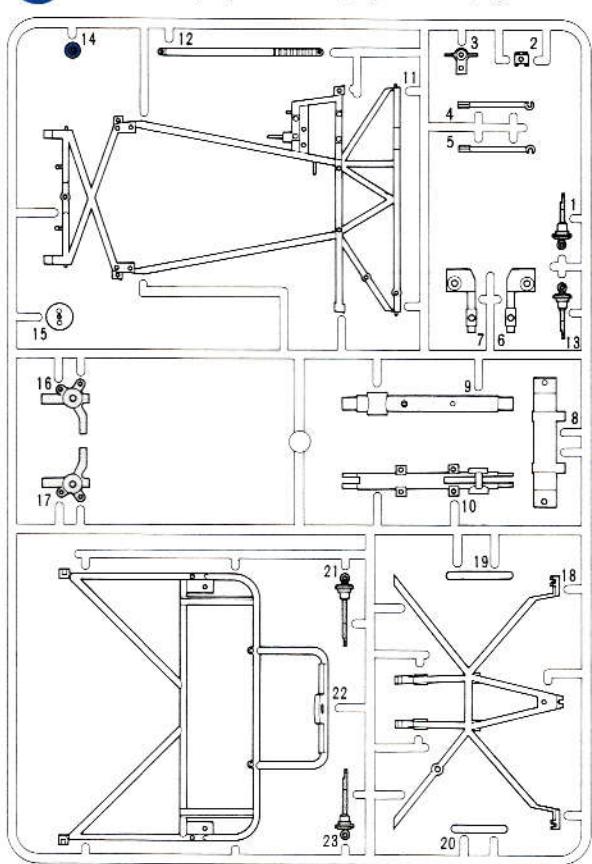
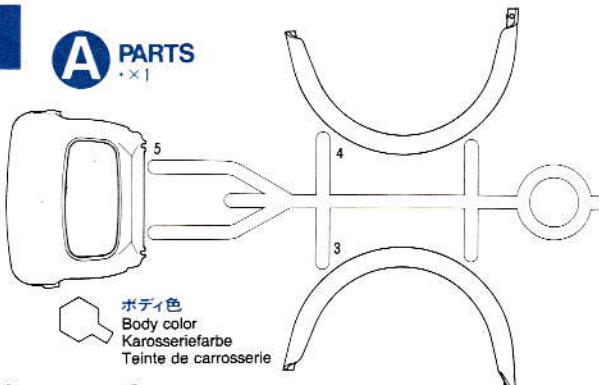
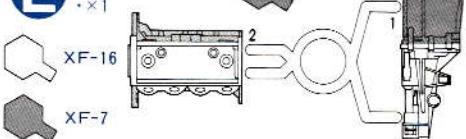
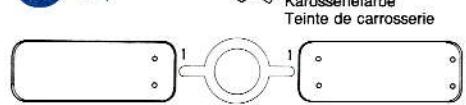
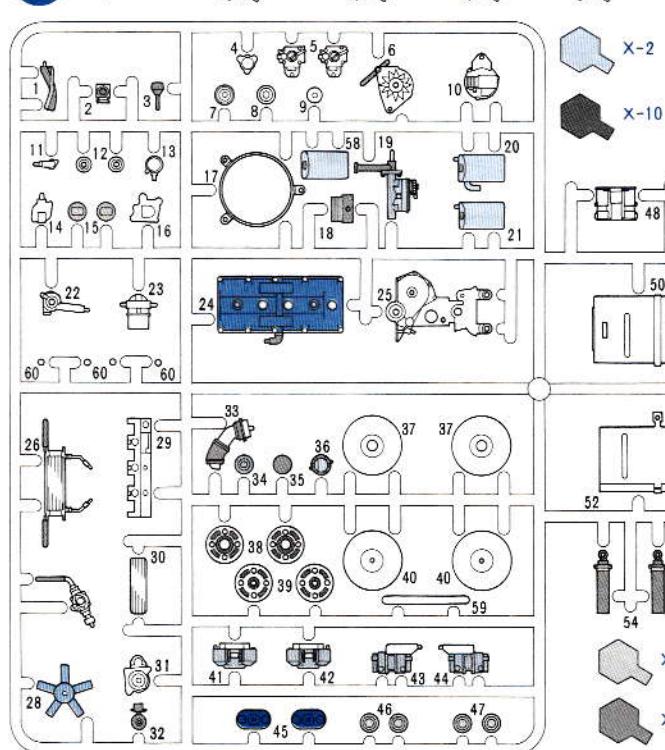
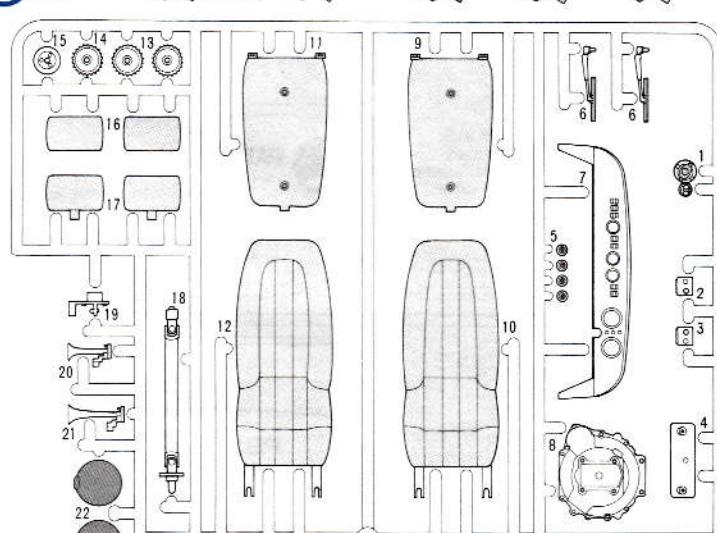
PB1 ボンネット  
Bonnet  
Motorhaube  
Capot

《ボンネットストラップ》  
Bonnet strap  
Motorhauben-Zugband  
Fixation de capot



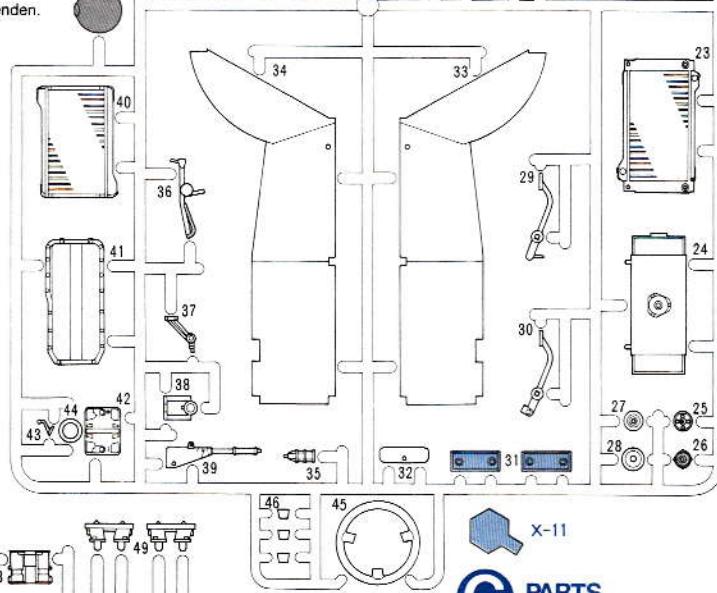
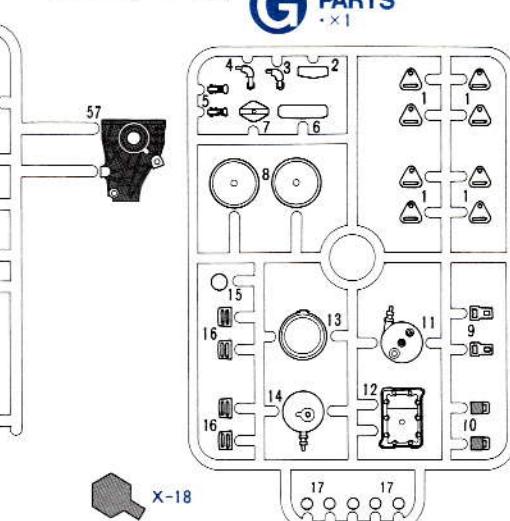
**PARTS**

- スライドマーク ..... ×1  
 Decal  
 Abziehbilder  
 Décalcomanie  
 エムフレムステッカー ..... ×1  
 Emblem  
 Emblème  
 ホイールエンブレム ..... ×1  
 Wheel emblem  
 Markenzeichen auf dem Rad  
 Emblème de roue  
 シートベルト ..... ×1  
 Seat belt  
 Sicherheitsgurt  
 Harnais

**B PARTS** ×1**A PARTS** ×1**E PARTS** ×1**M PARTS** ×1**D PARTS** ×1**C PARTS** ×1

## 不要部品

Not used.  
 Nicht verwenden.  
 Non utilisé.

**G PARTS** ×1

# PARTS

フィニッシングペーパー(#600).....×1

Abrasive paper #600

Schleifpapier #600

Papier abrasif #600

フィニッシングペーパー(#1000).....×1

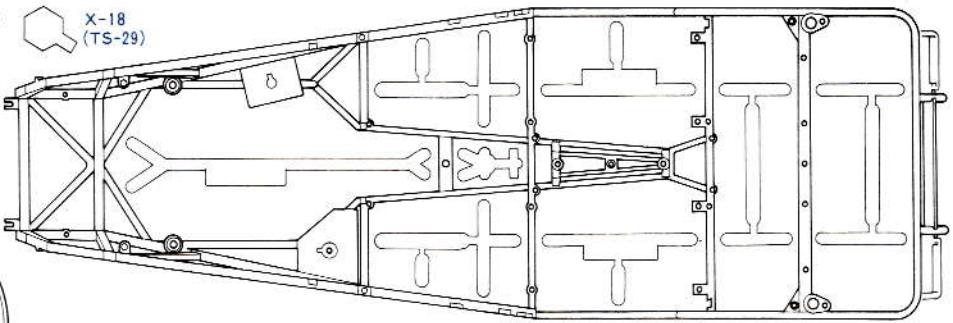
Abrasive paper #1000

Schleifpapier #1000

Papier abrasif #1000

フレーム  
Frame  
Rahmen  
Châssis

X-18  
(TS-29)



ホイール.....×5

Wheel

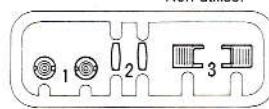
Rad

Roue

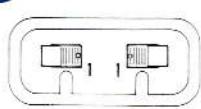
J PARTS  
•×1

X-18 X-11

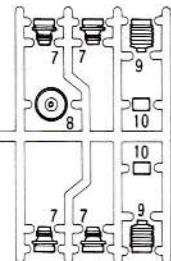
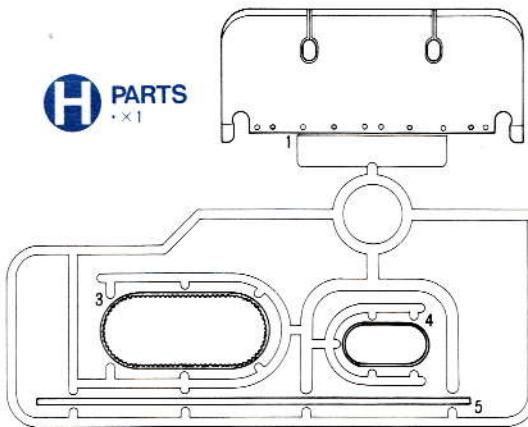
K PARTS  
•×1



L PARTS  
•×1

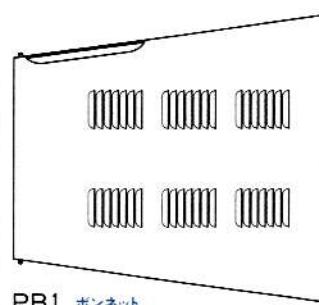


H PARTS  
•×1

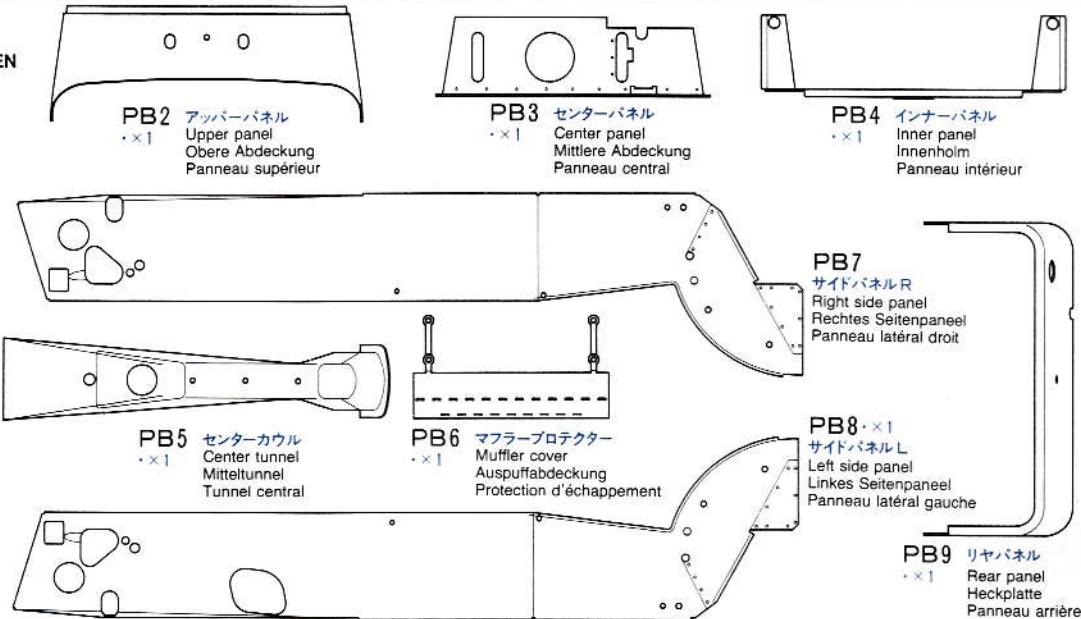


ボディパネルブリスター  
BODY PANEL BLISTER PACK  
BLISTER-PACK KAROSSEERIE-PLATTEN  
BLISTER DE PANNEAUX DE CARROSSERIE

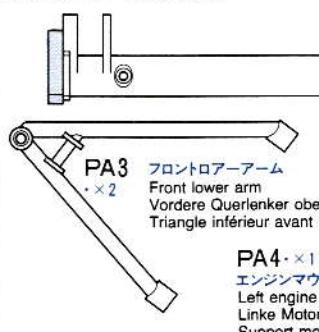
SCALE : 1/2



PB1 ボンネット  
Bonnet  
Motorhaube  
Capot



アームブリスター・パック  
ARM BLISTER PACK  
BLISTER-PACK LENKER  
BLISTER DE TRIANGLES

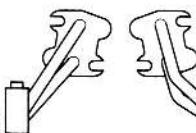


PA3 フロントロアーアーム  
Front lower arm  
Vordere Querlenker oben  
Triangle inférieur avant

PA4 ×1 エンジンマウントL  
Left engine mount  
Linke Motorauflage  
Support moteur gauche

PA1 ×2 ラジアスロッド  
Radius rod  
Längslenker  
Barre de renvoi

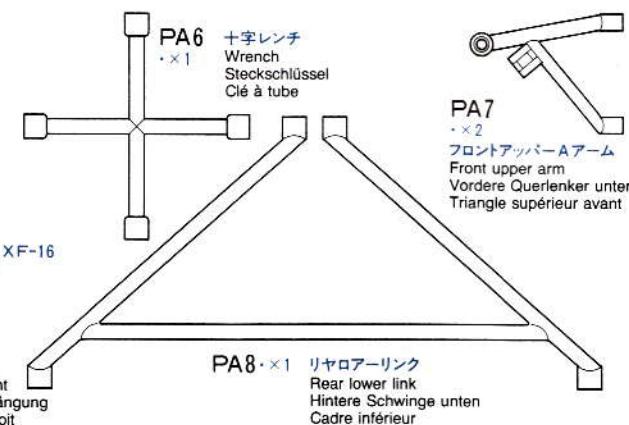
PA2 ドティオンチューブ  
De Dion tube  
De Dion Achsröhr  
Barre De Dion



PA5 ×1 エンジンマウントR  
Right engine mount  
Rechte Motorauflage  
Support moteur droit

PA6 ×1 十字レンチ  
Wrench  
Steckschlüssel  
Clé à tube

XF-16



PA7 ×2 フロントオッパーAアーム  
Front upper arm  
Vordere Querlenker unten  
Triangle supérieur avant

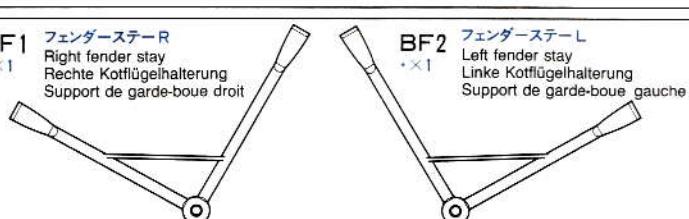
PA8 ×1 リヤロアーリング  
Rear lower link  
Hintere Schwinge unten  
Cadre inférieur

## 金具小箱

METAL PARTS BOX  
METALL-TEILE-SCHACHTEL  
BOITE DE PIECES METALLIQUES

フェンダーステー袋詰  
FENDER STAY BAG  
KOTFLÜGELHALTERUNG-BEUTEL  
SACCHET DE SUPPORTS DE GARDE-BOUE

BF1 フェンダーステーR  
Right fender stay  
Rechte Kotflügelhalterung  
Support de garde-boue droit



## PARTS

## 金具小箱

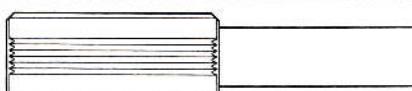
METAL PARTS BAG  
METALLTEILE-BEUTEL  
SACHT DE PIECES METALLIQUES

## パイプ袋詰

TUBE BAG  
SCHLAUCH-BEUTEL  
SACHT DE TUBES

ドライバー.....×1  
Screwdriver  
Schraubenzieher  
Tournevis

ビニールパイプ細.....30cm  
Thin vinyl tubing  
Dünner Vinylschlauch  
Tube vinyl fin



ドライバーアダプター.....×1  
Extension holder  
Halter  
Poignée

メッシュパイプ.....30cm  
Mesh tubing  
Stahlgeflechtschlauch  
Tube tissé

ビニールパイプ太.....20cm  
Thick vinyl tubing  
Dicker Vinylschlauch  
Tube vinyl épais

ビニールコード.....30cm  
Cable (red)  
Kabel (rot)  
Câble (rouge)

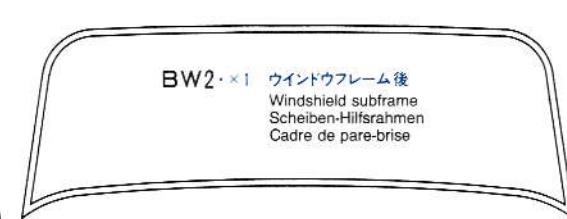
ゴムパイプ.....15cm  
Rubber tubing  
Gummirohr  
Tuyau en caoutchouc

## ウインドウフレーム袋詰

WINDSHIELD FRAME BAG  
WINDSCHUTZSCHIEBEN-  
RAHMEN BEUTEL  
SACHT DE CHASSIS DE  
PARE-BRISE



BW2 ·×1 ウインドウフレーム後  
Windshield subframe  
Scheiben-Hilfsrahmen  
Cadre de pare-brise

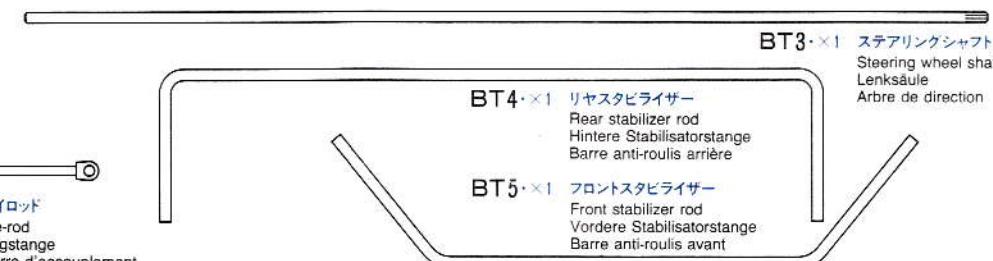


## スタビライザー袋詰

STABILIZER BAG  
STABILISATOR-BEUTEL  
SACHT DE BARRES ANTI-ROULIS

BT1 ·×4 フランジ金具  
Flange  
Flansch  
Œillet

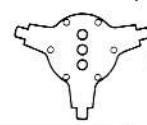
BT2 ·×2 タイロッド  
Tie-rod  
Zugstange  
Barre d'accouplement



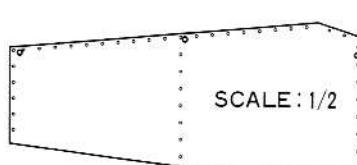
## アンダーパネルR袋詰

RIGHT UNDER PANEL BAG  
BEUTEL RECHTE BODENPLATTE  
SACHT DE PANNEAU INFÉRIEUR DROIT

BR1 ·×4 エアファンネル  
Air funnel  
Lufttrichter  
Pipe d'admission



BR2 ·×1 ステアリングフレーム  
Steering spoke  
Lenkrad-Speichen  
Centre du volant



BR3 ·×1 アンダーパネル R  
Right under panel  
Rechte Bodenplatte  
Panneau inférieur droit

## スプリング袋詰

SPRING BAG  
FEDER-BEUTEL  
SACHT DE RESSORTS

BS3 ·×2 リヤコイルスプリング  
Rear coil spring  
Hintere Feder  
Ressort hélicoïdal arrière

BS4 ·×2 ボンネットトップスプリング  
Bonnet spring  
Motorhauben-Feder  
Ressort de capot

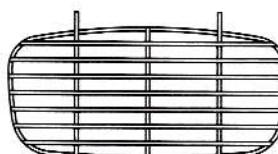


BS3 ·×2 リヤコイルスプリング  
Rear coil spring  
Hintere Feder  
Ressort hélicoïdal arrière

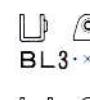
## アンダーパネルL袋詰

LEFT UNDER PANEL BAG  
BEUTEL LINKE BODENPLATTE  
SACHT DE PANNEAU INFÉRIEUR GAUCHE

BL1 ·×1 フロントネット  
Front grille  
Kühlergrill  
Calandre



BL2 ·×2 ロアーアームブラケット  
Lower arm bracket  
Lagerbock für unteren Querlenker  
Console de triangle inférieur



BL3 ·×6 アッパーームブラケット  
Upper arm bracket  
Lagerbock für oberen Querlenker  
Console de triangle supérieur



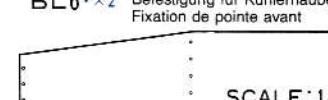
BL4 ·×2 ロールバー ブラケット  
Roll-bar bracket  
Lagerbock für Überschlagbügel  
Console de roll-bar



BL5 ·×4 スタビライザーマウント  
Stabilizer holder  
Stabilisator-Halter  
Support de barre anti-roulis

BL6 ·×2 ノーズカowlマウント  
Nose cowl mount  
Befestigung für Kühlerhaube  
Fixation de pointe avant

BL7 ·×1 マフラー ステー  
Muffler stay  
Auspuff-Halterung  
Support d'échappement



BL7 ·×1 マフラー ステー<sup>2</sup>  
Muffler stay  
Auspuff-Halterung  
Support d'échappement

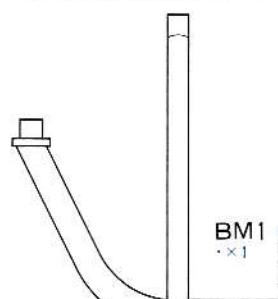
BL8 ·×2 ボンネット金具  
Bonnet catch  
Motorhauben-Haken  
Patte de capot



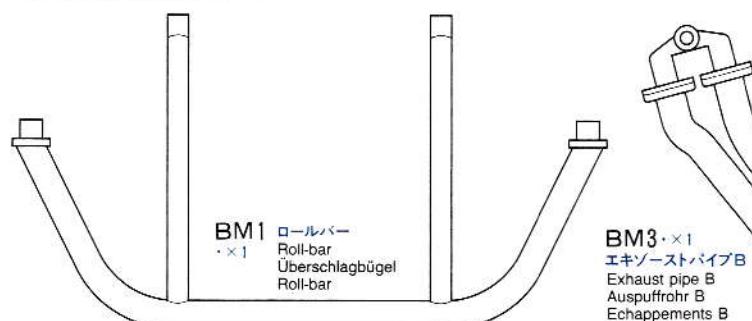
## マフラー部品袋詰

MUFFLER BAG  
AUSPUFF-BEUTEL  
SACHT D'ECHAPPEMENTS

BM1 ·×1 ロールバー  
Roll-bar  
Überschlagbügel  
Roll-bar



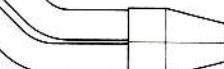
BM3 ·×1 エキゾーストパイプB  
Exhaust pipe B  
Auspuffrohr B  
Echappements B



BM2 ·×1 マフラー  
Muffler  
Auspuff  
Silencieux

BM2 ·×1 マフラー  
Muffler  
Auspuff  
Silencieux

BM4 ·×1 エキゾーストパイプA  
Exhaust pipe A  
Auspuffrohr A  
Echappements A



# PARTS

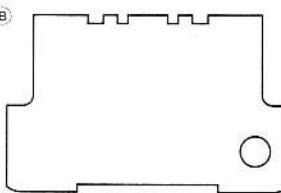
## 金具小箱

METAL PARTS BOX	
METALL-TEILE-SCHACHTEL	
BOITE DE PIECES METALLIQUES	
カーペット	×1
Carpet	
Tepich	
Moquette	
タイヤ	×5
Tire	
Reifen	
Pneu	

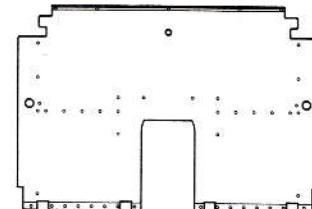
★ビス、ナットは少しあります。  
予備にお使い下さい。  
★Extra screws & nuts are included. Use them as spares.  
★Ersatzschrauben und -muttern liegen bei.  
★Des vis et des écrous supplémentaires sont inclus.  
Les utiliser comme pièces de rechange.

## プレス部品袋詰(B) PRESS PARTS BAG(B) PRESSSTEILE-BEUTEL(B) SACHET DE PIÈCES EMBOUTIES(B)

SCALE: 1/2



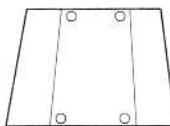
BP1 バーシャルボード  
Trunk floor  
Abteilplatte  
Panneau de séparation  
• ×1



BP2 リヤバルクヘッド  
Rear bulkhead  
Hintere Querwand  
Cloison arrière  
• ×1

## プレス部品袋詰(A)

### PRESS PARTS BAG(A) PRESSSTEILE-BEUTEL(A) SACHET DE PIÈCES EMBOUTIES(A)



BC1 ペダルリンクエージカバー  
Pedal linkage cover  
Abdeckung der Pedalanlenkung  
Carter de renvoi de pédales  
• ×1



BC2 • ×1 ウィンドウフレートR  
Right windshield stay  
Rechte Windschutzscheiben-Halterung  
Support de pare-brise droit  
• ×1



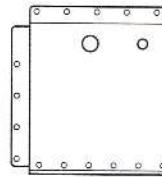
BC3 • ×1 ウィンドウフレートL  
Left windshield stay  
Linke Windschutzscheiben-Halterung  
Support de pare-brise gauche  
• ×1



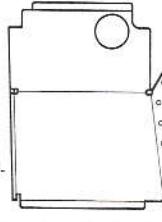
BC4 ダンバープラケットL  
Left damper bracket  
Linker Dämpfer-Träger  
Support d'amortisseur gauche  
• ×1



BC5 ダンバープラケットR  
Right damper bracket  
Rechter Dämpfer-Träger  
Support d'amortisseur droit  
• ×1



BC6 • ×1 フットパネルB  
Foot panel B  
Fußraumverkleidung B  
Cloison avant B  
• ×1



BC7 • ×1 フットパネルA  
Foot panel A  
Fußraumverkleidung A  
Cloison avant A  
• ×1

## ビス袋詰(A)

### SCREW BAG(A) SCHRAUBENBEUTEL(A) SACHET DE VIS(A)

BA1 • ×23	1.6×5mm 丸ビス Screw Schraube Vis
BA2 • ×4	1.6×10mm 丸ビス Screw Schraube Vis
	1.6×12mm 丸ビス Screw Schraube Vis

BA3 • ×1 1.6×16mm 丸ビス  
Screw  
Schraube  
Vis

BA4 • ×80 1.2×2.5mm 丸ビス  
Screw  
Schraube  
Vis

BA5 • ×2 1.6×12mm 丸ビス  
Screw  
Schraube  
Vis

## ビス袋詰(B)

### SCREW BAG(B) SCHRAUBENBEUTEL(B) SACHET DE VIS(B)

BB1 • ×38	1.2×4mm 丸ビス Screw Schraube Vis
BB2 • ×14	1.2×6mm 丸ビス Screw Schraube Vis
BB3 • ×15	1.2×8mm 丸ビス Screw Schraube Vis

BB4 • ×43 1.4×3mm タンピングビス  
Tapping screw  
Schneidschraube  
Vis taraudeuse

BB5 • ×20 1.4×4.5mm ボルト  
Bolt  
Bolzen  
Boulon

BB6 • ×16 1.4mm ナット  
Nut  
Mutter  
Ecrou

## AFTER MARKET SERVICE CARD

When purchasing Tamiya replacement parts, please take or send this form to your local Tamiya dealer so that the parts required can be correctly identified and supplied. Please note that specifications, availability and price are subject to change without notice.

## KUNDENNACHBETREUUNGS-KARTE

Wenn Sie TAMIYA-Ersatzteile kaufen möchten, nehmen Sie bitte zur Unterstützung dieses Formular mit zu Ihrem örtlichen Fachhändler. Bezuglich der Angaben, der Lagerhaltung der Artikel und der Preise sind Änderungen vorbehalten.

## SERVICE APRES-VENTE LISTE PIÈCES DETACHEES

Afin de vous permettre de vous procurer des pièces de rechange Tamiya, Amenez cette liste à votre point de vente Tamiya qui ne manquera pas de vous renseigner. Veuillez noter que les caractéristiques, disponibilité et prix peuvent changer sans avis préalable.

### Parts code

0001719	A Parts (A3-A5)
0001720	B Parts (B1-B23)
9001454	C Parts (C1-C46)
0001675	D Parts (D1-D60)
9001456	E Parts (E1 & E2)
0001679	G Parts (G1-G17)
0001681	H Parts (H1, H3-H5, H7-H10)
0111180	J Parts (J1-J4)
0111181	K Parts (K1-K3)
0111182	L Parts (L1)
0111185	M Parts (M1)
9401195	Screw Bag A (BA1-BA5)
9401196	Screw Bag B (BB1-BB6)
9401168	Press Parts Bag A (BC1-BC7)
9401190	Fender Stay Bag (BF1 & BF2)

### Left Under Panel Bag (BL1-BL9)

9401194	Muffler Bag (BM1-BM4)
9401169	Press Parts Bag B (BP1 & BP2)
9401198	Right Under Panel Bag (BR1-BR3)
9401189	Spring Bag (BS1-BS4)
9401193	Stabilizer Bag (BT1-BT5)
9401173	Windshield Frame Bag (BW1 & BW2)
9801093	Rear Die-Cast Parts Bag (PA1x2, PA2, PA8)
9801094	Front Die-Cast Parts Bag (PA3x2, PA4-PAS, PA7x2)
4301049	Bonnet (PB1)
4301052	Upper Panel (PB2)
4301056	Center Panel (PB3)
4301053	Inner Panel (PB4)
4301054	Center Tunnel (PB5)

### Muffler Cover (PB6)

4301057	Right Side Panel (PB7)
4301076	Left Side Panel (PB8)
4301055	Rear Panel (PB9)
0441093	Frame
9801095 *1	Tire (2 pcs.)
9751051	Wheel (5 pcs.)
9401197	Tape Bag
9401178	Tube Bag
1401141	Decal
1421268	Emblem
1421278	Seat Belt
1421283	Wheel Emblem
9401167	Carpet
1051265	Instructions

\*1 Requires 3 sets for one car. ITEM 10202

★部品請求にはこのカードが必要です。

## MASTER'S COACHWORK

# CATERHAM SUPER SEVEN BDR CYCLE FENDER SPECIAL

1/12 スーパーセブンBDRサイクルフェンダースペシャル

部品をなくしたり、こわした方は、このカードの必要な部品を○でてかこみ、代金を現金書留または定額券として一緒に田宮模型アフターサービス係にお申し込み下さい。なおお送金には郵便振替をご利用いただけます。（右記にある郵便振替ご利用の説明をご覧下さい。送金手数料が安くあります。）

お問合せ電話番号 03-3899-3765(東京)  
054-283-0003(静岡)

営業時間/平日(月～金曜日)8:00～17:00 祝日▶休み

《郵便振替のご利用法》郵便局の払込用紙の通信欄に、このカードを参考にITEM番号、スケール、製品名、部品名、数量を必ずご記入下さい。払込住所欄には電話番号もお書きいただき、口座番号・00810-9-1118、加入者名・株田宮模型でお払い込み下さい。

A 部品	1,500円
B 部品	1,200円
C 部品	1,380円
D 部品	1,170円

E 部品	650円
G 部品	590円
H 部品	550円
J 部品	410円
K 部品	400円
L 部品	400円
M 部品	850円
フレーム	1,050円
ボンネット	610円
サイドバネル(R)	730円
サイドバネル(L)	730円
アッパーバネル	470円
インナーバネル	450円
センターカウル	640円
リヤバネル	490円
センターバネル	400円
マフラー/プロテクター	440円
タイヤ(2コ)	430円
ホイール(5コ)	2,500円
アームバーツ袋詰(A)(PA1, 2, 8)	560円
アームバーツ袋詰(B)(PA3, 4, 5, 6, 7)	560円
プレス部品袋詰(A)	690円
プレス部品袋詰(B)	490円
スプリング袋詰	460円
ビス袋詰(A)	470円
ビス袋詰(B)	620円
アンダーバネル右袋詰	590円
アンダーバネル左袋詰	870円
ウインドウフレーム袋詰	510円
スタビライザーバネル袋詰	460円
マフラー袋詰	1,100円
両面テープ袋詰	320円

バイブ袋詰 410円

フェンダーステー L R 700円

マーク 200円

エンブレムステッカー 200円

シートベルトステッカー 200円

ホイールエンブレム 250円

カーペット 450円

説明図 420円

ページ価格は予告なく変更することがあります。

住所

1294 For Japanese use only!

☆ ITEM 10202

田宮模型  
静岡市恩田原3-7 〒422